

日本循環器学会 会 告

Contents

- 4** 日本循環器学会会員の皆様へのお知らせ(事務局より)
- 5** 第86回日本循環器学会学術集会(JCS2022)
Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2022(APSC 2022)
 - 開催概要
 - 事前参加登録のお知らせ
 - プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項
 - 学術集会問い合わせ先のご案内
- 82** 第87回日本循環器学会学術集会(JCS2023)
- 83** 脳卒中と循環器病克服第一次5ヵ年計画振り返り 厚生労働省へ報告
- 84** 循環器疾患診療実態調査(JROAD)産学連携研究公募要領
- 86** 循環器専門医制度
 - 2022年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 2022年度 循環器専門医資格認定更新
 - 所定単位表
 - 第86回日本循環器学会学術集会 循環器専門医研修単位
 - 「循環器専門医カード」再発行のご案内／循環器専門医カード再発行申請書
- 98** 会費未納による会員資格の喪失について(重要)
- 99** 地方会・関連学会・研究会情報
 - 日本循環器学会地方会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 101** ACLS 講習会情報
- 103** 2021年度日本循環器学会コメディカルセミナー(Web)開催のお知らせ
- 104** 教育映像教材販売のご案内
- 106** 事務局からのお知らせ
 - 登録事項変更届

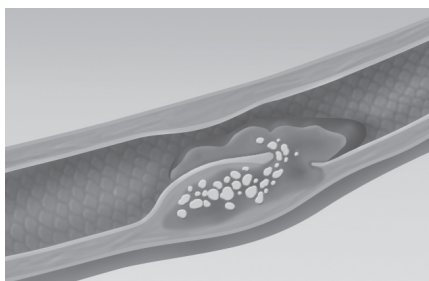
2022 No.1

トーアエイヨー株式会社『医療関係者向け情報』会員限定コンテンツ 「インフォームドコンセントのための 心臓・血管病アトラス」のご紹介

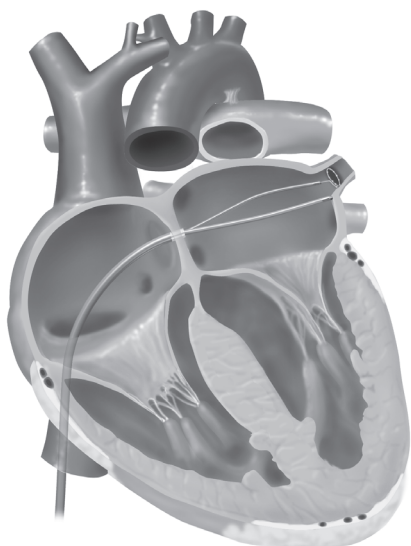
- 「インフォームドコンセントのための心臓・血管病アトラス」は、循環器疾患患者さんへのインフォームドコンセントにご利用いただくための病態・検査・治療に関するイラスト・画像集です。
- パソコンやタブレット型情報端末での患者さん説明をはじめ、イラストや画像をダウンロードいただけます。
- ご利用には、会員登録が必要となります。

コンテンツ例

不安定狭心症



心房細動の
アブレーション



PCIの原理
模式図

①ガイド
ワイヤー
挿入



②バルーン
カテーテル
挿入



③拡張中



④拡張終了



⑤バルーン
カテーテル
抜去



コンテンツへのアクセスは

URL <https://med.toaeiyo.co.jp/contents/atlas/index.html>

トーアエイヨー アトラス

🔍 検索



トーアエイヨー株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-10-6

2020年12月作成 ATA4101K

その患者さん MR関連高血圧 ではありませんか？

ミネラルコルチコイド受容体(MR)が活性化したMR関連高血圧は、
日常診療でもよくみられる病態です。

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 高カリウム血症の患者もしくは本剤投与開始時に血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている患者[高カリウム血症を増悪させるおそれがある。]
- 2.3 重度の腎機能障害(eGFR 30mL/min/1.73m²未満)のある患者[9.2.1 参照]
- 2.4 カリウム保持性利尿剤(スピロノラクトン、トリウムテレン、カンレノ酸カリウム)、アルドステロン拮抗剤(エプレレノン)又はカリウム製剤(塩化カリウム、グルコン酸カリウム、アスパラギン酸カリウム、ヨウ化カリウム、酢酸カリウム)を投与中の患者[10.1 参照]

4. 効能又は効果

高血圧症

6. 用法及び用量

通常、成人にはエサキセレンとして2.5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合は、5mgまで増量することができる。

7. 用法及び用量に関連する注意

7.1 本剤の投与中に血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えた場合には減量を考慮し、5.5mEq/L以上の場合は減量ないし中止し、6.0mEq/L以上の場合には直ちに中止すること。[11.1.1 参照] 7.2 中等度の腎機能障害(eGFR 30mL/min/1.73m²以上60mL/min/1.73m²未満)のある患者及びアルブミン尿又は蛋白尿を伴う糖尿病患者では、1.25mgを1日1回投与から開始し、血清カリウム値など患者の状態に応じて、投与開始から4週間以降を目安に2.5mgを1日1回投与へ増量する。効果不十分な場合は、5mgまで増量することができる。臨床試験で実施された血清カリウム値及びeGFRに基づく調節については[17.臨床成績]を参照すること。[9.1.1、9.2.2、17.1.5、17.1.6 参照]

8. 重要な基本的注意

8.1 高カリウム血症があらわれることがあるので、血清カリウム値を原則として投与開始前、投与開始後(又は用量調節後)2週以内及び約1ヵ月時点で測定し、その後も定期的に測定すること。[9.1.1、9.2.2、9.8.2、10.2、11.1.1 参照] 8.2 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者 9.1.1 アルブミン尿又は蛋白尿を伴う糖尿病患者 より頻回に血清カリウム値を測定すること。高カリウム血症の発現リスクが高まるおそれがある。[7.2、8.1、17.1.6 参照] 9.2 腎機能障害患者 9.2.1 重度の腎機能障害(eGFR 30mL/min/1.73m²未満)のある患者 投与しないこと。高カリウム血症を誘発させるおそれがある。重度の腎機能障害のある患者を対象とした臨床試験は実施していない。[2.3 参照] 9.2.2 中等度の腎機能障害(eGFR 30mL/min/1.73m²以上60mL/min/1.73m²未満)のある患者 より頻回に血清カリウム値を測定すること。高カリウム血症の発現リスクが高まるおそれがある。[7.2、8.1、17.1.5 参照] 9.3 肝機能障害患者 9.3.1 重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類C)のある患者 血中濃度が上昇するおそれがある。重度の肝機能障害のある患者を対象とした臨床試験は実施していない。 9.5 妊婦 妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。妊娠ラットで¹⁴C-エサキセレン単回経口投与後の放射能の胎児への移行が認められている。また、ラット及びウサギで催奇形性はみられていないが、ラットで黄体数、着床数、生存胚数及び出生児体重の低値が認められている。 9.6 授乳婦 治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を

考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。授乳期ラットで¹⁴C-エサキセレン単回経口投与後の放射能の乳汁中への移行が認められている。 9.7 小児等 小児等を対象とした臨床試験は実施していない。 9.8 高齢者 9.8.1 一般に過度の降圧は好ましくないとされている。脳梗塞等が起こるおそれがある。 9.8.2 より頻回に血清カリウム値を測定すること。一般に腎機能が低下していることが多く、高カリウム血症の発現リスクが高まるおそれがある。[8.1 参照]

10. 相互作用

本剤は主に薬物代謝酵素CYP3Aで代謝される。

10.1 併用禁忌(併用しないこと) カリウム保持性利尿剤 スピロノラクトン(アルダクトンA)、トリウムテレン(トリテレン)、カンレノ酸カリウム(ソルダクトン)、アルドステロン拮抗剤 エプレレノン(セララ) [2.4 参照]、カリウム製剤 塩化カリウム(塩化カリウム、スローケー)、グルコン酸カリウム(グルコンサンK)、アスパラギン酸カリウム(アスパラカリウム、アスパラ)、ヨウ化カリウム(ヨウ化カリウム)、酢酸カリウム(酢酸カリウム) [2.4 参照]

10.2 併用注意(併用に注意すること) アンジオテンシン変換酵素阻害剤 イミダプリル塩酸塩、エナラプリルマレイン酸塩等、アンジオテンシンII受容体拮抗剤 オルメサルタン メドキシミル、アジサルタン、テルミサルタン等、アリスキレンフマル酸塩、シクロスポリン、タクロリムス、ドロスピロネン配合剤[8.1 参照]、強いCYP3A阻害剤 イトラコナゾール、クラリスロマイシン等[8.1、16.7.1 参照]、強いCYP3A誘導剤 リファンピシン、フェニトイン、カルバマセピン等、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort)、セント・ジョーンズ・ワート含有食品[16.7.2 参照]、リチウム製剤 炭酸リチウム、非ステロイド性消炎鎮痛剤 インドメタシン等[8.1 参照]、ミトタン

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用 11.1.1 高カリウム血症(1.7%) [7.1、8.1 参照]

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

●その他の使用上の注意については添付文書をご参照ください。



MINNEBRO®

選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー(薬価基準収載)

ミネブ"ロ錠 1.25mg
2.5mg
5mg

一般名：エサキセレン

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

専用アプリ「添文ナビ」でGSJバーコードを読み取ることで、最新の電子添文等を閲覧できます。



(01)14987081108357



Daiichi-Sankyo

製造販売元(文獻請求先及び問い合わせ先を含む)

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2021年11月作成

日本循環器学会会員の皆様へのお知らせ(事務局より)

謹啓 この文章を書いているのは2月1日でございます。一年で最も寒い時期ではございますが、毎日の陽光は少しずつ強くなっております。また、一時に比べますと日没の時間も遅くなっており、着実に春は近づいていることを実感しております。本来であれば北京で開催される冬季オリンピックにおいての日本人選手の活躍を祈念し、わくわくする毎日のことだけを書きたいのですが、世界中で流行の陰りを見せない新型コロナウイルス感染症に関して触れないわけにはいきません。

日本においては新型コロナウイルス感染症第6波が収束の気配を見せていません。この会告が出る2月25日には第6波は峠を越え、克服したという状況になることを祈るばかりです。日本循環器学会では第86回日本循環器学会学術集会会長である伊藤 浩先生、APSC2022 会長である赤阪隆史先生のご英断で両学術集会がハイブリッド型から完全 web 開催へ変更となりました。これで第84回から3回連続して開催方法の変更が求められております。そういった制約の中でも両会は工夫に工夫を重ね、web ならではの良さを残しつつ臨場感のある学術集会が開催されると確信しております。日本循環器学会事務局でも両学術集会成功に向けまして、少しでもお手伝いが出来るよう Congress G を中心に業務に励む所存です。

現在の日本では第5波までとは違う状況が訪れています。第6波の中心となっておりますオミクロン株に関しては重症化こそしないものの、多くの方が感染されたり、濃厚接触者と認定され、医師・看護師をはじめとしますエッセンシャルワーカーが現場に出ることが出来ずに一部の地域にて医療提供体制が危ぶまれているという報告もあります。そのような状況でも会員の先生方を始めとします医療関係者皆様の日々のご尽力のおかげで今の日本が成り立っていると考えています。

会告では今後も日本循環器学会に関わる様々な情報を正確にお伝えしていきます。ここ二年ほどは学術集会、地方会、研究会、各種募集要項等の中止、順延や開催方法の変更等を報告しなければなりませんでした。このような状況をはやく打開し、自由にオンサイト会場、web 開催が選択出来るようになることを願うばかりです。

新型コロナウイルスとの闘いは今だ継続中でございますが、事務局といたしまして職員一同油断することなく、業務に励んでいきます。

一部の情報では新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐ複数の経口薬の登場や変異タイプにも有効性の高いワクチンの登場のニュースもございます。一日一日、世界での新型コロナウイルス感染状況が改善し、会員の先生方に平穏な生活が戻りますことを心より祈念しております。

謹白

一般社団法人日本循環器学会
事務局長 田渕 一郎

第86回日本循環器学会学術集会 (JCS2022) Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2022 (APSC 2022)

開催概要

開催形式：完全 Web 形式に変更しました

ライブ配信：2022年3月11日(金)～13日(日)

オンデマンド配信：2022年3月23日(水)～4月20日(水)

会 長：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学 教授)

合同開催

Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2022 (APSC 2022)

開催形式：完全 Web 形式に変更しました

ライブ配信：2022年3月11日(金)～13日(日)

オンデマンド配信：2022年3月23日(水)～4月20日(水)

会 長：赤坂 隆史(和歌山県立医科大学 名誉教授)

メインテーマ：ウィングを広げる循環器病学
Cardiology Spreading Its Wings

お問い合わせ先

第86回日本循環器学会学術集会運営準備室

E-mail：jcs2022@congre.co.jp

E-mail(参加登録関係)：jcsapsc2022reg@congre.co.jp

http://www.congre.co.jp/jcs2022/

*新型コロナウイルスの感染拡大により運営事務局はテレワークを推進しております。ご不便をおかけしますが、お問い合わせ等は E-mail にて頂戴できますようお願い申し上げます。



JCS2022 ホームページ

1. 美甘レクチャー

Advances in Cardiology and Future Challenges (tentative)

〈英語〉

(3月12日(土) 10:30～11:15)

座長：永井 良三(自治医科大学)

演者：Valentin Fuster

Physician-in-Chief, Mount Sinai Hospital (New York, USA)

Director, Mount Sinai Heart (New York, USA)

General Director, National Center for Cardiovascular Research (Madrid, Spain)

2. 真下記念講演

Taking regulatory T cells into medicine(制御性T細胞による新しい免疫医療)

〈日本語〉

(3月11日(金) 14:10～15:00)

座長：堀 正二(大阪国際がんセンター)

演者：坂口 志文(大阪大学免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学)

3. 会長講演

Something new, something special, all for the patients 〈日本語〉

(3月11日(金) 13:30~14:10)

座長: 松崎 益徳(山口大学 名誉教授)

演者: 伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

4. 代表理事講演

Action and Future Prospects of the JCS(日本循環器学会の活動と将来展望) 〈日本語〉

(3月12日(土) 13:30~14:00)

座長: 小室 一成(東京大学 循環器内科)

演者: 平田 健一(一般社団法人日本循環器学会 代表理事/神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

5. 特別講演

歴史からみた医療を高める人々 〈日本語〉

(3月13日(日) 13:15~14:15)

座長: 伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

演者: 磯田 道史(国際日本文化研究センター)

6. Special Lecture

1) Rethink the QOL of CAD patients 〈英語〉

(3月12日(土) 13:30~14:00)

座長: 阿古 潤哉(北里大学医学部 循環器内科学)

Keynote Lecture: John A Spertus (University of Missouri - Kansas City and Saint Luke's Mid America Heart Institute, USA)

2) Role of Echocardiography in Structure Intervention 〈英語〉

(3月12日(土) 14:10~14:40)

座長: 泉 知里(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)

Keynote Lecture: Rebecca T. Hahn (Columbia University)

3) The Changing Landscape of Atherosclerosis 〈英語〉

(3月12日(土) 16:00~16:30)

座長: 平田 健一(神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学)

Keynote Lecture: Peter Libby (Brigham and Women's Hospital / Harvard Medical School, USA)

4) Management of spontaneous coronary artery dissection (SCAD) 〈英語〉

(3月12日(土) 16:40~17:10)

座長: 門田 一繁(倉敷中央病院 循環器内科)

Keynote Lecture: Jacqueline Saw (Vancouver General Hospital, University of British Columbia, Canada)

5) Molecular Imaging for Assessing Cardiovascular Pathology 〈英語〉

(3月13日(日) 10:30~11:00)

座長: 伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

Keynote Lecture: Jonathan R. Lindner (Oregon Health & Science University, USA)

6) New horizon in molecular cardiac PET imaging for precision cardiology 〈英語〉

(3月13日(日) 11:10~11:40)

座長: 竹石 恭知(福島県立医科大学 循環器内科)

Keynote Lecture: 樋口 隆弘 (Julius-Maximilians-Universitaet of Wuerzburg, Germany)

7. プレナリーセッション

1) 動脈硬化に対する新しいアプローチ(炎症/遺伝子背景)

〈英語〉

Novel approaches targeting immune system in atherosclerosis

(3月11日(金) 08:00~09:30)

座長: 平田 健一(神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

Clinton Robbins (Departments of Laboratory Medicine and Pathobiology and Immunology, University of Toronto)

1. CSF-1 producing sinusoidal endothelial cells and mesenchymal stromal cells maintain monocytes within a perivascular bone marrow niche

演者(State-of-the-art): Clinton Robbins (Departments of Laboratory Medicine and Pathobiology and Immunology, University of Toronto)

2. Inhibition of MicroRNA-33b Ameliorates Abdominal Aortic Aneurysm Formation via Suppression of Inflammatory Pathways

演者: 尾野 亘(京都大学大学院医学研究科 循環器内科学)

3. Modulation of T cell immune balance as an attractive strategy to treat atherosclerosis

演者: 佐々木直人(神戸薬科大学 医療薬学研究室)

4. The Innate Immune System: A Possible Link between Lifestyle-related Diseases and Atherosclerosis

演者: 福田 大受(徳島大学 循環器内科)

5. Single Cell Immune Landscape of Human Coronary Vulnerable Plaques

演者: 江本 拓央(神戸大学大学院・医学研究科 内科学講座・循環器内科学分野)

2) Destination Therapy導入における補助人工心臓の長期管理

〈英語〉

What is an ideal long-term management of continuous-flow ventricular assist device in the era of destination therapy?

(3月11日(金) 08:00~09:30)

座長: 小野 稔(東京大学大学院医学系研究科 心臓外科)

Jeffrey J Teuteberg (Department of Cardiology, Stanford University, USA)

1. Please suggest the preferred lecture title

演者(State-of-the-art): Jeffrey J Teuteberg (Department of Cardiology, Stanford University, USA)

2. Clinical Results of Patients with Left Ventricular Assist Device in Practical Destination Therapy Population

演者: 吉岡 大輔(大阪大学 心臓血管外科)

3. Management of Non-cardiac Comorbidities in Patients with Implantable Left Ventricular Assist Device

演者: 渡邊 琢也(国立循環器病研究センター 重症心不全・移植科)

4. Utilization of Home-Visit Nursing in the Long-Term Management of Implantable VAD Patients

演者: 小澤 敬子(ゆみの訪問看護ステーション)

5. Emergence of destination therapy (DT) in Japan

演者: 絹川弘一郎(富山大学 第二内科)

3) 大動脈緊急症に対する救急医療体制の現状と課題

〈日本語〉

Medical system and interhospital communication for acute aortic emergency: Current status and problems to be solved

(3月11日(金) 16:00~17:30)

座長: 東 信良(旭川医科大学 外科学講座血管外科学分野)

前村 浩二(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

1. The Second Five-Year Plan of the Japanese Circulation Society for the Treatment of Aortic Emergencies

演者: 坂田 泰史(大阪大学 循環器内科学)

2. What are the Requirements for an Aortic Emergency Center Hospital? – Insights from JROAD-DPC Data –

演者：山口 徹雄(虎の門病院 循環器センター内科)

3. Current Status of Regional Emergency Medical Service for Acute Coronary and Aortic Syndrome in Kumamoto Prefecture

演者：辻田 賢一(熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学)

4. Construction of an aortic emergency network in Oita Prefecture

演者：宮本 伸二(大分大学 心臓血管外科学)

5. 東京都における大動脈救急への取り組み：さらなる進化に向けた課題

演者：高山 守正(榊原記念病院・東京都CCUネットワーク)

6. Importance of Inter-facility Image Linkage in Establishing a Broad-area Network for Aortic Emergencies

演者：東 信良(旭川医科大学 外科学講座血管外科学分野)

7. 循環器病対策推進基本計画からみた大動脈緊急症に対する医療体制の在り方

演者：桑原 政成(厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課)

4) COVID-19と心血管疾患

〈英語〉

COVID-19 and Cardiovascular Disease

(3月11日(金) 13:30~15:00)

座長：野出 孝一(佐賀大学医学部 循環器内科)

Valentin Fuster (Physician-in-Chief, Mount Sinai Hospital, New York, USA /
Director, Mount Sinai Heart, New York, USA / General
Director, National Center for Cardiovascular Research, Madrid,
Spain)

1. Please suggest the preferred lecture title

演者(State-of-the-art)：Valentin Fuster (Physician-in-Chief, Mount Sinai Hospital, New York, USA /
Director, Mount Sinai Heart, New York, USA / General
Director, National Center for Cardiovascular Research, Madrid,
Spain)

2. National survey of primary percutaneous coronary intervention during the COVID-19 pandemic in Japan: Reports of CVIT

演者：石井 秀樹(群馬大学 循環器内科)

3. Inflammatory and hypercoagulable biomarkers and clinical outcomes in COVID-19 patients

演者：北方 博規(慶應義塾大学医学部 循環器内科学)

4. Cardiopulmonary Manifestations identified by Multi-modality Imaging in patients with Long COVID.

演者：村田 伸弘(日本大学医学部附属板橋病院 内科学系循環器内科分野)

5. Histopathology of Myocarditis of Post-acute COVID-19 Syndrome and Post COVID-19 Vaccination

演者：河野 浩章(長崎大学大学院 循環器内科学)

6. Venous Thromboembolism and Anticoagulation Therapy in Patients with COVID-19 in Japan

演者：山下 侑吾(京都大学医学部附属病院 循環器内科)

5) Autonomic nerves in arrhythmia / heart failure; pathophysiology and treatment

〈英語〉

(3月11日(金) 16:00~17:30)

座長：森田 宏(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学)

Peng-Sheng Chen (Department of Cardiology, Smidt Heart Institute, Cedars-Sinai
Medical Center)

1. Neuromodulation for the treatment of cardiac arrhythmia

演者(State-of-the-art)：Peng-Sheng Chen (Department of Cardiology, Smidt Heart Institute, Cedars-Sinai
Medical Center)

2. Potential Role of Baroreflex Sensitivity in Patients with Atrial Fibrillation

演者：三好 美帆(大分大学医学部附属病院 循環器内科・臨床検査診断学講座)

3. The Role of Cardiac Afferent Signaling and Sympathoexcitation in Premature Ventricular Contraction Induced Cardiomyopathy
演者：堀 裕一(獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科)
4. Combination of Non-invasive and Invasive Sympathetic Modulations Relieves Electrical Storm
演者：宮本 真和(岡山大学 循環器内科)
5. Autonomic Nervous Modulation Using Low-level Laser to Control Electrical Storm
演者：副島 京子(杏林大学医学部附属病院 循環器内科)
- 6) 心血管画像診断における AI の活用 〈英語〉
Utilization of AI in cardiovascular imaging
(3月12日(土) 08:00~09:30)
座長：佐田 政隆(徳島大学大学院医歯薬学研究部 循環器内科学分野)
Jagat Narula(Icahn School of Medicine at Mount Sinai, USA)
 1. TBD
演者(State-of-the-art)：Jagat Narula(Icahn School of Medicine at Mount Sinai, USA)
 2. Intravascular Ultrasound with Artificial Intelligence for Assisting Percutaneous Coronary Intervention
演者：本江 純子(菊名記念病院 循環器センター)
 3. Potential of AI-based Echocardiographic Analysis and Quantification in Clinical Practice
演者：楠瀬 賢也(徳島大学病院 循環器内科)
 4. Quantitative Estimation of Pulmonary Artery Wedge Pressure from Chest Radiographs by a Regression Convolutional Neural Network
演者：齋藤 佑記(日本大学)
 5. Development of artificial intelligence-based high-resolution slow-motion echocardiography for better cardiac evaluation
演者：佐橋 勇紀(岐阜大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
- 7) 人工知能を切り開く循環器未来像 〈英語〉
Artificial Intelligence in Cardiovascular Medicine.: New perspectives and challenges
(3月12日(土) 08:00~09:30)
座長：安田 聡(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野)
Khung Keong Yeo(National Heart Centre Singapore)
 1. Artificial Intelligence in Cardiovascular Medicine.: New Perspectives and Challenges
演者(State-of-the-art)：Khung Keong Yeo(National Heart Centre Singapore)
 2. Artificial intelligence and machine learning for predicting arrhythmias based on big data from a school-based ECG screening system
演者：西村 邦宏(国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部)
 3. Phenomapping for Classification in Chronic Heart Failure: From the CHART-2 AI Study
演者：後岡広太郎(東北大学病院 循環器内科)
 4. Cloud-based Artificial Intelligence (AI)-Analysis of Wearable Cardiac Monitor
演者：草野 研吾(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 5. Deep Learning-based Approach for Screening Early Stage of Atrial Septal Defect on Chest Radiographs
演者：赤澤 宏(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
- 8) 健康寿命延伸のための心房細動に対する包括的治療戦略 〈日本語〉
Comprehensive Treatment Strategy for Atrial Fibrillation to Extend Healthy Life Expectancy
(3月12日(土) 08:00~09:30)
座長：峰松 一夫(医療法人医誠会)
清水 渉(日本医科大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野)

1. Age Modified Relationship between Modifiable Risk Factors and the Risk of Atrial Fibrillation: Analysis of A Nationwide Population-Based Database
演者：金子 英弘(東京大学 循環器内科)
 2. Incidence, Prognostic Significance, and Risk Prediction of Heart Failure Hospitalization in Japanese Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry
演者：濱谷 康弘(国立病院機構京都医療センター 循環器内科)
 3. Direct Oral Anticoagulant Therapy in Very Elderly Patients with Non-valvular Atrial Fibrillation: Insights from J-ELD AF Registry and ELDERCARE-AF Trial
演者：奥村 謙(済生会熊本病院 循環器内科)
 4. Evidence of structural remodeling of Atria in Experimental Animal Models – Implication of Total Management of AF Risk Factor –
演者：岩崎 雄樹(日本医科大学 循環器内科)
 5. The Importance of Assessment on the Patients' Health Status to Close the Gap to Care Providers.
演者：池村 修寛(慶應義塾大学 内科学(循環器内科))
 6. Improvement in Neurocognitive Function after Catheter Ablation for Atrial Fibrillation
演者：山本 佑(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
- 9) パラメトリックマッピングを用いた最新CMRによる心筋疾患攻略法 〈英語〉
Latest CMR diagnostic strategy for myocardial hypertrophy
(3月12日(土) 16:00~17:30)
座長：佐久間 肇(三重大学大学院医学系研究科 放射線医学)
Chiara Bucciarelli-Ducci (Royal Brompton and Harefield Hospitals, Guy's and St Thomas NHS Trust and King's College London)
1. Novel CMR imaging technologies to assess myocardial hypertrophy
演者(State-of-the-art)：Chiara Bucciarelli-Ducci (Royal Brompton and Harefield Hospitals, Guy's and St Thomas NHS Trust and King's College London)
 2. Utility of parametric mapping in cardiac magnetic resonance in patients with Fabry cardiomyopathy
演者：中川 頌子(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 3. Combined use of T1 mapping and late gadolinium enhancement to evaluate myocardial involvement in Fabry disease
演者：本郷 賢一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)
 4. Management of Non Ischemic Heart Failure with Parametric Mapping of Multi-contrast Cardiac Magnetic Resonance Imaging
演者：谷口 泰代(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)
 5. Important Points and Pitfalls in Interpreting Myocardial Native T1 Mapping in Real-World Clinical Practice
演者：邊 泰樹(榊原記念クリニック 循環器内科)
- 10) 高齢者(80歳以上)の大動脈弁狭窄症治療の限界と適応 〈日本語〉
Decision making an appropriate candidate of invasive treatment in elderly patients with severe aortic stenosis
(3月12日(土) 16:00~17:30)
座長：塩瀬 明(九州大学大学院医学研究院循環器外科)
山本 真功(豊橋ハートセンター)
1. The Impact of Age on Survival of Patients Undergoing Surgical Aortic Valve Replacement: Insights from the CURRENT AS Registry
演者：谷口 智彦(神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科)
 2. Comparison of Long-term Mortality of Transcatheter Aortic Valve Implantation between Patients Aged >80 Years and those <80 Years
演者：菊地 翼(東北大学病院 循環器内科)

3. Is Aortic Valve Replacement Really Necessary for Severe Frail Elderly Patients with Severe Aortic Stenosis?
演者：岩崎 正道(兵庫県立淡路医療センター 循環器内科)
4. How Could We Maximize the Utility of Transcatheter Aortic Valve Implantation in Elderly Patients?
演者：樋口 亮介(榊原記念病院 循環器内科)
5. Kihon Checklist is Useful for Predicting Outcomes in Patients Undergoing Transcatheter Aortic Valve Implantation
演者：岡井 主(大阪市立大学大学院医学研究科 循環器病態内科学)
6. Predictive impact of concomitant left ventricular diastolic dysfunction on clinical outcomes following transcatheter aortic valve replacement
演者：神崎 秀明(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
7. Is TA-TAVI Inferior to TF-TAVI in the Elderly Patients?
演者：入江 博之(近森病院 心臓血管外科)
- 11) 心血管疾患としての2型糖尿病；病態と新たな治療戦略 〈英語〉
T2DM as cardiovascular Disease: Pathophysiology and new treatment strategy
(3月13日(日) 08:00~09:30)
座長：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)
E. Dale Abel(University of Iowa, Carver College of Medicine)
1. Novel Mitochondrial Mechanisms for Cardiometabolic Disease
演者(State-of-the-art)：E. Dale Abel(University of Iowa, Carver College of Medicine)
2. Cardiovascular Events in Diabetic and Nondiabetic Individuals With Aortic Atherosclerosis Detected by Non-obstructive general angioscopy
演者：小嶋 啓介(日本大学 内科学系循環器内科学分野)
3. Prognostic Benefit of DPP-4 Inhibitor In Patients with Diabetic After Percutaneous Coronary Intervention – Finding From multicenter registry –
演者：秦 武弘(東京女子医科大学 循環器内科学)
4. Neuroendocrine disorder in cardiometabolic disease – The last black box for heart failure pathophysiology
演者：坂東 泰子(名古屋大学 循環器内科)
5. Significance of Autophagy in Diabetic Cardiomyopathy – from Bed to Bench –
演者：金森 寛充(岐阜大学大学院医学系研究科 循環器内科)
- 12) MINOCA を整理する 〈英語〉
Overview & Future Perspective of MINOCA
(3月13日(日) 10:30~12:00)
座長：辻田 賢一(熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学)
中澤 学(近畿大学病院)
1. MINOCA: Now the day, and now the hour
演者(State-of-the-art)：Tom J Ford(The University of Newcastle - Central Coast Clinical School)
2. Treatment pattern and outcome of spontaneous coronary artery dissection in Japan: an Important Clinical Entity of MINOCA
演者：猪原 拓(慶應大学 循環器内科)
3. Incidence and clinical characteristics of patients with unclassified myocardial infarction with non-obstructive coronary artery detected on invasive coronary angiography
演者：岩井 雄大(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
4. The Current Status of Myocardial Infarction with Nonobstructive Coronary Arteries in Japan: Report From a Nationwide Claims Database, JROAD-DPC database
演者：石井 正将(熊本大学 循環器病態学)
5. Clinical Characteristics and Prognosis of Patients with Myocardial Infarction with Non-obstructive Coronary Artery (MINOCA); Insight from the Miyagi-AMI Registry Study
演者：羽尾 清貴(東北大学 循環器内科)

- 13) Unsolved issues and future perspective in ACHD: Beyond the Guidelines 〈英語〉
(3月13日(日) 13:15~14:45)
座長: 赤木 禎治(岡山大学 循環器内科)
Michael Gatzoulis (Royal Brompton & Harefield NHS Trust, and the National Heart & Lung Institute, Imperial College, London, UK)
1. Adult Congenital Heart Disease: Where do we go from here?
演者(State-of-the-art): Michael Gatzoulis (Royal Brompton & Harefield NHS Trust, and the National Heart & Lung Institute, Imperial College, London, UK)
 2. Long-Term Outcome and Clinical Status of Adults After Complete Atrioventricular Septal Defect Repair
演者: 杜 徳尚(岡山大学 循環器内科学)
 3. Therapeutic Strategy for Systemic Right Ventricular Dysfunction and Tricuspid Regurgitation in Patients with Congenitally Corrected Transposition of the Great Arteries
演者: 坂本 一郎(九州大学病院 循環器内科)
 4. Lymphatic Pathway Evaluation in Congenital Heart Disease using Non-contrast MR Lymphangiography
演者: 椎名 由美(聖路加国際病院 ハートセンター)
 5. High Cardiac Output Heart Failure in Adults with Fontan Circulation: the pathophysiology and its management
演者: 大内 秀雄(国立循環器病研究センター 小児循環器)
- 14) 循環器医療におけるゲノム医療の進歩 〈英語〉
Progress of genome medicine in cardiovascular diseases
(3月13日(日) 13:15~14:45)
座長: 小室 一成(東京大学 循環器内科)
Patrick E. Ellinor (Massachusetts General Hospital / Harvard Medical School)
1. Using genetics to identify new therapeutic targets for cardiovascular diseases
演者(State-of-the-art): Patrick E. Ellinor (Massachusetts General Hospital / Harvard Medical School)
 2. Japanese and trans-ancestry genome-wide association studies for atrial fibrillation provide new insights into the disease mechanism and the potential predictor for cardioembolic stroke risk.
演者: 伊藤 薫(理化学研究所生命医科学研究センター 循環器ゲノミクス・インフラマティクス研究チーム)
 3. Genetic mutations, regression of Achilles tendon thickness, and cardiovascular events among patients with familial hypercholesterolemia
演者: 多田 隼人(金沢大学 循環器内科)
 4. Impact of cardiac implantable electronic devices in LMNA-related cardiomyopathy: evidence from the Japanese multicenter registry
演者: 中島健三郎(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 5. Multiomics analysis to develop precision medicine in heart failure
演者: 野村征太郎(東京大学医学部附属病院 循環器内科)

8. シンポジウム

- 1) CLTIに対するバイパス・EVT・内科治療の棲み分け 〈英語〉
The strategic distinction for CLTI among BSX, EVT and medications
(3月11日(金) 08:00~09:30)
座長: 保科 克行(東京大学 血管外科)
曾我 芳光(小倉記念病院 循環器内科)
1. The Paradigm Shift of CLTI Management
Keynote Lecture: 高山 利夫(東京大学 血管外科)
 2. 10-Year Outcome after Revascularization for Patients with Chronic Limb-threatening Ischemia
演者: 畑 陽介(関西労災病院 循環器内科)

3. Management of CLTI by Interventional Cardiologist
演者：加藤 拓(洛和会音羽病院 心臓内科)
 4. Distal Bypass is still the Gold Standard Treatment for Chronic Limb Threatening Ischemia
演者：宿澤 孝太(東京慈恵会医科大学 外科学講座 血管外科)
 5. The present and a novel adjunctive therapy for CLTI patients
演者：佐々木伸也(坂総合病院 循環器科)
- 2) Breakthroughs in the pathophysiology and treatment of HFpEF (英語)
(3月11日(金) 08:00~09:30)
座長：山本 一博(鳥取大学医学部 循環器・内分泌代謝内科)
Barry A. Borlaug(Mayo Clinic)
1. In the earlier stages of heart failure with preserved ejection fraction (HFpEF), pulmonary artery (PA) pressures increase passively owing to downstream elevation in left atrial (LA) pressure.
Keynote Lecture : Barry A. Borlaug(Mayo Clinic)
 2. A novel aspect of Empagliflozin ameliorating pulmonary arterial dysfunction and the development of exercise induced pulmonary hypertension in HFpEF
演者：佐藤 大樹(東北大学 循環器内科)
 3. Renin-angiotensin System Inhibitor Gives Lights on the Prognosis of HFpEF Patients If They Have Low Chloride Level
演者：城谷 翔太(東京女子医科大学 循環器内科)
 4. Stratification and Therapeutic Intervention Based on the Frailty in Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction
演者：彦惣 俊吾(大阪大学 循環器内科学)
 5. Challenge of Frailty in Heart Failure with Preserved Ejection Fraction
演者：衣笠 良治(鳥取大学 循環器・内分泌代謝内科学講座)
- 3) ガイドラインの先を行く肺高血圧治療－従来治療に挑む (日本語)
Beyond the clinical practice guidelines: New horizons in pulmonary arterial hypertension therapies
(3月11日(金) 08:00~09:30)
座長：福本 義弘(久留米大学医学部 内科学講座心臓・血管内科部門)
大郷 剛(国立循環器病研究センター)
1. Lung Uric Acid is a Novel Therapeutic Target for Pulmonary Arterial Hypertension
演者：阿部弘太郎(九州大学 循環器内科)
 2. Efficacy of Treat and Repair Strategy for Atrial Septal Defect With Pulmonary Arterial Hypertension
演者：高谷 陽一(岡山大学 循環器内科)
 3. Influence of Targeted Medical Therapy after Balloon Pulmonary Angioplasty in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
演者：矢尾板信裕(東北大学病院 循環器内科)
 4. Novel Strategies to Improve Patient-Centered Outcomes for Pulmonary Arterial Hypertension Using Cardiopulmonary Exercise Testing with a Right Heart Catheter
演者：菊池 華子(杏林大学医学部附属病院 循環器内科)
 5. The significance of IL-6 signaling in the pathogenesis of pulmonary arterial hypertension
演者：中岡 良和(国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部)
- 4) 持続性心房細動の非薬物療法－Watchman・アブレーション・外科治療を含めて (日本語)
Recent Advances of Nonpharmacological Therapy for Persistent Atrial Fibrillation－Topics for Left Atrial Appendage Occlusion Device, Catheter Ablation and Surgical Therapy
(3月11日(金) 08:00~09:30)
座長：草野 研吾(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
茅田 浩(福井大学医学部 循環器内科学)

1. Prediction Score of Low Voltage Area is Useful to Make a Decision on Ablation Strategy
演者：外海 洋平(大阪大学 循環器内科学)
 2. Novel Hybrid Therapy with Catheter Ablation and Left Atrial Appendage Occlusion in Patient with Atrial Fibrillation
演者：佐々木 毅(災害医療センター 循環器科)
 3. Initial Experience with the Watchman FLX for Percutaneous Left Atrial Appendage Closure; What is the Difference from the Prior Generation-2.5?
演者：福永 真人(小倉記念病院 循環器内科)
 4. Epicardial ablation using an infrared coagulator “Kyo-co” to treat atrial fibrillation on the beating/arrested heart
演者：窪田 博(杏林大学 心臓血管外科)
 5. Understanding the Impact of Maze procedure on Atrial Fibrillation to Achieve Long-term Sinus Rhythm Restoration
演者：角田 宇司(国立循環器病研究センター 心臓外科)
 6. Clinical Benefits of New Device Algorithms Regarding Atrial Tachycardias and Atrial Fibrillation in Patients with Cardiac Resynchronization Therapy
演者：野田 崇(東北大学 循環器内科)
- 5) 心内膜心筋生検に関する見解 〈英語〉
Position statement on endomyocardial biopsy
(3月11日(金) 16:00~17:30)
座長：中村 一文(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)
Petar M. Seferovic (Serbian Academy of Sciences and Arts, University of Belgrade Faculty of Medicine)
1. Indications and World-wide use of endomyocardial biopsy
Keynote Lecture: Petar M. Seferovic (Serbian Academy of Sciences and Arts, University of Belgrade Faculty of Medicine)
 2. The indispensable roles of endomyocardial biopsy in clinical practice
演者：大郷 恵子(国立循環器病研究センター 病理部)
 3. Additional Diagnostic Value of Electron Microscopic Examination in Endomyocardial Biopsy in Patients with Suspected Cardiomyopathy
演者：山本 昌良(筑波大学 医学医療系 循環器内科)
 4. Role of Endomyocardial Biopsy in the Era of Advanced CMR Techniques
演者：中森 史朗(三重大学 循環器内科学)
 5. Endocardial Biopsy Navigated by Three-dimensional Arrhythmia Mapping Systems
演者：片岡 翔平(東京女子医大 循環器内科)
 6. Intracardiac Echocardiography-Guided Tumor Biopsy
演者：中川 晃志(岡山大学 循環器内科学)
- 6) 大型血管炎(高安動脈炎)の病態・診断・治療の現状を考える 〈英語〉
Takayasu arteritis: Pathogenesis, current diagnosis and treatment
(3月11日(金) 13:30~15:00)
座長：磯部 光章(榊原記念病院)
R. Haner Direskeneli (Marmara University, School of Medicine Hospital)
1. Recent Advances and Current Concepts in the Diagnosis and Management of Takayasu Arteritis
Keynote Lecture: R. Haner Direskeneli (Marmara University, School of Medicine Hospital)
 2. Characteristics and Treatment Outcomes of Takayasu Arteritis in Japan; from nationwide cohort studies
演者：内田 治仁(岡山大学 CKD・CVD 地域連携包括医療学)

3. Missense Polymorphism in *MLX* Gene is Associated with the Pathogenesis of Takayasu Arteritis by Enhancing Brown Adipose Tissue-Mediated Inflammatory Response
演者：前嶋 康浩(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 循環制御内科学)
 4. Poor Long-term Cardiac and Aortic Surgical Outcomes in Patients with Takayasu Arteritis: 44 patients case series.
演者：舟木 孝志(榊原記念病院 循環器内科)
 5. Vascular imaging analysis of the patients with refractory Takayasu arteritis treated with tocilizumab in the TAKT trial
演者：中岡 良和(国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部)
 6. Effects of Tocilizumab for Takayasu Arteritis and Utility of FDG-PET for Detection of Recurrence under tocilizumab treatment.
演者：磯部 光章(榊原記念病院)
- 7) 不整脈疾患におけるゲノム医療 〈英語〉
Genomic medicine for arrhythmic diseases
(3月11日(金) 16:00~17:30)
座長：古川 哲史(東京医科歯科大学難治疾患研究所)
Koonlawee Nademanee (Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Thailand)
1. Pathophysiological Mechanisms underlying J-wave syndrome
Keynote Lecture: Koonlawee Nademanee (Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Thailand)
 2. Early Onset of Lethal Arrhythmias in Japanese ARVC Patients with Pathogenic Desmosomal Gene Variants
演者：園田 桂子(国立循環器病研究センター 分子生物学部)
 3. Atrial Fibrillation in Cardiomyopathy Mice with *Rbm20* Mutation
演者：井原 健介(東京医科歯科大学 生体情報薬理)
 4. GJA1 Polymorphism and Ventricular Response in Atrial Fibrillation
演者：中野由紀子(広島大学 循環器内科)
 5. Impact of Functional Studies on the Interpretation of Exome Sequence Variants in Early-onset Cardiac Conduction Disease
演者：臼田 圭佑(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 循環器内科)
- 8) 冠微小循環の最適診断法 〈日本語〉
Optimal diagnostic method for coronary microcirculation
(3月11日(金) 13:30~15:00)
座長：松本 直也(日本大学病院 循環器内科)
田中 信大(東京医科大学八王子医療センター)
1. Clinical impact of cholesterol crystals liberated from atheromatous plaque on coronary microvascular injury
演者：樋口 義治(大阪警察病院 心臓センター 循環器科)
 2. Prognostic Impact of Index of Microcirculatory Resistance in Patients with Ischemia and Non-Obstructive Coronary Artery Disease
演者：高橋 潤(東北大学 循環器内科)
 3. Clinical Implications of Stress T1 Mapping for Assessment of Microvascular Dysfunction by Cardiac Magnetic Resonance
演者：小菅 寿徳(東京医科大学 循環器内科)
 4. Relationship between Coronary Microvascular Dysfunction Evaluated by Quantitative Myocardial Perfusion Imagings and Diastolic Dysfunction
演者：野間さつき(日本医科大学 循環器内科)
 5. ¹³N-ammonia PET for diagnosis and monitoring of microvascular angina
演者：坂井 晶子(東京女子医科大学 循環器内科学)

- 9) 大動脈弁形成術－標準化された治療法か？良い適応と弁置換とすべき症例 〈日本語〉
Can aortic valve repair be the standard procedure for patients with aortic regurgitation? Current indications
(3月11日(金) 16:00～17:30)
座長：大北 裕(高槻病院)
中谷 敏(大阪府済生会千里病院)
1. Aortic Root and Aortic Valve Morphology to Evaluate the Indications and Procedures for Aortic Valve Repair
演者：瀬尾 由広(名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
 2. Preoperative Imaging for Patients with Aortic Regurgitation who are Referred for Aortic Valve-Sparing Root Replacement and Valve Repair
演者：田中 秀和(神戸大学大学院 循環器内科学)
 3. Long-term results of aortic valve sparing surgery
演者：下川 智樹(榊原記念病院 心臓血管外科)
 4. Possibility of standardization of aortic valve plasty
演者：小宮 達彦(倉敷中央病院 心臓血管外科)
 5. Is aortic valvuloplasty standardized? Case study with regard to the indication for aortic valvuloplasty
演者：國原 孝(東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座)
- 10) ビッグデータ解析の現状と課題 〈英語〉
Current state and challenges of big data analysis
(3月12日(土) 10:30～12:00)
座長：的場 聖明(京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学)
宮本 恵宏(国立循環器病研究センター)
1. Big Data Analysis: Experience from the CKD Prognosis Consortium
Keynote Lecture：松下 邦洋(Department of Epidemiology, Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health)
 2. The Role of Regional National Registries in Improving Quality of Care and Outcomes for Cardiovascular Disease
演者：香坂 俊(慶應義塾大学 循環器内科)
 3. Current medical care of cardiovascular diseases in Japan: evidence from JROAD/JROAD-DPC database
演者：岩永 善高(国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター)
 4. Findings from the JROAD-DPC registry across 6 studies conducted in a year
演者：大櫛祐一郎(徳島大学 循環器内科学)
 5. New Analysis of Longitudinal Clinical Big Data with Artificial Intelligence – A Report from the CHART-2 Study –
演者：白戸 崇(東北大学 循環器内科学)
 6. Development and Assessment of Quality of Cardiovascular Care Using Nationwide Electronic Health Database
演者：金岡幸嗣朗(国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター)
- 11) 遠隔心臓リハビリテーションの可能性を探る 〈日本語〉
Exploring the possibilities of remote cardiac rehabilitation
(3月12日(土) 10:30～12:00)
座長：牧田 茂(埼玉医科大学国際医療センター)
三浦伸一郎(福岡大学医学部 心臓・血管内科学)
1. Tele - Cardiac Rehabilitation System Using Tele-Nursing with Apple Watch-a Large Prospective Randomized Trial (TELE-REHA Trial)
演者：中山 敦子(榊原記念病院 循環器内科学)
 2. Challenging of tele-rehabilitation for elderly heart failure patients in home visit care
演者：鈴木 豪(ゆみのハートクリニック三鷹)

3. Issues to be Resolved on Implementation of Home-based Cardiac Rehabilitation with Remote Monitoring
演者：加藤 祐子(心臓血管研究所 循環器内科)
 4. Efficacy and Safety of Remote Cardiac Rehabilitation in the Recovery Phase of Cardiovascular Diseases
演者：網谷 英介(東京大学医学部 重症心不全治療開発講座)
 5. Operational results of maintenance-phase remote cardiac rehabilitation
演者：木村 穰(関西医科大学健康科学センター)
-
- 12) 急性心筋梗塞の現状と院内・院外の死亡率低下に向けた取り組み 〈日本語〉
Current status and challenges for reduction of in-hospital and out-hospital mortality from acute myocardial infarction
(3月12日(土) 10:30~12:00)
座長：天野 哲也(愛知医科大学)
森野 禎浩(岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)
 1. STOP MI Campaign by Japanese Circulation Society
演者：上田 恭敬(国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)
 2. New-trend in AMI treatment after the COVID-19 outbreak: Real-world data from the SAKURA-CCU registry
演者：新井 陸(日本大学 循環器内科)
 3. Impact of Sufficient Cardiovascular Care Supply on In-Hospital Mortality in Patients with Acute Myocardial Infarction Complicated by Cardiogenic Shock
演者：辻田 賢一(熊本大学 循環器内科学)
 4. Frequency, risk factors and prognosis of heart failure readmission after acute myocardial infarction: insight from the Japan AMI registry (JAMIR)
演者：竹内 智(東北大学 循環器内科)
 5. In-hospital Care and Outcomes of Acute Myocardial Infarction Patients: Insights from the Nationwide J-PCI OUTCOME Registry
演者：澤野 充明(慶應義塾大学医学部 循環器内科)
 - 13) 低左心機能に合併した機能性僧帽弁閉鎖不全症に対する治療－カテーテル治療(MitraClip, TMVR)と僧帽弁形成術, 僧帽弁置換術 〈日本語〉
Transcatheter and Surgical Intervention for Secondary Mitral Regurgitation caused by LV dysfunction; MitraClip/TMVR or Valve repair/replacement
(3月12日(土) 08:00~09:30)
座長：松居 喜郎(華岡青洲記念病院)
渡邊 望(宮崎大学医学部 機能制御学講座循環動態生理学分野)
 1. Early Experience of Transcatheter Edge-to-Edge Mitral Valve Repair with Extended Clip Arms for Ventricular Functional Mitral Regurgitation
演者：泉 佑樹(榊原記念病院 循環器内科)
 2. The Role of Transcatheter Mitral Valve Repair in Patients Having Undergone Cardiac Resynchronization Therapy
演者：鈴木 敦(東京女子医科大学 循環器内科学)
 3. Importance of hemodynamic assessment to select responder in patient with secondary mitral regurgitation treated with transcatheter mitral valve edge-to-edge repair
演者：天木 誠(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 4. Reconsideration of surgical strategy for ischemic mitral regurgitation
演者：古川 貢之(宮崎大学 心臓血管外科)
 5. Proper arrangement of treatment options for functional mitral regurgitation in the era of catheter mitral intervention
演者：若狭 哲(北海道大学大学院医学研究院 循環器・呼吸器外科)

- 14) 新たな分子病態から見た心不全の治療への挑戦 〈英語〉
Challenge for treatment of heart failure based on new molecular pathogenesis
(3月12日(土) 16:00~17:30)
座長: 矢野 雅文(山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学)
桑原宏一郎(信州大学医学部 循環器内科)
1. Future of Cardiovascular Diseases: On Low Beam and High Beam
Keynote Lecture: Joseph A. Hill (UT Southwestern Medical Center)
 2. Restoring calmodulin binding affinity to ryanodine receptor type2 plays a pivotal role in preventing heart failure with preserved ejection fraction
演者: 小田 哲郎(山口大学 医学系研究科 器官病態内科学)
 3. The role of nuclear GAPDH signaling in cardiac remodeling
演者: 瀧本 英樹(東京大学 循環器内科)
 4. NRSF-GNAO1 Transcriptional Circuit Plays a Pivotal Role in Regulating Cardiac Ca²⁺ Homeostasis and Function
演者: 桑原宏一郎(信州大学 循環器内科学)
 5. A New Therapeutic Paradigm of cGMP Modulation in Heart Failure
演者: 高濱 博幸(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
- 15) 心不全イメージングの進歩 〈英語〉
Progress in Heart Failure Imaging
(3月12日(土) 13:30~15:00)
座長: 坂田 泰史(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
土肥 薫(三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学)
1. Please suggest the preferred lecture title
Keynote Lecture: Jagat Narula (Icahn School of Medicine at Mount Sinai)
 2. Evaluation of Extra Cellular Volume by Computed Tomography is Useful for Prediction of Prognosis in Cases with Dilated Cardiomyopathy
演者: 八島 聡美(千葉大学 循環病態医科学)
 3. Ultrastructural Features of Cardiomyocyte Nuclei for Predicting Clinical Course
演者: 大谷 朋仁(大阪大学 循環器内科学)
 4. Utility of Exercise Stress Echocardiography for diagnosing stiff left atrial syndrome
演者: 天野 雅史(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 5. Advance of Echocardiographic Imaging in Assessing of Cardiac Dyssynchrony
演者: 瀬尾 由広(名古屋市立大学大学院 循環器内科学)
- 16) 成人期に達した先天性心疾患への再介入 〈英語〉
Re-intervention for congenital heart disease in adulthood
(3月12日(土) 13:30~15:00)
座長: 白石 公(国立循環器病研究センター)
Lucy Youngmin Eun (Pediatric Cardiology, Yonsei University Severance Hospital, Seoul, Korea)
1. TBD
Keynote Lecture: Lucy Youngmin Eun (Pediatric Cardiology, Yonsei University Severance Hospital, Seoul, Korea)
 2. Usefulness of Multidisciplinary Heart Team Approach in Patients with Adult Congenital Heart Disease
演者: 佐地 真育(榊原記念病院 循環器内科)
 3. Estimating the number of patients eligible for transcatheter pulmonary valve implantation using different devices in Japanese high-volume center
演者: 藤本 一途(国立循環器病研究センター 小児循環器内科)
 4. Re-intervention Methods for Arrhythmia in Fontan Patients
演者: 西井 伸洋(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座)

5. Percutaneous Implantation of Permanent Cardiac Pacing Leads in Patients after Fontan Operation
演者：豊原 啓子(東京女子医科大学 循環器小児・成人先天性心疾患科)
6. Reoperation for adult with congenital heart disease
演者：市川 肇(国立循環器病研究センター 小児心臓外科)
- 17) ISCHEMIA 試験以後の CCS の評価と治療戦略 〈日本語〉
Diagnostic and therapeutic strategy for CCS following ISCHEMIA TRIAL
(3月12日(土) 13:30~15:00)
座長：伊莉 裕二(東海大学)
坂口 元一(近畿大学病院 心臓血管外科)
1. ISCHEMIA 試験以後の PCI
演者：中澤 学(近畿大学病院)
2. CABG in the post-ISCHEMIA era
演者：大野 貴之(三井記念病院 心臓血管外科)
3. Medical Therapy after ISCHEMIA trial
演者：後藤 信哉(東海大学医学部 内科学系循環器内科学)
4. Impact of Coronary Physiology on Clinical Outcomes of Chronic Coronary Syndrome with Left Main Disease: Insights from the DEFINE-LM Registry
演者：割澤 高行(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 循環器内科)
5. Management of Heart Failure Caused by Coronary Artery Disease in the Post-ISCHEMIA Era
演者：香坂 俊(慶應義塾大学 循環器内科)
- 18) 循環器領域女性医師のキャリア継続の現状と課題 〈日本語〉
How to clear the hurdles of carrier – Challenge for the sustainable future
(3月12日(土) 13:30~15:00)
座長：上村 史朗(川崎医科大学 循環器内科)
坂東 泰子(名古屋大学 循環器内科)
コメンテーター：福本 義弘(久留米大学医学部 内科学講座心臓・血管内科部門)
谷山真規子(岡山大学大学院医歯薬総合研究科 岡山県南東部玉野総合診療医学講座)
1. Current Diversity Issues in Cardiovascular Workplace in Chugoku District: Results from Two Questionnaire Surveys
演者：福江 宣子(徳山医師会病院 循環器内科)
2. Supporting the Career Advancement of Women Childbearing Cardiologists in University Hospital
演者：野々口紀子(杏林大学 循環器内科)
3. The challenge for LIFE of a female physician in a community based cardiology clinic
演者：山上 文(ゆみのハートクリニック渋谷)
4. Diversity in the Department of Cardiology Focusing on the Working Style of Female Doctors
演者：北田 諒子(大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科)
5. Role of female doctors in arrhythmia medical treatment in a mountainous area
演者：岡田 綾子(信州大学病院 循環器内科)
- 19) 集中治療室での循環器治療医とのコラボー循環器管理から感染対策まで－ 〈英語〉
Collaboration with cardiologists in the intensive care unit: from cardiovascular management to infection control
(3月13日(日) 08:00~09:30)
座長：佐藤 直樹(かわぐち心臓呼吸器病院 循環器内科)
伊藤 智範(岩手医科大学)
1. Indications and World-wide use of endomyocardial biopsy
Keynote Lecture：Petar M. Seferovic(Serbian Academy of Sciences and Arts, University of Belgrade Faculty of Medicine, Serbia)

2. Treatment Strategy in the Non-Surgical Intensive Care Units by the Full-time Doctor Specializing in both Cardiovascular and Intensive Care Medicine
演者：白壁 章宏(日本医科大学千葉北総病院 集中治療室)
 3. Predictive ability of the Sequential Organ Failure Assessment score for hospital mortality in a contemporary cardiac intensive care unit population
演者：西本 裕二(兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科)
 4. Significance of Infectious and Inflammatory Pathway in Contemporary Management of Cardiovascular Patients in Critical Care Setting
演者：香坂 俊(慶應義塾大学 循環器内科)
 5. Patient- and Family-centered Outcomes: That's the Reason Why Cardiologists Need to Collaborate with Intensivists
演者：嘉嶋勇一郎(信州大学 救急集中治療医学)
- 20) 集中治療室での加療をいかにプレホスピタルから開始するか 〈英語〉
How to start treatment in the intensive care unit from the pre-hospital stage.
(3月13日(日) 10:30~12:00)
座長：田原 良雄(国立循環器病研究センター)
遠藤 智之(東北医科薬科大学病院 救急科)
1. TBD
Keynote Lecture：菊地 研(獨協医科大学)
 2. Impact of Hospital Volume on Ischemic Time and In-hospital Mortality in Patients with ST-Segment-Elevation Myocardial Infarction: Data from K-ACTIVE Registry
演者：桐ヶ谷 仁(横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター 内科)
 3. Cardiovascular Disease Patient Transport is Shifting from Highly Equipped Ambulance Cars to Paramedic Transport
演者：山室 恵(済生会熊本病院 集中治療室)
 4. Continuum of Care for the Emergency Cardiovascular Patients Utilizing Medical Control System
演者：今村 浩(信州大学 救急集中治療医学)
 5. Optimized Cardiogenic Shock management from pre-hospital to CICU
演者：中田 淳(日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科)
- 21) 幹細胞・遺伝子治療・心臓再生の最前線 〈英語〉
Cutting-edge Science in Stem Cell, Gene Therapy, and Regeneration for Cardiovascular Disease
(3月13日(日) 08:00~09:30)
座長：家田 真樹(筑波大学医学医療系 循環器内科)
Deepak Srivastava(Gladstone Institutes)
1. Cellular Reprogramming Approaches for Heart Disease
Keynote Lecture：Deepak Srivastava(Gladstone Institutes)
 2. Reporter cell-based generation of region-specific mature cardiac tissue for clinical applications
演者：吉田 善紀(京都大学 iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門)
 3. Development of Personalized Medicine Targeting Arrhythmogenic Cardiomyopathy Concealed in Advanced Heart Failure
演者：肥後修一郎(大阪大学 重症心不全内科治療学共同研究講座)
 4. Cardiac protective function regulated by organ specific endothelial cells
演者：横山 真隆(千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学)
 5. Cardiac Fibrosis, Reprogramming, and Regeneration
演者：家田 真樹(筑波大学医学医療系 循環器内科)

22) 心不全薬物治療の最前線

〈日本語〉

Front line of pharmacological therapy for heart failure

(3月13日(日) 08:00~09:30)

座長: 斎藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器内科)

筒井 裕之(九州大学大学院医学研究院 循環器内科学)

1. Appropriateness Use Criteria for Guideline-Directed Medical Therapy in Heart Failure with Reduced Ejection Fraction

演者: 庄司 聡(日野市立病院 循環器科)

2. Hemodynamic effects of sacubitril-valsartan initiation on hospitalized heart failure patients with reduced ejection fraction: non-invasive study using echocardiography

演者: 南 雄一郎(東京女子医科大学 循環器内科学)

3. New Strategy for Optimization of Heart Rate (HR) in Various Setting of Heart Failure (HF) and Implication of Ivabradine

演者: 絹川弘一郎(富山大学 第二内科)

4. Potential Effects of Canagliflozin on Human Myocardial Redox Signalling

演者: 近藤 秀和(大分大学 循環器内科・臨床検査診断学)

5. Off-Label Use of Dantrolene for Lethal Arrhythmia in Heart Failure

演者: 小林 茂樹(山口大学大学院 器官病態内科学)

23) がん治療による循環器合併症の現状と課題

〈英語〉

Challenges and Opportunities in Cancer Therapeutics-Related Cardiovascular Disorders (CTRCD)

(3月13日(日) 13:15~14:45)

座長: 南 博信(神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科学分野)

佐瀬 一洋(順天堂大学大学院医学研究科 臨床薬理学)

1. Arrhythmia Management in Cancer Patients – What Do We Know and What is Left to Learn

Keynote Lecture: Michael G. Fradley (Perelman School of Medicine at the University of Pennsylvania)

2. Usefulness of Echocardiography of Cancer Therapeutics-Related Cardiac Dysfunction -Resolved Issue as Early Detection and Unresolved Issue as Late-onset heart failure

演者: 福田 優子(兵庫県立がんセンター 循環器内科)

3. Usefulness of GLS-guided Management to Prevent HER2 Inhibitor Induced Myocardial Damages

演者: 山田 健太(国際医療福祉大学三田病院 心臓血管センター)

4. Predictive Value of Speckle tracking Echocardiography for Cancer Therapy Related Cardiac Dysfunction

演者: 西條 良仁(徳島大学病院 循環器内科)

5. Long-term Follow-up Care of Childhood Cancer Survivors from the Viewpoint of Onco-cardiology

演者: 進藤 彰人(東京大学 循環器内科)

24) 老化の基礎研究

〈英語〉

Basic biology of aging

(3月13日(日) 15:30~17:00)

座長: 南野 徹(順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科)

Vicente Andrés (Centro Nacional de Investigaciones Cardiovasculares Carlos III- CNIC and CIBER de Enfermedades Cardiovasculares)

1. Mechanisms of accelerated cardiovascular disease and premature aging in Hutchinson-Gilford progeria syndrome

Keynote Lecture: Vicente Andrés (Centro Nacional de Investigaciones Cardiovasculares Carlos III- CNIC and CIBER de Enfermedades Cardiovasculares)

2. ANGPTL2: a causal player in accelerating heart disease development in the aging

演者: 尾池 雄一(熊本大学大学院生命科学研究部 分子遺伝学)

3. Macrophage diversity in age-associated cardiovascular disease

演者: 真鍋 一郎(千葉大学 疾患システム医学)

4. Systemic embolization from aortic ruptured plaque as a cause of aging
演者：山根 治野(国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)
5. Endothelial cell senescence in aging and disease
演者：池田 宏二(京都府立医科大学 長寿・地域疫学(循環器内科))
- 25) 医療機器開発における進歩－非臨床から臨床評価－ 〈日本語〉
Progress in Medical Device Development－From Non-clinical to Clinical Evaluation－
(3月13日(日) 13:15～14:45)
座長：中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院)
中村 匡徳(名古屋工業大学)
1. Unrelenting challenge to create future of clinical treatment through Biomedical Engineering
Keynote Lecture：岩崎 清隆(早稲田大学先端生命医科学センター TWIns)
2. Fusion of real and virtual: A novel supporting system for congenital heart disease surgery using 3D replicas and computer simulations
演者：白石 公(国立循環器病研究センター 小児循環器内科)
3. A Multipolar Mapping and Injection Catheter for Transendocardial Cell Therapy
演者：町野 毅(筑波大学 循環器内科)
4. Novel Therapeutic Application of Low-intensity Pulsed Ultrasound for Coronary Artery Disease – Clinical Application of Mechano-transduction Mechanisms –
演者：進藤 智彦(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
- 26) 循環器診療のあり方と医療政策および医療体制 〈日本語〉
(3月13日(日) 13:15～14:45)
座長：池田 隆徳(東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学)
中川 義久(滋賀医科大学 循環器内科)
1. A Novel Style of Outpatient Clinic Utilizing a Combination of Telehealth and Real-Time ECG monitoring in Patients with Heart Disease
演者：高見 充(神戸大学大学院医学研究科 内科学講座・循環器内科学分野)
2. Problems and solution of remote monitoring system for patients with cardiac implantable electronic device in Japan
演者：石橋 耕平(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
3. Ten-year Trends in Cardiovascular Risk Factors in Young Japanese Adults aged 20 – 39
演者：田中 仁啓(ノースウェスタン大学 予防医学教室)
4. Seamless Comprehensive Care for Heart Failure Patients during Acute, Recovery, and Maintenance Phases in Cooperation with a Local Government
演者：北川 知郎(広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学)
5. The Scoring System and Interprofessional Hospital-Community Partnership to Prevent Readmission in Elderly Patients with Decompensated Heart Failure
演者：中根 英策(公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 心臓センター)
6. Differences in Priorities for Heart Failure Management between Cardiologists and General Practitioners in Japan
演者：磯部 光章(榊原記念病院)
- 27) 2022年度診療報酬改定に向けての取り組みとその結果について 〈日本語〉
(3月13日(日) 15:30～17:00)
座長：池田 隆徳(東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学)
松本 万夫(東松山医師会病院/埼玉医科大学国際医療センター)
1. Outline of Activities of the Health Insurance Committee for the Revision of Medical Fees in 2022
演者：池田 隆徳(東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学)
2. 2022年度診療報酬改訂に向けての取り組みとその結果について：不整脈関連の診療報酬改定申請とその結果
演者：山根 禎一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)

3. Proposal for a Revision of Medical Fee 2022 from The Japanese Association of Cardiac Rehabilitation and The Japanese Circulation Society

演者：木庭 新治(昭和大学 内科学講座循環器内科学部門)

4. 心エコー関連の診療報酬改定申請とその結果(仮)

演者：岩永 史郎(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

5. 日本心不全学会からの診療報酬改定への提案

演者：佐藤 直樹(かわぐち心臓呼吸器病院)

6. 心血管インターベンション治療関連の診療報酬改定申請とその結果

演者：伊莉 裕二(東海大学医学部附属病院)

9. Special Session

1) 脳卒中予防に関する循環器デバイス治療：国内の現状と新たなエビデンス 〈日本語〉

Device therapy for Stroke prevention. Current situation and newer evidence

(3月11日(金) 08:00~09:30)

座長：原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

豊田 一則(国立循環器病研究センター)

1. Transcatheter closure of PFO; Current status in Japan

演者：赤木 禎治(岡山大学 循環器内科)

2. Evidences of Percutaneous PFO Closure in Japan and Overseas

演者：金澤 英明(慶應義塾大学 循環器内科)

3. Current Evidence of Transcatheter Left Atrial Appendage Closure

演者：中島 祥文(岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)

4. Yield of cardiac assessment for acute stroke

演者：井口 保之(東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科)

5. Activity and development of the Brain Heart Team in our hospital

演者：吉村 壮平(国立循環器病研究センター 脳血管内科)

2) Cardiogenic shock and mechanical cardiac support 〈日本語〉

(3月11日(金) 08:00~09:30)

座長：石原 正治(兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学)

竹石 恭知(福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座)

1. The Utility of Mechanical Cardiac Support Devise in Acute Coronary Syndrome Complicated by Cardiogenic Shock

演者：山口 淳一(東京女子医科大学 循環器内科)

2. Non-Culprit Lesion Revascularization for Multivessel Disease in ST-Elevation Acute Myocardial Infarction

演者：臺 和興(広島市民病院 循環器内科)

3. Selection and Management of Mechanical Circulatory Systems in AMI with Cardiogenic Shock

演者：的場 哲哉(九州大学病院 循環器内科)

4. Impella as a treatment option of acute coronary syndrome –Unloading for what?–

演者：朔 啓太(国立循環器病研究センター 循環動態制御部)

3) 失神患者の診断と治療 up to date 〈英語〉

How to manage patients with syncope; up to date

(3月12日(土) 10:30~12:00)

座長：安部 治彦(産業医科大学 不整脈先端治療学)

古山准二郎(済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科)

1. A novel approach to non-cardiac syncope

Keynote Lecture: Michele Brignole (IRCCS Istituto Auxologico Italiano)

2. Syncope in Emergency Department

演者：鈴木 昌(東京歯科大学 市川総合病院 救急科)

3. Syncope Unit (Clinic) in Japan
演者：古川 俊行(聖マリアンナ医科大学 東横病院 循環器内科 失神センター)
4. Pacing Therapy for Reflex Syncope
演者：住吉 正孝(順天堂大学医学部附属練馬病院 循環器内科)
5. Therapies for ictal asystole and adenosine sensitive syncope
演者：河野 律子(産業医科大学医学部 不整脈先端治療学)
- 4) HIF signaling and cardiovascular diseases (英語)
(3月12日(土) 10:30~12:00)
座長：武田 憲彦(自治医科大学)
南学 正臣(東京大学大学院医学系研究科)
 1. Efficacy and safety of HIF-PH inhibitor for the treatment of anemia in CKD
演者：Volker H. Haase (Vanderbilt University)
 2. The roles of hypoxia signaling in cardiovascular remodeling
演者：武田 憲彦(自治医科大学 分子病態治療研究センター 循環病態・代謝学研究部)
 3. HIF signaling in CKD
演者：田中 哲洋(東京大学 腎臓・内分泌内科)
 4. Hypoxia Signaling in Cardiomyocyte Cell Cycle Regulation
演者：木村 航(理化学研究所 生命機能科学研究センター)
- 5) Basic research in Pulmonary Hypertension (英語)
(3月12日(土) 10:30~12:00)
座長：小川 愛子(独立行政法人国立病院機構岡山医療センター)
横山 詩子(東京医科大学)
 1. Pathological Muscularization in Pulmonary Hypertension
演者：Daniel M. Greif (Yale University School of Medicine)
 2. Aryl hydrocarbon receptor has a crucial role in the pathogenesis of pulmonary arterial hypertension
演者：中岡 良和(国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部)
 3. Use of Patient-derived Pulmonary Arterial Smooth Muscle Cells to Study the Pathogenetic Role of Platelet-Derived Growth Factor Signaling in Pulmonary Hypertension
演者：田中 啓祥(岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医薬品臨床評価学)
 4. Effects of Genetic Modifications of Bmpr2 and a Chemokine Receptor on Progressive Pulmonary Hypertension in Rats: What Does CRISPR/Cas9 Bring to Pulmonary Hypertension Research?
演者：澤田 博文(三重大大学 麻酔集中治療学・小児科学)
- 6) New horizon of treatment for HOCM (英語)
(3月12日(土) 10:30~12:00)
座長：北岡 裕章(高知大学 老年病・循環器内科学)
Carolyn Yung Ho (Brigham and Women's Hospital, USA)
 1. New Treatment Strategies to Target and Attenuate Hypertrophic Cardiomyopathy
Keynote Lecture: Carolyn Yung Ho (Brigham and Women's Hospital, USA)
 2. Drug Treatment for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy
演者：久保 亨(高知大学 老年病・循環器内科学)
 3. Current status of Percutaneous transluminal septal myocardial ablation (PTSMA) for HOCM
演者：高見澤 格(榊原記念病院 循環器内科)
 4. Myectomy for HOCM in Japan
演者：高梨秀一郎(川崎幸病院 心臓外科)

- 7) 心筋炎 up to date 〈日本語〉
To overcome myocarditis: Current state and future perspective
(3月12日(土) 13:30~15:00)
座長: 猪又 孝元(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)
奥村 貴裕(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
1. How to Suspect Myocarditis in Primary Care?
演者: 上田 剛士(洛和会丸太町病院 救急総合診療科)
 2. Is Endomyocardial Biopsy Necessary for the Diagnosis of Myocarditis?
演者: 中村 一文(岡山大学 循環器内科学)
 3. Current Status and Perspectives of Viral Presence-guided Therapies in Myocarditis
演者: 永井 利幸(北海道大学大学院医学研究院 循環病態内科学教室)
 4. Temporary mechanical circulatory supports in patients with fulminant myocarditis
演者: 浅海 泰栄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 5. Mechanical circulatory support treatment for Fulminant myocarditis – We are still on the voyage of overcoming fulminant myocarditis
演者: 塩瀬 明(九州大学 循環器外科学)
 6. A world perspective: The management of acute / fulminant myocarditis
演者: Enrico Ammirati(De Gasperis Cardio Center, Nigurata Hospital, Milano, Italy)
- 8) Life-course Approach to Pediatric Risk Factors for Cardiovascular Disease 〈英語〉
(3月12日(土) 13:30~15:00)
座長: 南野 哲男(香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科)
Samuel S. Gidding(Geisinger Genomic Medicine Institute, USA)
1. Life-course Implications of Pediatric Risk Factors for Cardiovascular Disease
Keynote Lecture: Samuel S. Gidding(Geisinger Genomic Medicine Institute, USA)
 2. Pediatric Lipid Screening for FH in Kagawa, Japan
演者: 松永 圭司(香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学)
 3. Guideline for Pediatric FH in Japan
演者: 斯波真理子(国立循環器病研究センター研究所 分子病態部)
 4. Genetic testing for pediatric FH and lipid disorders
演者: 多田 隼人(金沢大学 循環器内科)
 5. 成育基本法と子ども達の健やかな成長について
演者: 自見はなこ(参議院)
- 9) Catheter-based treatment of mitral valve regurgitation 〈英語〉
(3月12日(土) 13:30~15:00)
座長: 田邊 一明(島根大学医学部 循環器内科)
Paul Sorajja (Valve Science Center, Minneapolis Heart Institute Foundation, Abbott Northwestern Hospital, USA)
1. Obtaining surgical-like results with transcatheter edge-to-edge repair
Keynote Lecture: Paul Sorajja (Valve Science Center, Minneapolis Heart Institute Foundation, Abbott Northwestern Hospital, USA)
 2. Optimal reduction in mitral regurgitation and long-term survival with transcatheter edge-to-edge repair
演者: 佐藤 寛大(ミネアポリス心臓研究所財団弁膜症センター)
 3. Clinical and Anatomical Patient Selection for Successful Transcatheter Mitral Edge-to-Edge Repair
演者: 久保 俊介(倉敷中央病院 循環器内科)
 4. Current status of transcatheter edge to edge repair for mitral valve regurgitation in Japan: Insights from OCEAN-Mitra registry
演者: 山本 真功(豊橋ハートセンター 循環器内科)
 5. TEE guidance for transcatheter mitral valve intervention
演者: 磯谷 彰宏(小倉記念病院 循環器内科)

- 10) Molecular Mechanism of HFpEF (英語)
(3月13日(日) 08:00~09:30)
座長: 山口 修(愛媛大学大学院医学系研究科 循環器・呼吸器・腎高血圧内科)
Joseph A. Hill(UT Southwestern Medical Center, USA)
1. HFpEF: Malady, Model, Meta-inflammatory Mechanisms
Keynote Lecture: Joseph A. Hill(UT Southwestern Medical Center, USA)
 2. Disruption of homeostasis in fatty acid metabolism and HFpEF
演者: 佐野 元昭(慶應義塾大学医学部 循環器内科)
 3. Alteration of circadian machinery in monocytes induces cardiac inflammation and fibrosis caused by chronic kidney disease
演者: 大戸 茂弘(九州大学大学院薬学研究院)
 4. The Roles of Macrophage HIF-1 α Signaling in Cardiac Remodeling
演者: 武田 憲彦(自治医科大学 分子病態治療研究センター 循環病態・代謝学研究部)
 5. The Role of Inflammation in HFpEF – Insights from Clinical Data –
演者: 彦惣 俊吾(大阪大学 循環器内科学)
- 11) 地域の循環器診療システムを崩壊させないために (日本語)
To prevent the collapse of cardiovascular care system in the local lesion
(3月13日(日) 08:00~09:30)
座長: 長谷部直幸(旭川医科大学 心血管再生・先端医療開発講座)
大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
1. 循環器病対策推進基本計画に基づく、都道府県の循環器病対策推進計画に期待するもの
演者: 桑原 政成(厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課)
 2. Our Challenge to Conquer ACS Beyond the Geographical Disadvantage in Kagoshima
演者: 神田 大輔(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学)
 3. A Regional Network to Promote Comprehensive Cardiac Rehabilitation for Heart Failure Patients in Cooperation with a Local Government – Hiroshima Heart Health Promotion Project –
演者: 北川 知郎(広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学)
 4. Prevention and treatment of cardiovascular disease: Role of community support programs and family surveys
演者: 中川 直樹(旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科学)
 5. Addressing the Novel Coronavirus Epidemic in Okinawa Prefecture
演者: 高山 義浩(沖縄県立中部病院 感染症内科)
 6. Acute phase response of a community emergency hospital that became a COVID-19 cluster and beyond
演者: 上野 高史(福岡記念病院 循環器科)
- 12) Artificial Intelligence in Cardiology: Current Progress and Future Perspectives (英語)
(3月13日(日) 10:30~12:00)
座長: 中野由紀子(広島大学)
笹野 哲郎(東京医科歯科大学 循環器内科)
1. Current and Future Implications of the Artificial Intelligence ECG: The Transformation of Health Care
Keynote Lecture: Paul A Friedman(Mayo Clinic)
 2. Artificial Intelligence in Echocardiography
演者: 楠瀬 賢也(徳島大学 循環器内科学)
 3. AI as a Method to Maximize the Utility of Multidimensional Data in Medicine
演者: 後藤 信一(Brigham and Women's Hospital Division of cardiovascular medicine)
 4. Artificial Intelligence Supports Heart Diseases Evaluation and Heart Failure Detection
演者: 藤生 克仁(東京大学 循環器内科)

5. TBD

演者：Sanjiv J. Shah (Division of Cardiology, Northwestern University Feinberg School of Medicine)

13) Single cell analysis in cardiovascular disease 〈英語〉

(3月13日(日) 08:00~09:30)

座長：尾上 健児(奈良県立医科大学 循環器内科)

野村征太郎(東京大学医学部附属病院)

1. Mechanoregulation of fetal cardiac growth and maturation decisions

Keynote Lecture：Jonathan Butcher (Biomedical Engineering, Cornell University, USA)

2. Aberrant Interaction Between TEAD1 and Lamin A/C Impairs Cardiomyocyte Maturation in LMNA-related Cardiomyopathy

演者：候 聡志(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座)

3. High Throughput Single Cell Analysis of Mitochondrial Heteroplasmy in Mitochondrial Diseases

演者：前田遼太郎(京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学)

4. Cardiac fibroblasts as a therapeutic target in heart failure

演者：小室 仁(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

5. Single Cell RNA Seq Reveals a Distinct Immune Landscape in Human Coronary Culprit Plaques.

演者：江本 拓央(神戸大学大学院医学研究科 内科学講座循環器内科学分野)

6. Identification of Novel Biomarkers and Therapeutic Targets for Myocarditis Using scRNA-seq Analysis

演者：松岡 研(大阪大学大学院医学系研究科 医化学)

14) Dawn of "Sports Cardiology" in Japan 〈日本語〉

(3月13日(日) 10:30~12:00)

座長：深尾 宏祐(順天堂大学 スポーツ健康科学部スポーツ科学科)

中川 晃志(岡山大学病院 循環器内科)

1. An Introduction to Sports Cardiology

演者：磯 良崇(昭和大学藤が丘病院 循環器内科)

2. Sudden Cardiac Arrest and Death during Sports

演者：真鍋 知宏(慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター)

3. The Current Situation and Challenges in Electrocardiographic Interpretation in Athletes

演者：駿河 宗城(岡山医療センター 循環器科)

4. Athlete's Heart in Clinical Practice of Cardiovascular Medicine: the Basics and Updates

演者：木下 訓光(法政大学 スポーツ健康学部)

15) Non-alcoholic fatty liver disease - the heart of the matter 〈英語〉

(3月13日(日) 13:15~14:45)

座長：木庭 新治(昭和大学)

小関 正博(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

1. Non-Alcoholic Fatty Liver Disease – the Heart of the Matter –

Keynote Lecture：Laurence S. Sperling (The Center for Heart Disease Prevention, Emory University School of Medicine, Atlanta, USA)

2. Liver in Early Stage Cardiovascular Abnormalities

演者：富山 博史(東京医科大学 循環器内科)

3. Fatty Liver Index and FABP4 in Metabolic Dysfunction-Associated Fatty Liver Disease (MAFLD)

演者：古橋 真人(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)

4. Nonalcoholic fatty liver disease and cardiovascular events -consideration from coronary computed tomography angiography

演者：市川 啓之(岡山大学医歯薬総合研究科 循環器内科)

5. Cholesterol-dominant Diet Activates Nlrp3 and Causes Steatohepatitis-related Cardiomyopathy

演者：冠野昂太郎(大阪大学大学院医学系研究科)

- 16) New developments of iPS cell research 〈英語〉
(3月13日(日) 15:30~17:00)
座長: 柴 祐司(信州大学バイオメディカル研究所/医学部再生医科学教室)
松浦 勝久(東京女子医科大学)
1. Different Heart Field Progenitors and Chamber Cardiomyocytes Derived from Pluripotent Stem Cells
演者: 斎藤 幸弘(岡山大学病院 循環器内科)
 2. Disease modeling and drug discovery for LMNA-mutant dilated cardiomyopathy
演者: 伊藤 正道(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
 3. New insights on the pathophysiology of non-genetic heart disease
演者: 高田 卓磨(東京女子医科大学 循環器内科学)
 4. Cardiac regeneration research using iPS cell-derived cardiomyocytes
演者: 門田 真(信州大学 再生医科学教室)
 5. Cardiac disease research using chamber-specific mature cardiomyocytes derived from iPS cells
演者: 吉田 善紀(京都大学 iPS 細胞研究所)
- 17) cGMP signaling in heart failure 〈英語〉
(3月13日(日) 13:15~14:45)
座長: 瀧本 英樹(東京大学 循環器内科)
安齊 俊久(北海道大学大学院医学研究院 循環病態内科学教室)
1. PDE9 inhibition for Obesity and Cardiometabolic Syndrome
Keynote Lecture: David A. Kass (Johns Hopkins University)
 2. Estrogen and cGMP signaling in the heart
演者: 瀧本 英樹(東京大学 循環器内科)
 3. PKG Oxidation and Its Pathophysiological Impact
演者: 中村 太志(熊本大学病院 医療情報経営企画部)
 4. Nprilysin and cGMP signaling
演者: 中川 仁(奈良県立医科大学 循環器内科)
 5. Natriuretic peptides revisited
演者: 桑原宏一郎(信州大学 循環器内科)
- 18) Integrated assessment of coronary imaging and physiology for optimal treatment of coronary artery disease 〈英語〉
(3月13日(日) 15:30~17:00)
座長: 上村 史朗(川崎医科大学 循環器内科)
Niels R. Holm (Aarhus University Hospital, Denmark)
1. Computed Coronary Physiology is the Future in the Cathlab
Keynote Lecture: Niels R. Holm (Aarhus University Hospital, Denmark)
 2. QFR Japanese experience
演者: 日比 潔(横浜市立大学附属市民総合医療センター 循環器内科)
 3. OCT Based Flow Assessment
演者: 清家 史靖(愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)
 4. CT assessment of coronary anatomy and physiology
演者: 松尾 仁司(岐阜ハートセンター 循環器内科)
 5. The Assessment of Global Coronary Flow with Phase-contrast Cine-magnetic Resonance Imaging
演者: 米津 太志(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
- 19) Heart Failure in obesity, insulin resistance and diabetes 〈英語〉
(3月13日(日) 13:15~14:45)
座長: 佐渡島純一(Rutgers New Jersey Medical School, USA)
清水 逸平(順天堂大学医学部 内科学教室・循環器内科学講座)

1. Mitochondrial quality control mechanisms in obesity cardiomyopathy
Keynote Lecture: 佐渡島純一(Rutgers New Jersey Medical School, USA)
2. The Impact of Senescent Endothelial in the Metabolic Disease
演者: Agian J Barinda (Department of Pharmacology and Therapeutics, Faculty of Medicine, Universitas Indonesia)
3. Sirt1 prevents diastolic dysfunction in obesity
演者: Shinichi Oka (Rutgers New Jersey Medical School)
4. Cardiac Glucose Metabolism and Signaling in Hypertrophy and Heart Failure
演者: Adam R. Wende (University of Alabama at Birmingham)
5. TBD
演者: Jin Han (Inje University, Cardiovascular and Metabolic Disease Center, Korea)

- 20) Cardiac rehabilitation in severe heart failure (英語)
(3月13日(日) 15:30~17:00)
座長: 絹川弘一郎(富山大学)
山口 修(愛媛大学大学院医学系研究科 循環器・呼吸器・腎高血圧内科)
1. Exercise training in patients with Impella support – feasible conditions and how to –
演者: 中村 牧子(富山大学 第二内科)
 2. Cardiac rehabilitation for patients on central ECMO
演者: 藤野 剛雄(九州大学 循環器内科)
 3. Cardiac Rehabilitation before Left Ventricular Assist Device Implantation
演者: 網谷 英介(東京大学 重症心不全治療開発講座)
 4. Team-based Comprehensive Cardiac Rehabilitation in the Acute Phase of Intensive Care in Patients with Advanced Heart Failure
演者: 奥村 貴裕(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
 5. Patients with extracorporeal ventricular assist device on the premise of implantable VAD transition
演者: 三好 徹(愛媛大学大学院医学系研究科 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)
 6. Cardiac Rehabilitation in Patients with Left Ventricular Assist Devices. – National Cerebral and Cardiovascular Center Experiences –
演者: 瀬口 理(国立循環器病研究センター 移植医療部)

- 21) Organella-initiated cell death (英語)
(3月13日(日) 13:15~14:45)
座長: 井手 友美(九州大学)
大津 欣也(国立循環器病研究センター)
1. Mitochondrial degradation and cardiac inflammation
Keynote Lecture: 大津 欣也(国立循環器病研究センター)
 2. The role of ferroptosis in cardiovascular diseases
演者: 井手 友美(九州大学)
 3. Mitochondria and DNA damage: therapeutic targets against heart failure
演者: 尾池 雄一(熊本大学大学院 生命科学研究部 分子遺伝学)
 4. Novel regulatory mechanism of TFEB essential for lysosomal homeostasis
演者: 中村 修平(大阪大学 高等共創研究院)

10. Topics

- 1) New horizon of ion channel functions in arrhythmic syndromes (英語)
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長: 蒔田 直昌(国立循環器病研究センター)
田中 敏博(東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター)
1. TBD
Keynote Lecture: Michael J. Ackerman (Mayo Clinic, Rochester, Minnesota)

2. Topics on ARVC and CPVT
演者：大野 聖子(国立循環器病研究センター 分子生物学部)
3. Modeling Inherited Arrhythmias using Patient-derived iPS Cells. – Calmodulinopathy –
演者：牧山 武(京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学・循環器内科学)
- 2) 難治性 VT に対する治療 up to date 〈英語〉
Intensive therapy for refractory ventricular tachyarrhythmias, up to date
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：副島 京子(杏林大学)
山田 功(University of Minnesota)
 1. How can we create an effective lesion for difficult ventricular tachycardias?
Keynote Lecture：山田 功(University of Minnesota)
 2. management of electrical storm
Keynote Lecture：Roderick Tung(The University of Chicago Department of Medicine, USA)
 3. ケミカルアブレーション
演者：山内 康熙(横浜市立みなと赤十字病院 循環器内科)
 4. Acute and Long-term Results of Bipolar Radiofrequency Catheter Ablation of Refractory Ventricular Arrhythmias
演者：五十嵐 都(筑波大学 医学医療系 循環器内科)
- 3) Electrophysiology meets atrial anatomy: atrial structure-related arrhythmias 〈英語〉
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：松山 高明(昭和大学医学部 法医学講座)
Peng-Sheng Chen(Cedars-Sinai Medical Center)
 1. The ligament of Marshall as a source of atrial fibrillation
Keynote Lecture：Peng-Sheng Chen(Cedars-Sinai Medical Center)
 2. TBD
演者：Igor R. Efimov(Department of Biomedical Engineering, The George Washington University, USA)
 3. Sinoatrial Node Manifests a Brain-like Activity
演者：筒井 健太(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)
 4. Clinical anatomy of the left atrium
演者：森 俊平(UCLA Cardiac Arrhythmia Center)
 5. Optimal contact force setting to make chronic transmural continuous lesion using Recovery pig model
演者：山下賢之介(仙台厚生病院 心臓センター)
- 4) A new era of congenital cardiac surgery: improving ultra-long-term outcomes 〈英語〉
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：笠原 真悟(岡山大学 心臓血管外科)
本 浄 修己(The Labatt Family Heart Centre, The Hospital for Sick Children, Department of Surgery, University of Toronto, Translational Medicine, Research Institute)
 1. TBD
Keynote Lecture：Christopher Caldarone(Texas Childrens' Hospital, Baylor College of Medicine)
 2. Technical strategies to minimize long-term consequences in congenital heart surgery
演者：本 浄 修己(The Labatt Family Heart Centre, The Hospital for Sick Children, Department of Surgery, University of Toronto, Translational Medicine, Research Institute)

3. Anatomic repair vs physiological repair: Long-term surgical outcomes of congenitally corrected transposition of great arteries with ventricular septal defect and left ventricular outflow tract obstruction
演者：帆足 孝也(国立循環器病研究センター 小児心臓外科)
4. Single Ventricle Surgery for the Future
演者：平田 康隆(東京大学 心臓外科)
- 5) 重症心不全領域におけるShared care 〈日本語〉
Shared Care in the Field of Advanced Heart Failure
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：布田 伸一(東京女子医科大学大学院 重症心不全制御学分野)
福畠 教偉(国立循環器病研究センター 移植医療部)
 1. Shared Care for Patients with Advanced Heart Failure: Experience at a High-volume Center of Ventricular Assist Device and Heart Transplantation in Japan
演者：塚本 泰正(国立循環器病研究センター 移植医療部)
 2. Shared Care with Cardiologists in Ventricular Assist Device Therapy
演者：市原 有起(東京女子医科大学 心臓血管外科)
 3. An urgent need to develop shared-care model to provide care to patients supported by left ventricular assist devices living in remote areas in Hokkaido
演者：大岡 智学(北海道大学大学院医学研究院 循環器・呼吸器外科)
 4. Current practice and unsolved issues in shared care for patients with implantable ventricular assist device in Tohoku region; consideration from transplant and VAD coordinator´ perspective
演者：秋場 美紀(東北大学病院 臓器移植医療部)
 5. Shared care for left ventricular assist device (LVAD) patients from the point of view of non-transplant VAD center
演者：絹川弘一郎(富山大学 第二内科)
 6. Shared Care for Advanced Heart Failure in the Community
演者：大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器科)
- 6) 心腎貧血連関における貧血診療：up to date 〈日本語〉
Up-to-date overview on anemia management in cardio-renal-anemia syndrome
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：朝倉 正紀(兵庫医科大学)
安齊 俊久(北海道大学大学院医学研究院 循環病態内科学教室)
 1. Cardio-renal Anemia Syndrome
演者：内藤 由朗(兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学)
 2. Anemia in Aortic Stenosis and Coronary Artery Disease
演者：長央 和也(大阪赤十字病院 循環器内科)
 3. Iron Deficiency in Heart Failure
演者：永井 利幸(北海道大学大学院医学系研究院 循環病態内科学教室)
 4. Cardio-Renal Anemia Iron Deficiency Syndrome
演者：常喜 信彦(東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科)
- 7) Myocardial disease approaching by diagnostic imaging (cardiac amyloidosis, cardiac sarcoidosis, DCM etc.) 〈英語〉
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：泉家 康宏(大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
Jae K. Oh(Mayo Clinic, USA)
 1. TBD
Keynote Lecture：Jae K. Oh(Mayo Clinic, USA)

2. Clinical role of cardiac magnetic resonance in the diagnose of cardiomyopathy.
演者：鍋田 健 (Department of Cardiovascular Imaging, Leiden University Medical Center, The Netherlands)
3. Role of Non-Invasive Multimodality Imaging for Cardiomyopathy – Focus on Nuclear Cardiology –
演者：福島 賢慈 (福島県立医科大学 放射線医学講座)
4. Cardiac CT for Myocardial Characterization in Cardiomyopathy
演者：尾田 済太郎 (熊本大学病院 画像診断・治療科)
- 8) Percutaneous pulmonary valve replacement: Patient selection and initial outcomes (英語)
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：山岸 正明 (京都府立医科大学 小児心臓血管外科)
矢崎 諭 (榊原記念病院)
1. Current Perspective of Percutaneous Pulmonary Valve Implantation for the management of right ventricular outflow tract dysfunction
演者：福田 旭伸 (神戸大学 循環器内科学)
2. The results of pulmonary valve replacement in Japan
演者：平田 康隆 (東京大学医学部附属病院 心臓外科)
3. Patient Selection for Transcatheter Pulmonary Valve Replacement in Patients with Tetralogy of Fallot; Multidisciplinary Heart Team Approach
演者：佐地 真育 (榊原記念病院 成人先天性心疾患センター)
4. Clinical Results of Expanded Polytetrafluoroethylene Conduits with Bulging Sinuses and a Fan-shaped Valve in Right Ventricular Outflow Tract Reconstruction
演者：本宮 久之 (京都府立医科大学 小児医療センター 小児心臓血管外科)
5. Percutaneous pulmonary valve replacement: Patient selection and initial outcomes
演者：藤本 一途 (国立循環器病研究センター 小児循環器内科)
- 9) 今後期待される PAH 治療 (英語)
Prospective Approach of the Therapy for Pulmonary Arterial Hypertension
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：松原 広己 (国立病院機構岡山医療センター)
江本 憲昭 (神戸薬科大学 臨床薬学研究室)
1. TBD
Keynote Lecture: Alexander M.K. Rothman (The University of Sheffield and Sheffield Teaching Hospitals NHS Foundation Trust, UK)
2. Radiofrequency Pulmonary Artery Denervation as Alternative Treatment of Residual Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
演者：Alexander Edemskiy (E. Meshalkin National Medical Research Center Ministry of Health of the Russian Federation)
3. Regnase-1 Prevents Pulmonary Arterial Hypertension via mRNA Degradation of IL-6 and PDGF in Alveolar Macrophages
演者：中岡 良和 (国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部)
4. Sotatercept: a New Therapeutic Approach for Patients with Pulmonary Arterial Hypertension by Rebalancing BMP/activin Signaling
演者：江本 憲昭 (神戸薬科大学 臨床薬学研究室)
- 10) 心不全における多臓器障害：最新の話 (日本語)
Multiple Organ Damage in Heart Failure: Current Topics
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長：瀬尾 由広 (名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
坂田 泰史 (大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
1. Newer Treatment Strategy for Heart Failure in Consideration of Renal Circulation
演者：北田 修一 (名古屋市立大学 循環器内科)

2. The time to pay attention to NASH as a risk of Cardiovascular Diseases
演者：小関 正博(大阪大学 循環器内科)
 3. Skeletal muscle abnormalities and myokines in heart failure
演者：絹川真太郎(九州大学大学院医学研究院 循環器内科)
 4. The role of gut microbiota in heart failure and its clinical significance as a novel therapeutic target
演者：山下 智也(神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)
- 11) Robotic PCI from A to Z 〈英語〉
(3月11日(金) 13:30~14:30)
座長：Ehtisham Mahmud(University of California San Diego, USA)
上野 高史(福岡記念病院)
1. What is robotic assisted PCI?
Keynote Lecture：Ehtisham Mahmud(University of California San Diego, USA)
 2. Current situation of robotic assisted PCI in Japan
演者：森野 禎浩(岩手医科大学)
 3. What is needed in robotic assisted PCI for the future?
演者：光武 良亮(久留米大学 心臓・血管内科)
 4. Long distance tele-robotic-assisted percutaneous coronary intervention
演者：Tejas M. Patel(Apex Heart Institute, Ahmedabad, India)
- 12) What is atrial cardiomyopathy? 〈英語〉
(3月11日(金) 13:30~14:30)
座長：中川 幹子(大分大学医学部 医学教育センター)
Milton Packer(Baylor Heart and Vascular Institute)
1. TBD
Keynote Lecture：Milton Packer(Baylor Heart and Vascular Institute)
 2. Pathology Relevant to the Criteria of Atrial Cardiomyopathy
演者：松山 高明(昭和大学医学部 法医学講座)
 3. Histological Evidence of Atrial Cardiomyopathy in Patients with Atrial Fibrillation
演者：山口 尊則(佐賀大学 循環器内科)
 4. Left Atrial Structural and Functional Remodeling in Atrial Cardiomyopathy
演者：石津 智子(筑波大学 循環器内科)
 5. What is atrial cardiomyopathy? ~From the standpoints of epicardial adipose tissue and atrial myocardial fibrosis~
演者：安部一太郎(大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座)
- 13) Novel pacing therapy for heart failure (His LV Multipoint etc) 〈英語〉
(3月11日(金) 13:30~14:30)
座長：佐藤 俊明(杏林大学医学部 不整脈先進治療学研究講座)
栗田 隆志(近畿大学病院 心臓血管センター)
1. Conduction System Pacing in Patients with IVCD: HOT CRT or LOT CRT
Keynote Lecture：Pugazhendhi Vijayaraman(Geisinger Heart Institute)
 2. The efficacy of new technology for CRT
演者：西井 伸洋(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座)
 3. Conduction System Pacing for Cardiac Resynchronization Therapy: A Japanese Multicenter Study
演者：三戸 森児(近森病院 循環器内科)
 4. Efficacy of His Bundle Pacing on LV Hemodynamic Parameters and Clinical Improvements in Left Bundle Branch Block: Comparison with Biventricular Pacing
演者：加藤 寛之(JCHO 中京病院 循環器内科)

- 14) クイズで学ぶ CPR と ECC の最新ガイドライン (AHA2020 ガイドライン) 〈日本語〉
Take a fun Quiz on the Latest Guidelines for CPR and ECC (2020 AHA Guidelines)
(3月11日(金) 13:30~14:30)
座長: 菊地 研(獨協医科大学)
山本 剛(日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科)
1. BLS (safety net, education)
演者: 高橋 弘(製鉄記念室蘭病院)
 2. Pre-hospital, ED (medication, oxygen)
演者: 花田 裕之(弘前大学高度救命救急センター)
 3. ACLS (arrhythmia)
演者: 船崎 俊一(済生会川口総合病院)
 4. PCAS (parameter monitoring, TTM)
演者: 田原 良雄(国立循環器病研究センター)
- 15) クイズで学ぶ最新の BLS・ACLS 〈日本語〉
Learn BLS & ACLS with Fun! A Quiz Session
(3月11日(金) 16:00~17:00)
座長: 齋藤 博則(岡山赤十字病院)
瀬尾 宏美(高知大学医学部)
1. クイズで学ぶ最新の BLS (仮)
演者: 菊地 研(獨協医科大学)
 2. クイズで学ぶ最新の ACLS(仮)
演者: 田原 良雄(国立循環器病研究センター)
- 16) Cardiovascular Imaging to Enhance Prevention 〈英語〉
(3月13日(日) 08:00~09:00)
座長: 三好 亨(岡山大学病院)
Matthew J. Budoff(UCLA School of Medicine, USA)
1. Tracking Atherosclerosis with Coronary CT
Keynote Lecture: Matthew J. Budoff(UCLA School of Medicine, USA)
 2. The role of coronary artery calcification as risk predictors for atherosclerotic cardiovascular disease
演者: 大澤 和宏(川崎医科大学総合医療センター 総合内科学3)
 3. Integration of Coronary CT Angiography into Cardiovascular Disease Prevention
演者: 高木 英誠(東北大学 放射線診断科)
 4. Clinical application of machine learning in CCTA
演者: 中西 理子(東邦大学医療センター大森病院 循環器センター内科)
- 17) Role of non-coding RNAs in cardiovascular diseases 〈英語〉
(3月13日(日) 09:00~10:00)
座長: 尾野 亘(京都大学大学院医学研究科 循環器内科学)
室原 豊明(名古屋大学)
1. Elucidation of Metabolic Regulatory Mechanisms mediated by MicroRNA-33a/b
演者: 堀江 貴裕(京都大学 循環器内科学)
 2. The lncRNA Caren protects against heart failure by inactivating the ATM-DNA damage response pathway and activating mitochondrial biogenesis
演者: 尾池 雄一(熊本大学大学院生命科学研究部 分子遺伝学)
- 18) 心不全在宅診療を考える 〈日本語〉
Challenging of Home Medical Care for Heart Failure
(3月13日(日) 10:30~11:30)
座長: 弓野 大(医療法人社団ゆみの)
伊藤 真理(川崎医科大学総合医療センター)

1. Improving Care for Patients with Heart Failure in Primary Care Setting
演者：伊藤 大樹(あおばクリニック 内科・循環器科)
 2. Palliative Care Transitions from Acute Care to Community-based Care for Patients with Heart Failure
演者：坂下 明大(兵庫県立姫路循環器病センター 緩和ケア内科)
 3. 心不全の訪問看護
演者：村崎佳代子(一般社団法人池袋本町訪問看護ステーション)
 4. Home Medical Care Support for Heart Failure – Perspective of Medical Social Workers –
演者：齋藤 慶子(ゆみのハートクリニック 在宅療養支援室)
- 19) Treatment of hypertension in Society 5.0 〈日本語〉
(3月13日(日) 10:30~11:30)
座長：石田 万里(広島大学大学院医系科学研究科 心臓血管生理医学)
岸 拓弥(国際医療福祉大学大学院医学研究科 循環器内科)
1. Current Aspect of Digital Therapeutics for the Management of Hypertension
演者：苅尾 七臣(自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門)
 2. Innovation in Healthcare in the Age of Society 5.0 through Digital Transformation of Hypertension Treatment
演者：岸 拓弥(国際医療福祉大学大学院医学研究科 循環器内科)
 3. AI-based Prediction of Hypertension Onset and Proposal of Improvement Plan
演者：奥野 恭史(京都大学大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野)
- 20) 循環器疾患における負荷心エコー図検査 ~いつ, だれに, 何のために行うのか~ 〈日本語〉
Stress Echocardiography: when, for whom, and for what?
(3月13日(日) 15:30~16:30)
座長：山田 博胤(徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域循環器内科学)
平野 豊(近畿大学病院 中央臨床検査部)
1. Stress Echocardiography as a Tool for Assessing Ischemic Heart Disease
演者：杉本 匡史(三重大学 循環器内科学)
 2. Role of Exercise Stress Echocardiography for Aortic Stenosis
演者：出雲 昌樹(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)
 3. Clinical Utility of Exercise-stress Echocardiography in Mitral Regurgitation
演者：宇都宮裕人(広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学)
 4. Exercise Stress Echocardiography in the Evaluation of HFpEF
演者：小保方 優(群馬大学医学部附属病院 循環器内科)
 5. Clinical Utility of Stress Echocardiography in Pulmonary Hypertension
演者：楠瀬 賢也(徳島大学 循環器内科学) 〈英語〉
- 21) State-of-the-art treatment for AAA/TAA
(3月13日(日) 13:15~14:15)
座長：萩野 均(東京医科大学 心臓血管外科)
岡田 健次(神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 心臓血管外科分野)
1. Surgical implications and validation of virtual reality-based assessment of computed tomography measurements in annuloaortic ectasia
演者：辻本 貴紀(神戸大学附属病院 心臓血管外科)
 2. 弓部大動脈瘤(TEVAR), RIBS (仮)
演者：大木 隆生(東京慈恵医科大学 外科)
 3. TEVAR to treat arch to descending aortic pathologies
演者：松田 均(国立循環器病研究センター 心臓血管外科)
 4. Current Status and Future Perspectives of Endovascular Aneurysm Repair (EVAR) for Abdominal Aortic Aneurysm (AAA).
演者：木下 慎(神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科)

5. Current Treatment and Prehospital Management for Ruptured Abdominal Aortic Aneurysms in Japan

演者：東 信良(旭川医科大学 外科学講座血管外科学分野)

22) ASCVD の二次予防：Beyond LDL

〈日本語〉

Secondary Prevention of ASCVD: Beyond LDL

(3月13日(日) 15:30~16:30)

座長：安田 聡(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野)

川尻 剛照(金沢大学 循環器内科学)

1. Apolipoprotein C-III and Coronary Atherosclerosis under LDL-C Control with a Statin

演者：片岡 有(国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科)

2. Pan-vascular Impact and Potential Benefit beyond Arterial Protection of PCSK9 Inhibitors & Importance of LDL-C and Lp(a)

演者：大山 宗馬(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野)

3. The Role of HDL Functionality in Cardiovascular Risk Stratification

演者：杜 隆嗣(神戸大学大学院医学研究科 立証検査医学分野)

4. Impact of cumulative exposure to LDL cholesterol on cardiovascular events in patients with familial hypercholesterolemia

演者：多田 隼人(金沢大学 循環器内科)

11. Meet the Expert

1) Frontier of molecular imaging

〈英語〉

(3月11日(金) 09:45~10:45)

座長：樋口 隆弘(Julius-Maximilians-Universitaet of Wuerzburg)

Jonathan R. Lindner(Oregon Health and Science University, USA)

1. Contrast Ultrasound Assessment of Vascular Function and Phenotype

Keynote Lecture: Jonathan R. Lindner(Oregon Health and Science University, USA)

2. Paradigm shifts in molecular cardiac imaging through novel PET tracers

演者：樋口 隆弘(Julius-Maximilians-Universitaet of Wuerzburg)

2) Echocardiography for management of structural heart diseases

〈英語〉

(3月11日(金) 09:45~10:45)

座長：鶴田ひかる(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

渡邊 望(宮崎大学医学部 機能制御学講座循環動態生理学分野)

1. TBD

演者：鶴田ひかる(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

2. Role of Advanced Echocardiography for the Management of Mitral Regurgitation

演者：出雲 昌樹(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)

3) 成人先天性心疾患の妊娠・出産：ガイドラインと実臨床のジレンマ

〈日本語〉

Pregnancy in adult congenital heart disease- a management dilemma between guidelines and clinical practice

(3月11日(金) 09:45~10:45)

座長：桂木 真司(宮崎大学医学部附属病院 産婦人科)

元木 博彦(信州大学医学部 循環器内科学教室)

1. Pregnancy and Delivery in Women after Mechanical Valve Replacement

演者：神谷千津子(国立循環器病研究センター 産婦人科部)

2. Details are not Described Even in the Guideline

演者：坂本 一郎(九州大学 循環器内科)

- 4) 高度石灰化病変に対するベストな治療戦略 〈日本語〉
Optimal therapeutic strategy for heavily calcified lesion
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長: 小林 欣夫(千葉大学 循環器内科学)
藤本 善英(国際医療福祉大学成田病院)
1. Revascularization strategy using Rotablator for severely calcified coronary lesions
演者: 坂倉 建一(自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科)
 2. Current best strategies of coronary Intervention for complex calcified lesions
演者: 柴田 剛徳(宮崎市郡医師会病院 心臓病センター 循環器科)
- 5) フレイル心疾患患者に対する運動療法 〈日本語〉
Exercise-based physical therapy for frail patients with cardiovascular disease
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長: 東條美奈子(北里大学)
安 隆則(獨協医科大学日光医療センター)
1. Effectiveness of Early Intervention in Patients with Heart Failure in Frailty Syndrome
演者: 井澤 英夫(藤田医科大学医学部 循環器内科学)
 2. The fundamental strategy of exercise intervention in fragile patients with heart failure - A message from Flagship study
演者: 山田 純生(名古屋大学 医学系研究科(総合保健学))
- 6) 抗不整脈薬 revisited: アブレーション時代にどう使う? 〈日本語〉
Antiarrhythmic medication revisited: How to use medication in the catheter ablation era?
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長: 高橋 尚彦(大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学)
住友 直方(埼玉医科大学国際医療センター)
1. Role of Antiarrhythmics during Catheter Ablation Era
演者: 山下 武志(心臓血管研究所)
 2. The Role of Anti-arrhythmic Agents in the Comprehensive Treatment Era for the Arrhythmia
演者: 岩崎 雄樹(日本医科大学 循環器内科)
- 7) 心不全診療を変える遠隔モニター 〈英語〉
Remote monitoring to change heart failure management
(3月11日(金) 16:00~17:00)
座長: 西井 伸洋(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座)
琴岡 憲彦(佐賀大学)
1. Remote patient management in HF patients - from clinical trials to a care model in real life settings
Keynote Lecture: Friedrich Koehler(Charité Universitätsmedizin Berlin, Germany)
 2. Approach to Telemonitoring in Patients with Heart Failure
演者: 金子 哲也(佐賀大学 循環器内科)
- 8) New topics in inherited arrhythmic syndrome and cardiomyopathies 〈英語〉
(3月13日(日) 13:15~14:15)
座長: 相庭 武司(国立循環器病研究センター)
牧山 武(京都大学大学院医学部医学研究科 地域医療システム学講座)
1. Ryanodine receptor disease: what's new?
Keynote Lecture: Arthur A. M. Wilde (Heart Centre, department of Cardiology, Amsterdam University Medical centers, location AMC)
 2. Progress in the Genetic Background of Inherited Arrhythmic Syndrome and Cardiomyopathies
演者: 大野 聖子(国立循環器病研究センター 分子生物学部)

9) Vascular function test and preventive medicine 〈英語〉
(3月13日(日) 14:15~15:15)

座長: 東 幸仁(広島大学 原爆放射線医科学研究所)
井上 晃男(獨協医科大学 先端医科学研究センター)

1. TBD

Keynote Lecture: Naomi M. Hamburg(Boston University, USA)

2. Assessment of Arterial Stiffness in Clinical Practice: the Role of Cardio-Ankle Vascular Index

演者: 三好 亨(岡山大学 循環器内科)

10) Multi-modality imaging for assessing right heart function in adult congenital heart disease 〈英語〉
(3月13日(日) 15:30~16:30)

座長: 石津 智子(筑波大学 循環器内科)
椎名 由美(聖路加国際病院心血管センター 循環器内科)

1. Assessment of myocardial fibrosis in congenital heart disease using CT/MRI

演者: 山村健一郎(九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学講座)

2. Understanding of Fontan Physiology and Therapeutic Strategies Using Computer Simulation

演者: 犬塚 亮(東京大学 小児科)

11) How to tackle structural valve deterioration 〈英語〉
(3月13日(日) 15:00~16:00)

座長: 田端 実(順天堂大学 心臓血管外科)
林田健太郎(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

1. Redo SAVR vs VIV for SVD: a surgeon's perspective

演者: 島村 和男(大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科)

2. Treatment strategy for surgical SVD: an interventionalist's perspective

演者: Michael Lee(Queen Elizabeth Hospital)

12) The heart team approach to atrial functional mitral regurgitation 〈英語〉
(3月13日(日) 16:00~17:00)

座長: 柴田 利彦(大阪市立大学 心臓血管外科)
大門 雅夫(東京大学医学部附属病院)

1. Heart Team Discussion for Optimal Diagnosis and Treatment in Patients with Atrial Functional Mitral Regurgitation

演者: 阿部 幸雄(大阪市立総合医療センター 循環器内科)

2. Our Current Surgical Technique and the Future Prospective in Atrial Functional Mitral Regurgitation and Tricuspid Regurgitation

演者: 高橋 洋介(大阪市立大学 心臓血管外科)

12. Debate

1) Aorto-iliac occlusive diseaseに対するoptimal treatment 〈日本語〉
(3月11日(金) 08:00~09:00)

座長: 種本 和雄(川崎医科大学)
中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

1. Stent-supported endovascular therapy (EVT) of aortoiliac occlusive disease (AIOD) in symptomatic patients with peripheral artery disease (PAD)

演者: 飯田 修(関西労災病院 循環器内科)

2. AIOD treatments by vascular surgeons in the EVT era

演者: 赤木 大輔(川崎医科大学 心臓血管外科学)

3. Optimal treatment for Aorto-iliac occlusive disease must be Endovascular therapy!

演者: 山内 靖隆(総合高津中央病院 心臓血管センター)

4. Complex Aortoiliac Occlusive Disease Should be Treated by Aorto-Bifemoral Bypass Surgery

演者: 工藤 敏文(東京医科歯科大学 血管外科)

- 2) Treat the Pump or Treat the Rhythm? (日本語)
(3月11日(金) 08:00~09:00)
座長: 渡邊 敦之(独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 循環器内科)
波多野 将(東京大学 高度心不全治療センター)
1. TBD
演者: 坂本 隆史(九州大学病院)
2. Treat the Rhythm - History tells us -
演者: 江島浩一郎(東京女子医科大学 循環器内科)
- 3) 超高齢心房細動患者の抗凝固療法を考える (日本語)
Oral anticoagulation therapy for very elderly patients with atrial fibrillation
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長: 奥村 謙(済生会熊本病院 循環器内科)
赤尾 昌治(国立病院機構京都医療センター)
1. Oral anticoagulants in a difficult clinical setting: extreme elderly cases
演者: 奥村 恭男(日本大学医学部 内科学系循環器内科学分野)
2. Selection of anticoagulation therapy according to patient characteristics: based on the results of ELDERCARE-AF trial and J-ELD AF registry
演者: 鈴木 信也(公益財団法人心臓血管研究所)
3. Debate: Left Atrial Appendage Management Should Be EPICARDIAL, Not ENDOCARDIAL
演者: 大塚 俊哉(ニューハートワタナベ国際病院 ウルーフオオツカ低侵襲心房細動手術センター)
- 4) MR・IE: Repairか? Replacementか? (日本語)
MR due to IE, repair or replacement?
(3月11日(金) 09:45~10:45)
座長: 小宮 達彦(倉敷中央病院 心臓血管外科)
渡辺 弘之(東京ベイ・浦安市川医療センター)
1. Application of Stentless Mitral Valve to Mitral Valve Repair in Infective Endocarditis: Partial NORMO Technique
演者: 内室 智也(川崎幸病院 心臓病センター 心臓外科)
2. その後の経過および手術ビデオ
演者: 高梨秀一郎(川崎幸病院 心臓外科)
パネリスト: 北井 豪(国立循環器病研究センター)
小山 忠明(神戸市立医療センター中央市民病院)
太田 光彦(虎の門病院 循環器センター内科)
- 5) Which drug is optimal after DAPT period? Aspirin, Clopidogrel or Prasugrel? (日本語)
(3月11日(金) 13:30~14:30)
座長: 木村 剛(京都大学 循環器内科)
後藤 信哉(東海大学医学部 内科学系循環器内科学)
1. Do we have to care about "specific" antiplatelet drug after DAPT period?
演者: 後藤 信哉(東海大学医学部 内科学系循環器内科学)
2. Reduced-dose prasugrel monotherapy is the preferred regimen for Japanese!
演者: 中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
3. Debate 2: No large differences whichever we use!
演者: 夏秋 政浩(佐賀大学 循環器内科)
- 6) 機能性MRに対する治療CRT/薬物療法 vs 早期 MitraClip Pro-con (日本語)
(3月11日(金) 14:30~15:30)
座長: 渡邊 望(宮崎大学医学部 機能制御学講座循環動態生理学分野)
阿部 幸雄(大阪市立総合医療センター 循環器内科)

1. Early MitraClip Should be Considered in Secondary MR Patients with Severe Heart Failure

演者：久保 俊介(倉敷中央病院 循環器内科)

2. Refrain from Early Intervention by MitraClip for Patients with Functional Mitral Regurgitation – Should be Treated with Fantastic Four and CRT –

演者：田中 秀和(神戸大学大学院 循環器内科学分野)

3. Early Catheter Intervention is Preferable to Conservative Therapy in Severe Functional Mitral Regurgitation

演者：坂本 知浩(済生会熊本病院心臓血管センター 循環器内科)

4. The first-line treatment for chronic functional mitral regurgitation is medication or cardiac resynchronization therapy.

演者：坂田 泰史(大阪大学 循環器内科学)

7) Fontan への循環器内科医の早期介入は、予後を改善するのか？

〈日本語〉

Does early participation of adult cardiologists improve the prognosis of patients with Fontan circulation?

(3月12日(土) 08:00~09:00)

座長：坂本 一郎(九州大学病院 循環器内科)

大内 秀雄(国立循環器病研究センター 小児循環器)

1. Does Early Intervention by Adult Cardiologists Improve Clinical Outcome in Patients with Fontan Circulation?

演者：大内 秀雄(国立循環器病研究センター 小児循環器)

2. Does Early Medical Intervention by Cardiologists Improve the Outcomes of Adult Fontan Patients?

演者：杜 徳尚(岡山大学 循環器内科学)

3. Pediatric Cardiologist's Opinion: The Early Involvement of Adult Cardiologist does not Improve the Outcome of Patients with Fontan Circulation.

演者：島田衣里子(東京女子医科大学 循環器小児・成人先天性心疾患科)

4. Participation of Adult Cardiologists Alone Do Not Improve the Prognosis of Patients with Fontan Circulation

演者：坂本 一郎(九州大学病院 循環器内科)

8) 高齢心不全にはレジスタンストレーニングか有酸素運動か？

〈日本語〉

Exercise for older patients with heart failure: should they do aerobic exercise or resistance exercise?

(3月12日(土) 13:30~14:30)

座長：三浦伸一郎(福岡大学医学部 心臓・血管内科学)

高橋 哲也(順天堂大学)

1. Aerobic Exercise is Suitable for Older Patients with Heart Failure.

演者：藤見 幹太(福岡大学病院 リハビリテーション部)

2. Aerobic Exercise is Effective in Elderly Patients with Heart Failure

演者：本沢 晶雄(順天堂大学医学部附属順天堂医院 健康スポーツ室)

3. Resistance training is the first choice for the elderly heart failure subject

演者：安達 仁(群馬県立心臓血管センター 循環器内科)

4. Resistance training is a first-choice exercise therapy in older patients with heart failure

演者：河野 裕治(藤田医科大学病院 リハビリテーション部)

13. モーニングセミナー

1) シームレスな心臓リハビリテーションを構築するには

〈日本語〉

(3月12日(土) 07:10~07:50)

座長：明石 嘉浩(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)

Attempting to build a seamless cardiac rehabilitation system in Gunma Prefecture

演者：安達 仁(群馬県立心臓血管センター 循環器内科)

- 2) 高血圧治療 2022: 心不全予防と臓器保護を目指して (日本語)
(3月12日(土) 07:10~07:50)
座長: 荏尾 七臣(自治医科大学)
Hypertension Treatment 2022: Toward Heart Failure Prevention and Organ Protection
演者: 大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
- 3) 心血管イベントのリスク層別化2022 (日本語)
(3月12日(土) 07:10~07:50)
座長: 海北 幸一(宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野)
Primary Prevention of Cardiovascular Diseases – 2022
演者: 三好 亨(岡山大学 循環器内科)
- 4) HFrEF患者の治療戦略2022 (日本語)
(3月12日(土) 07:10~07:50)
座長: 吉村 道博(東京慈恵会医科大学 内科学講座循環器内科)
Treatment Strategy for Patients with Heart Failure with Reduced Ejection Fraction
演者: 大谷 朋仁(大阪大学 循環器内科学)
- 5) 心血管イベント予防のための脂質管理2022 (日本語)
(3月12日(土) 07:10~07:50)
座長: 足立 健(防衛医科大学校)
Lipid Management for Cardiovascular Protection in 2022 and Beyond
演者: 小倉 正恒(東千葉メディカルセンター 代謝・内分泌内科)
- 6) 心血管イベントの予防に活かす MDCT2022 (日本語)
(3月12日(土) 07:10~07:50)
座長: 城戸 輝仁(愛媛大学)
MDCT for prevention of cardiovascular events 2022
演者: 小山 靖史(桜橋渡辺病院心臓血管センター 循環器内科)
- 7) Minimal invasive surgery 2022 (日本語)
(3月12日(土) 07:10~07:50)
座長: 横山 齊(福島県立医科大学)
Minimally Invasive Cardiac Surgery: Indication, methods, clinical benefits and complications
演者: 田端 実(順天堂大学 心臓血管外科)
- 8) 心エコー図で心臓弁膜症に迫る2022 (日本語)
(3月13日(日) 07:10~07:50)
座長: 渡邊 望(宮崎大学医学部 機能制御学講座循環動態生理学分野)
The role of Echocardiography for Valvular Heart Disease 2022
演者: 渡辺 弘之(東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科)
- 9) 肺高血圧症の最新治療を知る (日本語)
(3月13日(日) 07:10~07:50)
座長: 渡邊 裕司(浜松医科大学)
Current trends in treatment of pulmonary hypertension
演者: 赤木 達(岡山大学 循環器内科学)
- 10) 心不全の緩和医療: どのタイミングでどのように行うか? (日本語)
(3月13日(日) 07:10~07:50)
座長: 星賀 正明(大阪医科大学 循環器内科)

Palliative care for heart failure: when and how should it be provided?

演者：柴田 龍宏(久留米大学 内科 心臓・血管内科)

11) 心血管イベント予防：beyond LDL 2022 〈日本語〉

(3月13日(日) 07:10~07:50)

座長：田中 篤(和歌山県立医科大学 循環器内科)

Dyslipidemia and Cardiovascular Disease Risk Reduction: Paradigm Beyond LDL Cholesterol

演者：香坂 俊(慶應義塾大学 循環器内科)

12) 心房性僧帽弁閉鎖不全症の病態と治療 〈日本語〉

(3月13日(日) 07:10~07:50)

座長：赤坂 和美(旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部)

Pathophysiology and the Optimal Therapy of Atrial Functional Mitral Regurgitation

演者：阿部 幸雄(大阪市立総合医療センター 循環器内科)

13) HFpEF の診断と治療2022 〈日本語〉

(3月13日(日) 07:10~07:50)

座長：片岡 雅晴(産業医科大学医学部 第2内科学)

Diagnosis and Treatments of HFpEF in 2022

演者：小保方 優(群馬大学医学部附属病院 循環器内科)

14) Wearable device による不整脈モニタリングは医療を変えるか? 〈日本語〉

(3月13日(日) 07:10~07:50)

座長：副島 京子(杏林大学)

Changes in Medicine Brought about by Arrhythmia Monitoring Using Wearable Devices

演者：木村 雄弘(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

15) Optimal treatment of CCS 2022：PCI 回避後の冠動脈疾患はどうフォローする? 〈日本語〉

(3月13日(日) 07:10~07:50)

座長：梶波 康二(金沢医科大学 循環器内科学)

How to manage patients with coronary artery disease who avoid PCI?

演者：中西 理子(東邦大学医学部医学科, 東邦大学医療センター大森病院 循環器内科学講座)

14. アップグレードセミナー オンデマンド

1) 心不全の新たな治療ターゲット, うっ血, を考える 〈日本語〉

A New Therapeutic Target for Heart Failure, "Congestion"

演者：中村 一文(岡山大学 循環器内科学)

2) 心不全の患者の鉄欠乏：診断と治療 〈日本語〉

Iron Deficiency in Heart Failure Patients

演者：肥後 太基(九州医療センター 循環器内科)

3) 補助人工心臓2022 〈日本語〉

演者：戸田 宏一(大阪大学 心臓血管外科)

4) かかりつけ医が行うべき心不全患者管理 〈日本語〉

The therapy and management of acute and chronic heart failure patients as practical doctor.

演者：木原 一(木原循環器科内科医院 循環器科)

- 5) 急性そして劇症心筋炎の病態と治療 2022 〈日本語〉
Update on the Management of Acute and Fulminant Myocarditis in 2022
演者：奥村 貴裕(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
- 6) 卵円孔開存に注目する：どのような時に疑いどう治療するか？ 〈日本語〉
Patent Foramen Ovale: Transcatheter Closure and Diagnosis
演者：高谷 陽一(岡山大学 循環器内科)
- 7) 心臓弁膜症に対するカテーテル治療2022 〈日本語〉
演者：大野 洋平(東海大学医学部)
- 8) ここまでわかった拡張型心筋症の発症機序：遺伝子から 〈日本語〉
Molecular mechanisms of dilated cardiomyopathy: a genetic perspective
演者：野村征太郎(東京大学医学部附属病院 循環器内科)
- 9) ここまでわかった拡張型心筋症の発症機序：心筋病理から 〈日本語〉
演者：大郷 恵子(国立循環器病研究センター)
- 10) 臨床研究入門：日本が米国から輸入すべき臨床研究の tips 〈日本語〉
Clinical Research as a Team Sport
演者：猪原 拓(慶應義塾大学 循環器内科)
- 11) 臨床研究入門：日常臨床の疑問をエビデンス創出につなげる臨床研究のtips 〈日本語〉
Introduction to Clinical Research: Tips for clinical research conducted based on clinical questions to make evidence.
演者：塩見 紘樹(京都大学 循環器内科)
- 12) 移行診療を成功させるロードマップ：小児科の立場から 〈日本語〉
Roadmap for a successful transition: a pediatric perspective
演者：山村健一郎(九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学講座)
- 13) 移行診療を成功させるロードマップ：循環器内科の立場から 〈日本語〉
Transition and Transfer of Adolescents with Congenital Heart Disease
演者：椎名 由美(聖路加国際病院 心血管センター 循環器内科)
- 14) ACHD の心不全に対する薬物治療：単心室の心不全 〈日本語〉
Drug Treatment for Heart Failure in Adult Congenital Heart Disease: Heart failure in patients with single ventricle
演者：坂本 一郎(九州大学 循環器内科)
- 15) ACHD の心不全に対する薬物治療：二心室修復術後の心不全 〈日本語〉
Medical therapy for adult congenital heart disease patients with biventricular circulation
演者：杜 徳尚(岡山大学 循環器内科学)
- 16) 持続性心房細動に対するカテーテル治療：Marshall 静脈に対する化学的アブレーション 〈日本語〉
Catheter ablation for Persistent Atrial Fibrillation: Ethanol-infusion (chemical ablation) of Vein of Marshall
演者：滝川 正晃(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
- 17) 持続性心房細動に対するカテーテル治療：Low voltage zone へのアプローチ 〈日本語〉
Low-Voltage-Zone ablation – Where does it go?
演者：増田 正晴(関西労災病院 循環器内科)

- 18) 器質的心疾患に伴う心室性不整脈: Conduction slowing areaに対するアブレーション 〈日本語〉
Catheter Ablation of Scar-related Ventricular Tachycardia: Targeting Conduction Slowing Area
演者: 上田 明子(杏林大学医学部 不整脈先進治療学研究講座)
- 19) 器質的心疾患に伴う心室性不整脈: 心外膜, 心内膜 mapping による 3 次元心室頻拍回路の同定 〈日本語〉
3-D Structure of Scar-Related Ventricular Tachycardia Circuit: New Insights from Simultaneous Epi-Endo Activation Mapping
演者: 西村 卓郎(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
- 20) 心不全を合併した心房細動: カテーテルアブレーションの有効性 〈日本語〉
Atrial Fibrillation Ablation in Heart Failure Patients
演者: 福井 暁(大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座)
- 21) 心不全のVT stormに立ち向かう 〈日本語〉
Approaches to Management of Electrical Storm in Patients with Heart Failure Due to Ischemic and Nonischemic Cardiomyopathies
演者: 小松 雄樹(筑波大学附属病院 循環器内科)
- 22) 失神治療の最前線 〈日本語〉
Syncope managements, Up-to-Date
演者: 古川 俊行(聖マリアンナ医科大学 東横病院 循環器内科 失神センター)
- 23) 非感染リード抜去の適応と実際 〈日本語〉
The Indication and the Methods of Lead Extraction for Non-infectious Diseases/conditions.
演者: 和田 暢(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)
- 24) Brugada 症候群の治療はどこまで進んだか? 〈日本語〉
The Current Status of the Treatment for Brugada Syndrome
演者: 因田 恭也(名古屋大学 循環器内科学)
- 25) 突然死リスクの高い患者をどう診断し, 対処するか? 〈日本語〉
How to assess and deal with the risk of sudden cardiac death
演者: 佐々木真吾(弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座)
- 26) PCIイメージング2022 〈日本語〉
Clinical Efficacy of Optical Coherence Tomography-guided Percutaneous Coronary Intervention
演者: 久米 輝善(川崎医科大学 循環器内科学)

15. 日本循環器連合 up-to-date セミナー

- 1) 日本心臓病学会
高齢者循環器診療 up-to-date
- 2) 日本心不全学会
新規心不全治療薬の使い方
- 3) 日本心エコー図学会
- 4) 日本不整脈心電学会
不整脈非薬物治療の最前線
- 5) 日本心血管インターベンション治療学会
Catheter Intervention の現状と展望
- 6) 日本小児循環器学会
移行医療時代の CHD-PH を考える

- 7) 日本心臓リハビリテーション学会
包括的心臓リハビリテーションのエビデンス構築と将来展望
- 8) 外科系
VAD 治療と弁膜症への外科的介入

16. 教育セッション

教育セッション I-1

循環器疾患に対する最新の抗血栓療法

(3月11日(金) 15:35~16:35)

座長: 安田 聡(東北大学 循環器内科)
赤尾 昌治(京都医療センター 循環器内科)

抗血小板薬

演者: 夏秋 政浩(佐賀大学 循環器内科)

抗凝固薬

演者: 鈴木 信也(公益財団法人 心臓血管研究所)

併用療法

演者: 赤尾 昌治(京都医療センター 循環器内科)

教育セッション I-2

不整脈診療のポイントと最新の話題

(3月11日(金) 16:35~17:35)

座長: 萩原 誠久(東京女子医科大学 循環器内科)
清水 渉(日本医科大学 循環器内科学)

心房細動の包括的管理—ABC pathway—

演者: 志賀 剛(東京慈恵会医科大学 臨床薬理学)

デバイス治療の最新の話題

演者: 野田 崇(東北大学 循環器内科)

教育セッション II-1

心不全診療に必要な僧帽弁のエコー診断

(3月12日(土) 15:30~16:30)

座長: 山本 一博(鳥取大学 循環器・内分泌代謝内科)
泉 知里(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)

2つの機能性 MR: エコー診断と最新の話題

演者: 尾長谷喜久子(長崎大学 心臓血管外科)

カテーテル治療を見据えた機能性 MR のエコー診断: マイトラクリップで良くなる症例, 良くならない症例

演者: 天木 誠(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)

教育セッション II-2

心房性機能性僧帽弁逆流を識る・治す

(3月12日(土) 16:30~17:30)

座長: 瀬尾 由広(名古屋市立大学 循環器内科学)
柴田 利彦(大阪市立大学 心臓血管外科)

心房性機能性 MR: 最近のトピックスと治療戦略

演者: 泉 知里(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)

心房性機能性僧帽弁閉鎖不全症を有する症例に対する包括的外科治療の重要性

演者: 山口 裕己(昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科)

教育セッションⅢ-1

循環器病における糖尿病薬のエビデンス

(3月13日(日) 10:00~11:00)

座長: 野出 孝一(佐賀大学 内科学)

島袋 充生(福島県立医科大学 糖尿病内分泌代謝内科学)

Overview

演者: 島袋 充生(福島県立医科大学 糖尿病内分泌代謝内科学)

GLP-1

演者: 坂東 泰子(名古屋大学 循環器内科)

SGLT2 阻害薬

演者: 田中 敦史(佐賀大学 循環器内科)

教育セッションⅢ-2

一般病院・医院で診る成人先天性心疾患

(3月13日(日) 11:00~12:00)

座長: 八尾 厚史(東京大学 保健・健康推進本部)

石津 智子(筑波大学 循環器内科)

なぜ、いま一般病院・医院で成人先天性心疾患を診る必要があるのか?

演者: 檜垣 高史(愛媛大学 地域小児・周産期学/移行期・成人先天性心疾患センター)

専門施設へ紹介・連携して欲しい症例の見抜き方

演者: 仁田 学(横浜市立大学 循環器・腎臓・高血圧内科学)

一般病院・医院での ACHD 診療の実態と問題点ー小児循環器医から循環器内科への申し送り

演者: 西畠 信(鹿児島生協病院 小児科)

17. 倫理に関する講演会

より良い行為を導くための倫理ー研究倫理から医療倫理までー

座長: 萩原 誠久(東京女子医科大学 循環器内科)

演者: 今泉 聡(福岡大学 心臓血管内科学)

18. 医療安全に関する講演会

医療安全と最近の国際潮流について

座長: 大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)

演者: 後 信(九州大学病院 医療安全管理部)

19. Educational Lecture

〈英語〉

Arrhythmia and cardiac electrophysiology to the future – fiction or non-fiction? –

(3月12日(土) 11:30~12:00)

座長: 大江 透(岡山市立市民病院)

演者: William G. Stevenson (Cardiovascular Division, Department of Medicine, Vanderbilt University Medical Center, USA)

20. AHA-JCS Joint Symposium

〈英語〉

How do we struggle against residual risk?

(3月13日(日) 08:00~09:30)

座長: 阿古 潤哉(北里大学 循環器内科)

Donald M. Lloyd-Jones(Northwestern University Feinberg School of Medicine)

1. Residual risks and vascular endothelial function

演者: 東谷 卓美(防衛医科大学校病院 循環器内科)

2. Residual Risks and Cardiovascular Endothelial Glycocalyx

演者: 東條美奈子(北里大学)

3. Identifying and managing Long-term Cardiovascular Disease Risk

演者: Donald M. Lloyd-Jones(Northwestern University Feinberg School of Medicine)

4. Impact and Value of Quality Improvement Initiatives for Secondary Prevention

演者：Dhruv S. Kazi (Harvard Medical School, Boston, Massachusetts, USA; Smith Center for Outcomes Research, Beth Israel Deaconess Medical Center, Boston, Massachusetts, USA)

21. APSC-JCS Joint Symposium

〈英語〉

Imaging-based physiological assessments; which one and how to use in daily clinical practice

(3月12日(土) 08:00~09:30)

座長：赤阪 隆史(和歌山県立医科大学 循環器内科)

Jack Wei Chieh Tan (National Heart Centre Singapore, Singapore)

1. FFRct present status and future perspectives

演者：Bon-Kwon Koo (Seoul National University Hospital)

2. Do Angiography-based FFR Replace wire-based FFR?

演者：松尾 仁司(岐阜ハートセンター 循環器内科)

3. IVUS-based FFR: Accuracy and practical use

演者：清家 史靖(愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座)

4. OCT-based FFR: principals and future perspectives

演者：Shengxian Tu (Shanghai Jiao Tong University)

5. Discussion with speakers and panelists: which one and how to use in daily clinical practice, and why?

パネリスト：久保 隆史(公立那賀病院)

松尾 仁司(岐阜ハートセンター)

Alan Y Y Fong (Sarawak Heart Centre, Malaysia)

22. KSC-JCS Joint Symposium

〈英語〉

Social promotion and emergency care in ischemic heart disease emergency

(3月12日(土) 08:00~09:30)

座長：小林 欣夫(千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学)

Jang-Whan Bae (Chungbuk National University, College of Medicine, Department of Internal Medicine (cardiology division))

1. Management of Acute Coronary Syndrome in the Cath Lab in the COVID-19 Era

演者：伊莉 裕二(東海大学 循環器内科学)

2. Impact of the COVID-19 Pandemic on Emergency Care for Acute Myocardial Infarction in Tokyo

演者：山本 剛(日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科)

3. Challenge in Prehospital Management of Acute Myocardial Infarction: Nationwide View

演者：Lee Sang Yeub (Division of cardiology, Department of internal medicine, College of medicine, Chungbuk National University)

4. Regional Networking with Smart Solution in Ischemic HeartDisease Emergency: Regional CV Center Experience

演者：Yoon Chang-Hwan (Seoul national university Bundang hospital)

23. CSC-JCS Joint Symposium

〈英語〉

Recent advance in atrial fibrillation treatment

(3月11日(金) 08:00~09:30)

座長：野上 昭彦(筑波大学 医学医療系循環器内科)

Shu-Lin Wu (GuangDong Provincial People's Hospital)

1. Pulsed field ablation for atrial fibrillation

演者：黒木 健志(山梨大学大学院総合研究部医学域 内科学講座循環器内科学講座)

2. Atrial fibrillation ablation using vein of Marshall ethanol infusion

演者：山内 康熙(横浜市立みなと赤十字病院 循環器内科)

3. INTRAPROCEDURAL ENDPOINTS TO PREDICT DURABLE PULMONARY VEIN ISOLATION

演者：Chen-Yang Jiang (Cardiology Department, Sir Run Run Shaw Hospital, School of Medicine, Zhejiang University)

4. STABLE-SR (Electrophysiological Substrate Ablation in the Left Atrium During Sinus Rhythm) for the Treatment of Nonparoxysmal Atrial Fibrillation

演者：Minglong Chen (The First Affiliated Hospital of Nanjing Medical University)

24. ESC/JCS Official Joint Symposium

〈英語〉

Case Discussions with the Masters in Japan and Europe: Interventions of Mitral or Tricuspid valve

(3月13日(日) 15:30~17:00)

座長：Stephan Achenbach (the University of Erlangen, Germany)

森野 禎浩(岩手医科大学 循環器内科)

1. Transcatheter mitral valve repair vs surgery: the results

演者：Fabien Praz (Bern University Hospital)

2. Challenging Cases of Transcatheter Edge-to-Edge Repair With MitraClip for Functional and Degenerative Mitral Regurgitation

演者：佐地 真育(榊原記念病院 循環器内科)

3. Tricuspid regurgitation: medical, surgical or transcatheter treatment?

演者：Karam Nicole (Paris University)

4. Tricuspid intervention for congenital abnormality

演者：中島 祥文(岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)

25. ESC/JCS Symposium

- 1) Heart failure with preserved ejection fraction an update

〈英語〉

(3月11日(金) 17:45~19:15)

座長：Michel Komajda (Paris Sorbonne University, France)

塩島 一朗(関西医科大学 内科学第二講座)

1. Pathophysiology

演者：赤澤 宏(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

2. Diagnostic challenges

演者：Logeart Damien (Hospital Lariboisiere, Department of Cardiology, Paris, France)

3. Pharmacological approach

演者：Michel Komajda (Paris Sorbonne University, France)

4. Nonpharmacological approach

演者：坂田 泰史(大阪大学 循環器内科)

- 2) Cardiovascular prevention: what is new?

〈英語〉

(3月12日(土) 17:45~19:15)

座長：Diederick Grobbee (University Medical Center (UMC) Utrecht)

野出 孝一(佐賀大学 循環器内科)

1. Salt restriction /substitution in primary prevention

演者：Diederick Grobbee (University Medical Center (UMC) Utrecht)

2. Threshold of blood pressure control in primary prevention: any new evidence?

演者：苅尾 七臣(自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門)

3. Non-conventional risk factors in primary prevention

演者：François Mach (University of Geneva)

4. Risk estimation and ethnicity

演者：福本 義弘(久留米大学)

26. ACC-JCS Joint Symposium

〈英語〉

MINOCA: What do we know?

(3月13日(日) 10:30~12:00)

座長：安田 聡(東北大学 循環器内科)

Dipti Itchhaporia (Hoag Memorial Hospital University of California, Irvine)

1. Prognostic Links Between OCT-Delineated Coronary Morphologies and Coronary Functional Abnormalities in Patients With INOCA (Tentative)
演者：高橋 潤(東北大学 循環器内科)
2. Lesion characteristics and prognosis of acute coronary syndrome without angiographically significant coronary artery stenosis (Tentative)
演者：田中 篤(和歌山県立医科大学 循環器内科)
3. Spontaneous Coronary Artery Dissection: Diagnosis and Management in 2022
演者：Sharonne Hayes(Mayo Clinic, Rochester, Minnesota)
4. TBD
演者：Roxana Mehran(The Mount Sinai Hospital)

27. U40 心不全ネットワーク企画

〈日本語〉

徹底討論 心不全の治療薬“Conventional sequencing” or “Proposed new sequencing”～どの薬を、どのタイミングで使えば良いのか～

(3月13日(日) 08:00～09:30)

- 座長：齋藤 秀輝(聖隷浜松病院)
生駒 剛典(浜松医科大学 内科学第三講座 循環器内科)
コメンテーター：奥村 貴裕(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
末永 祐哉(順天堂大学大学院循環器内科学講座)
ディスカッサント：門田 宗之(徳島大学病院)
堀内 優(三井記念病院 循環器内科)
症例提示：永田 春乃(琉球大学病院)
総括：坂田 泰史(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

28. JCS/U45 ISHR Joint Symposium

〈日本語〉

Rising Star Session

(3月13日(日) 10:30～12:00)

- 座長：木岡 秀隆(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
関 庚徳(兵庫医科大学)
1. Important Involvement of Soluble Guanylate Cyclase in the Development of Exercise Induced Pulmonary Hypertension in HFpEF
演者：佐藤 大樹(東北大学 循環器内科)
 2. TRPV1-associated sympathetic cardiac sensory afferent toward the novel therapeutic targets for structural and electrical cardiac reverse remodeling
演者：吉江 幸司(信州大学 循環器内科)
 3. Spatiotemporal single-cell analysis reveals critical roles of mechano-sensing genes at the border zone in left ventricular remodeling after myocardial infarction
演者：野村征太郎(東京大学医学部附属病院 循環器内科)
 4. A novel molecular mechanism of arrhythmogenic cardiomyopathy caused by a mutation in the nuclear envelope protein
演者：四宮 春輝(大阪大学 循環器内科学)
 5. Homeostatic Inflammation in Heart Disease
演者：東邦 康智(東京大学 循環器内科)
 6. Identification of Neuronal Regulatory Mechanisms of Energy Expenditure via MicroRNA-33
演者：堀江 貴裕(京都大学 循環器内科学)
- ディスカッサント：香月 俊輔(九州大学病院 循環器内科)
高橋 佑典(国立循環器病研究センター 分子薬理部)

29. 日本循環器学会・日本機械学会共同企画

1) イノベーションを実現しよう：工学系とのマッチングプラザ

〈日本語〉

(3月12日(土) 13:30~14:30)

座長：岸 拓弥(国際医療福祉大学大学院医学研究科 循環器内科)

宮川 繁(大阪大学 心臓血管外科)

1. 組織ハイブリッド二次性三尖弁閉鎖不全症モデルの開発と弁形成術の評価
演者：高田 淳平(早稲田大学 先進理工学研究科 生命理工学専攻)
2. 4D-MRI を用いた大動脈二尖弁の形態と上行大動脈拡大の評価
演者：服部 薫(大和成和病院 心臓血管外科)
3. 胸部臓器移植医療に貢献する体外臓器灌流システムの開発
演者：迫田 大輔(産業技術総合研究所 健康医工学研究部門)
4. シミュレーションによる循環器予測医学への展開
演者：中村 匡徳(名古屋工業大学 電気・機械工学科)

2) イノベーションを実現しよう：工学系とのマッチングプラザ

〈日本語〉

(3月12日(土) 14:30~15:30)

座長：岩崎 清隆(早稲田大学理工学術院 先進理工学研究科 共同先端生命医学専攻)

伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

1. 心臓をみる－計測・シミュレーション・AI－
演者：富井 直輝(東京大学大学院 工学系研究科)
2. Impella と VA-ECMO 併用時の血行動態
演者：矢作 和之(三井記念病院 循環器内科)
3. 血管組織を対象とした「力」と「硬さ」の計測技術
演者：森脇 健司(弘前大学 機械科学科)
4. 大動脈解離モデルにおける偽腔内の血流と血管壁への負荷
演者：坪子 佑佑(早稲田大学 理工学術院総合研究所)

30. Late Breaking Cohort Studies

1) (3月12日(土) 08:00~09:30)

〈英語〉

座長：上村 史朗(川崎医科大学 循環器内科)

猪又 孝元(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)

コメンテーター：上妻 謙(帝京大学 循環器内科)

石井 秀樹(群馬大学 循環器内科)

石原 正治(兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学講座)

井手 友美(九州大学 循環器内科)

北岡 裕章(高知大学 老年病・循環器内科学)

1. Clinical Deep Data Accumulation System (CLIDAS) reveals Real-World Medical Therapy and Prognosis of Japanese patients after Percutaneous Coronary Intervention
演者：的場 哲哉(九州大学 循環器内科)
2. Trends and Predictors of Non-cardiac Death in Acute Myocardial Infarction: Insights from the Tokyo CCU Network Multicenter Registry between 2010~2019
演者：若林 公平(昭和大学江東豊洲病院 東京都CCUネットワーク)
3. The Efficacy of Achieving LDL-C<55 mg/dl on Cardiac Outcomes at Non-culprit Lipid-rich Plaques: Insights from the REASSURE-NIRS On-going Multi-center Registry
演者：片岡 有(国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科)
4. A novel cohort study for heart failure and dementia in an urban community – the Suita NEXT Study
演者：土肥 智晴(国立循環器病研究センター 健診部)
5. Multicenter Registry Evaluating the Utility of Cardiac MRI for Patients with Non-ischemic Heart Failure in Japan: IMAGE-HF registry
演者：加藤 真吾(横浜市立大学 放射線科)

2) (3月13日(日) 08:00~09:30)

〈英語〉

- 座長：副島 京子(杏林大学医学部 第二内科学)
辻田 賢一(熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学)
- コメンテーター：池田 隆徳(東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学)
井上 耕一(国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)
的場 聖明(京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科)
赤澤 宏(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
甲斐 久史(久留米大学医療センター 循環器内科)
1. Early detection of heart disease using Apple Watch – Results from the Apple Watch Heart Study –
演者：木村 雄弘(慶應義塾大学医学部 内科学教室 循環器内科)
 2. 10-year trend of antithrombotic therapy status and outcomes of Japanese atrial fibrillation patients: The Fushimi AF Registry
演者：赤尾 昌治(国立病院機構京都医療センター 循環器内科)
 3. Machine learning-based model for predicting one-year mortality of heart failure patients from DPC data
演者：遠山 岳詩(九州大学病院 ARO 次世代医療センター)
 4. Cardiovascular Disease Incidence in Cancer Survivors: A Cohort Study Using Japan National Hospital Cancer Registry and Diagnosis Procedure Combination Database
演者：村田 峻輔(国立循環器病研究センター研究所 予防医学・疫学情報部)
 5. Medication naïve blood pressure and incidence of cancers: New concept of onco-hypertension
演者：金子 英弘(東京大学 循環器内科)

31. Late Breaking Clinical Trials

〈英語〉

(3月13日(日) 15:45~17:15)

- 座長：矢野 雅文(山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学)
佐田 政隆(徳島大学 循環器内科)
- コメンテーター：前川裕一郎(浜松医科大学 内科学第三講座(循環器内科))
永瀬 聡(国立循環器病研究センター 先端不整脈探索医学研究部)
足立 健(防衛医科大学校 循環器内科)
久留 一郎(国立病院機構米子医療センター 循環器科)
三好 亨(岡山大学 循環器内科)
1. Edoxaban versus Vitamin K Antagonist for Atrial Fibrillation after TAVR in Japanese Patients: A Subanalysis of ENVISAGE-TAVI AF Trial
演者：渡邊 雄介(帝京大学 循環器内科)
 2. First Nationwide Registry on Left Atrial Appendage Closure: Transcatheter Modification of LAA by Obliteration with Device by TERMINATOR Registry
演者：原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
 3. Challenges to Monotonic Relationship between LDL-Cholesterol and Cardiovascular Events Is “The Lower, The Better”; true ≥
演者：佐久間理吏(獨協医科大学 心臓・血管内科/循環器内科)
 4. Optimal Uric Acid Levels by Febuxostat Treatment and Cerebral, Cardiorespiratory Risks: Post hoc Analysis of a Randomised Controlled Trial
演者：小島 淳(桜十字八代リハビリテーション病院 内科)
 5. Effect of Ipragliflozin on Carotid Intima-Media Thickness in Patients with Type 2 Diabetes: A Multicenter Randomized Clinical Trial (PROTECT)
演者：田中 敦史(佐賀大学 循環器内科)

32. Hot-line Session

1) (3月12日(土) 08:00~09:00)

〈英語〉

- 座長：福本 義弘(久留米大学 心臓・血管内科)
天野 哲也(愛知医科大学 循環器内科)

1. Difference of 1-Month and 12-Month Post-stenting Intravascular Status by Coronary Angioscopy and Optical Coherence Tomography between Drug-Coated and Drug-Eluting Stent
演者：石原 隆行(関西労災病院 循環器内科)
2. Impact of Continuing Guideline-Directed Medical Therapy on Prognosis After Fractional Flow Reserve-Based Deferral of Revascularization: Insight from the J-CONFIRM Registry
演者：石井 正将(熊本大学 循環器病態学)
3. Chemotherapeutics-related Cardiac Dysfunction in Breast Cancer Patients from the Prospective Multicenter Registry in Japan – CHECK HEART-BC Study –
演者：照井 洋輔(東北大学 循環器内科)
4. Exploratory analysis for prognosis prediction methods using cardiac biomarkers for Coronavirus disease 2019
演者：佐野 円香(神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科)
5. Home-based exercise after endovascular treatment could improve quality of life and walking function in lower extremity peripheral artery disease patients.
演者：難波 悠介(岡山大学 循環器内科学)

2) (3月12日(土) 16:00~17:00)

〈英語〉

座長：高村 雅之(金沢大学 循環器内科)

新家 俊郎(昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門)

1. Effect of Canagliflozin on Plasma Volume in Patients with T2D and Heart Failure According to Baseline Use of Diuretics: a sub analysis of the CANDLER trial
演者：椎名 一紀(東京医科大学 循環器内科学分野)
2. Efficacy of Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitors on Outcomes after Catheter Ablation for Atrial Fibrillation; A Prospective Randomized Controlled Open-Label Study
演者：貴島 秀行(兵庫医科大学 循環器・腎透析内科)
3. Impact of Genetic Testing on Low-density Lipoprotein Cholesterol in Patients with Familial Hypercholesterolemia (GenTLe-FH): A Randomised Waiting-List Controlled Open-label Study
演者：野村 章洋(金沢大学附属病院 先端医療開発センター)
4. Predictive Heart Failure Alerts Based on Physiologic Sensor Data in HINODE Defibrillator Patients
演者：西井 伸洋(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座)
5. The Efficacy of Continuous Glucose Monitoring-Guided Glycemic Control on Diabetic Atheroma: the OPTIMAL-NIRS Prospective Randomized Study with Serial NIRS/IVUS Imaging
演者：片岡 有(国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科)

33. Featured Research Session

1) Arrhythmia 1 (AF)

〈英語〉

(3月11日(金) 08:00~09:30)

座長：山根 禎一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)

奥村 恭男(日本大学医学部 内科学系循環器内科学分野)

Discussant：内藤 滋人(群馬県立心臓血管センター)

宮崎 晋介(東京医科歯科大学 循環器内科)

1. AF ablation – up to date –

Keynote Lecture：Koonlawee Nademanee(Pacific Rim Electrophysiology Research Institute)

2. Is Aging a Determinant of Atrial Fibrosis? —Evidence from Atrial Biopsy in Patients with Atrial Fibrillation
演者：大坪 豊和(佐賀大学医学部 循環器内科)
3. The difference of clinical and genetical features of atrial fibrillation patients with non-pulmonary vein foci among its embryological origin
演者：池ノ内 孝(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
4. Electrophysiological and Histopathological Features of Ablation Lesion After Hot-balloon Ablation Under Balloon Surface Temperature Controlled Energy Application; A Swine Study
演者：篠田 康俊(筑波大学 循環器内科)

5. The Relationships between Coagulation Biomarkers and Clinical Outcomes in Elderly Non-valvular Atrial Fibrillation Patients: Sub-cohort Study of ANAFIE Registry

演者：是恒 之宏(ダイハツ工業株式会社 安全健康推進室 保健センター)

2) Valvular Heart Disease

〈英語〉

(3月11日(金) 13:30~15:00)

座長：田中屋真智子(国立病院機構岩国医療センター 循環器内科)

細川 忍(徳島赤十字病院 循環器内科)

Discussant：三橋 弘嗣(綾瀬循環器病院)

村上 貴志(大阪市立総合医療センター 心臓血管外科)

1. Assessment of Functional Tricuspid Regurgitation by 3D Echocardiography—The added value of the third dimension—

Keynote Lecture：宇都宮裕人(広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学)

2. Unfavorable Outcome following Transcatheter Aortic Valve Implantation: the LAPLACE-TAVI Registry

演者：山崎智永実(榊原記念病院 循環器内科)

3. Long-term outcomes of transcatheter aortic valve replacement in Japanese dialysis patients

演者：前田 孝一(大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科)

4. Predictors of Outcome after Tricuspid Valve Surgery for Severe Isolated Tricuspid Regurgitation.

演者：大森 奈美(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

5. Prognostic Impact of Right Ventricular Dysfunction in Patients Undergoing Surgery for Severe Mitral Regurgitation and Concomitant Significant Tricuspid Regurgitation

演者：羽田 佑(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

3) Arrhythmia 2 (AF 以外)

〈英語〉

(3月12日(土) 10:30~12:00)

座長：庄田 守男(東京女子医科大学 循環器内科)

渡邊 英一(藤田医科大学ばんだね病院 循環器内科)

Discussant：高木 雅彦(関西医科大学 内科学第二講座 不整脈治療センター)

森島 逸郎(大垣市民病院 循環器内科)

1. Recent developments in catheter ablation

Keynote Lecture：山田 功(University of Minnesota)

2. Novel Slow Pathway Ablation Strategy Targeting the Fractional Potentials Highlighted by the Lumipoint Module

演者：若松 雄治(日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科)

3. Novel strategy for slow-pathway ablation guided by high-resolution mapping of Koch's triangle during sinus rhythm in the patients with AVNRT

演者：市原 登(筑波大学 循環器内科)

4. Right Ventricular Systolic Function as a Predictor of Appropriate ICD Therapy

演者：千葉 俊典(千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学)

5. Artificial intelligence to detect noise event in remote monitoring data

演者：西井 伸洋(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座)

4) Cardio-Oncology

〈英語〉

(3月12日(土) 13:30~15:00)

座長：赤澤 宏(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

大谷 規彰(国立病院機構九州医療センター 循環器内科)

Discussant：田尻 和子(筑波大学医学医療系 循環器内科)

鶴田 敏博(宮崎大学医学部 循環器・腎臓内科学分野)

1. New pathways involving heart and cancer

Keynote Lecture：Michael G. Fradley(University of Pennsylvania)

2. TET2 Clonal Hematopoiesis Represents a Strong Risk Factor for Anthracycline-Induced Cardiotoxicity in Lymphoma Patients

演者：畠山 究(九州大学病院 救急救命センター)

3. Deleterious Effect of Cancer—derived Exosomes on Anthracycline Cardiomyopathy

演者：門脇 裕(東京大学 循環器内科)

4. The Association between Grade Of Cytokine Release Syndrome and Cardiac Dysfunction after Chimeric Antigen Receptor T Cell Therapy

演者：砂山 勇(兵庫医科大学 循環器・腎透析内科)

5. Nerve Growth Factor is Associated with Breast Cancer Progression after Myocardial Infarction

演者：谷 哲矢(福島県立医科大学 循環器内科学講座)

5) Heart Failure/Cardiomyopathy

〈英語〉

(3月12日(土) 16:00~17:30)

座長：塩島 一郎(関西医科大学 内科学第二講座)

合田亜希子(兵庫医科大学 循環器・腎透析内科)

Discussant：久保 亨(高知大学医学部 老年病・循環器内科)

香坂 俊(慶応義塾大学 循環器内科)

1. Heart failure treatment – up to date –

Keynote Lecture：Petar M. Seferovic (Serbian Academy of Sciences and Arts, University of Belgrade Faculty of Medicine)

2. Clinical Significance of Guideline-Directed Medical Therapy in Heart Failure Patients with Low Blood Pressure

演者：泉 圭一(杏林大学 第二内科)

3. Relationship between heart-failure medications at discharge and one-year prognosis; analysis in Nationwide Electric Health Database

演者：中井 陸運(国立循環器病研究センター 情報利用促進部)

4. Mild Impairment of Left Ventricular Ejection Fraction is Associated with Ventricular Arrhythmic Events in Cardiac Sarcoidosis : Insights from ILLUMINATE-CS

演者：赤間 友香(順天堂大学 循環器内科学)

5. Long-term Advantage on Major Cardiac Event with Remarkable Sudden Cardiac Death Suppression after Surgical Septal Myectomy for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy

演者：石黒 まや(榊原記念病院 循環器内科)

6) Pulmonary Circulation

〈英語〉

(3月12日(土) 16:00~17:30)

座長：中岡 良和(国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部)

木下 秀之(京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座)

Discussant：阿部弘太郎(九州大学病院 循環器内科)

土肥 由裕(呉共済病院 循環器内科)

1. PAH and CHD is becoming of age

Keynote Lecture：Michael Gatzoulis (Royal Brompton & Harefield NHS Trust, and the National Heart & Lung Institute, Imperial College, London)

2. Crucial Role of TRPV2 in the Development of Hypoxia-induced Pulmonary Hypertension

演者：中村 一文(岡山大学 循環器内科学)

3. Endothelial Extracellular Signal-Regulated Kinase 2 Contributed to the Development of Pulmonary Arterial Hypertension in Mice through Impaired Function of eNOS

演者：弓田 悠介(防衛医科大学校 循環器内科)

4. Pulmonary Artery Pulse Pressure Predicts an Improvement in Exercise Tolerance after Balloon Pulmonary Angioplasty of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension

演者：醍醐 恭平(慶應義塾大学 循環器内科)

5. Correlation between R-V1 and S-V6 Amplitude in Electrocardiogram with Mean Pulmonary Artery Pressure in Secundum Atrial Septal Defect Patients

演者：Jimmy O. Santoso(National Cardiovascular Center Harapan Kita)

7) ACS/Angina Pectoris

〈英語〉

(3月13日(日) 10:30~12:00)

座長：海北 幸一(宮崎大学 循環器腎臓内科)

新家 俊郎(昭和大学 循環器内科)

Discussant：赤尾 昌治(京都医療センター 循環器内科)

渡邊 哲(山形大学 第一内科)

1. Current treatment of acute coronary syndrome

Keynote Lecture：Jack Tan(National Heart Centre Singapore)

2. Lipin1, a Regulator of Lipid Homeostasis, Protects Heart against Ischemic Injury

演者：郭 嘉熙(東京大学 循環器内科)

3. Combinations of PARIS and CREDO-Kyoto Thrombotic and Bleeding Risk Scores on Clinical Outcomes in Patients With Acute Myocardial Infarction

演者：山下 大地(千葉大学医学部附属病院 循環器内科)

4. Linear Concentration-response Relationship of Serum Caffeine with Adenosine-induced Fractional Flow Reserve Overestimation: Head-to-Head Comparison with Papaverine

演者：田中 秀彰(昭和大学 循環器内科学)

5. Rivaroxaban monotherapy versus combination therapy according to coronary stent type and lesion site: The AFIRE trial sub-analysis

演者：石井 充(国立病院機構京都医療センター 循環器内科)

8) Hypertension/Atherosclerosis

〈英語〉

(3月13日(日) 13:15~14:45)

座長：大屋 祐輔(琉球大学 循環器・腎臓・神経内科学)

福田 大受(大阪市立大学)

Discussant：星出 聡(自治医科大学 循環器内科)

田中 敦史(佐賀大学 循環器内科)

1. PRIMARY PREVENTION OF ASCVD: UP TO DATE

Keynote Lecture：Matthew J. Budoff(UCLA School of Medicine)

2. Evening Home Blood Pressure, Heart Rate and Their Effects on Nocturia Severity in the Japanese at High-Risk of Cardiovascular Disease

演者：永井 道明(広島市立安佐市民病院 循環器科)

3. Blood pressure control level and risk of major bleeding in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry 10-year follow-up

演者：石井 充(国立病院機構京都医療センター 循環器内科)

4. Coronary Endothelial Dysfunction Plays Crucial Roles on Development of Adverse Cardiac Events During Long-term Follow-up

演者：村上 達明(福井循環器病院 循環器内科)

5. Association between adherence to home-based walking exercise and adverse outcomes among lower extremity peripheral artery disease patients with endovascular treatment

演者：河村 浩平(岡山市立市民病院 循環器内科)

34. チーム医療セッション シンポジウム

- 1) 肺高血圧症の診断と治療における放射線診療の役割

〈日本語〉

(3月12日(土) 08:00~09:30)

座長：赤木 達(岡山大学 循環器内科学)

高尾 由範(大阪市立大学医学部附属病院 中央放射線部)

1. 肺高血圧症オーバービュー

演者：赤木 達(岡山大学 循環器内科学)

2. 核医学「肺高血圧症診療における肺換気・血流シンチグラフィーの役割と撮影技術」
演者：神谷 貴史(大阪大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門)
3. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の診断における CT 検査の役割と血行動態の評価
演者：堤 貴紀(名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門)
4. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するバルーン肺動脈形成術時の 3DCT 画像を用いた画像支援
演者：中田 充(東北大学病院 診療技術部放射線部門)
5. 心臓 MRI を用いた肺高血圧症における右室リモデリング評価
演者：河窪 正照(九州大学 保健学部門)
6. 胸部 X 線画像に人工知能を組み合わせた肺高血圧の検出～今後の展望と課題点について～
演者：平田有紀奈(徳島大学病院 超音波センター)

2) 併存疾患を有する循環器疾患患者への薬物治療 〈日本語〉

(3月12日(土) 10:30~12:00)

座長：植田真一郎(琉球大学大学院医学研究科 臨床薬理学)

志賀 剛(東京慈恵会医科大学 臨床薬理学)

1. 併存疾患と循環器薬物治療(案)
演者：植田真一郎(琉球大学大学院医学研究科 臨床薬理学)
2. 抗がん薬と循環器疾患患者
演者：下方 智也(名古屋大学附属病院 化学療法部)
3. 腎疾患を有する循環器疾患患者への薬物治療
演者：鶴岡 秀一(田尻ヶ丘病院)
4. 心不全と併存症合併におけるポリファーマシー～副作用への薬学的臨床推論によるアプローチ～
演者：高井 靖(三重ハートセンター 薬局)
5. HBR を有する高齢心房細動症例に対する低用量 edoxaban 導入のインパクト
演者：芦川 直也(豊橋ハートセンター 薬局)

3) 多様なフレイル・サルコペニアと心疾患との関係 〈日本語〉

(3月13日(日) 10:30~12:00)

座長：荒井 秀典(国立長寿医療研究センター)

高橋 哲也(順天堂大学 保健医療学部)

1. 心疾患患者におけるサルコペニア・フレイルの現状と介入のエビデンス
演者：神谷健太郎(北里大学 医療衛生学部)
2. 心疾患患者のサルコペニア：Time to Action
演者：齊藤 正和(順天堂大学 保健医療学部)
3. 口腔機能低下症およびロコモティブシンドロームと動脈硬化の関連について-健診部門・歯科口腔外科・看護部合同チームによる取り組み
演者：松本 知沙(東京医科大学 循環器内科)
4. 心不全患者における栄養障害の再評価によるフレイル・サルコペニアの予防と予後の層別化
演者：高田 卓磨(東京女子医科大学 循環器内科)
5. サルコペニア合併心不全における骨粗鬆症の併存率ならびに生活機能への影響
演者：片野 俊敏(札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部)
6. 在宅医療を利用する超高齢心不全患者のフレイルの実態と関連要因
演者：鬼村 優一(ゆみのハートクリニック)

4) 左室壁運動異常を考える—再現性良く診断するために— 〈日本語〉

(3月13日(日) 13:15~14:45)

座長：岩永 史郎(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

田中 教雄(西宮渡辺心臓脳・血管センター)

1. 壁運動異常の発生機序と再現性よく評価するためのコツ
演者：梅田ひろみ(小倉記念病院)
2. 多施設共同心エコーミーティングによる左室壁運動評価均一化の試み
演者：原口 翔平(熊本大学病院 中央検査部)

3. 左室駆出率を再現性よく計測するために：Superb micro-vascular imaging の心臓への応用
演者：水元 綾香(国立循環器病研究センター 臨床検査部)
4. 人工知能を用いた左室壁運動異常の検出
演者：山口 夏美(徳島大学病院 超音波センター)
5. AIで左室壁運動を評価する利点や問題点
演者：鍵山 暢之(順天堂大学 循環器内科)

5) 循環器疾患患者の倫理調整 〈日本語〉
(3月13日(日) 15:30~17:00)

- 座長：三浦稚郁子(公益社団法人地域医療振興協会 事務局)
白石 裕一(京都府立医科大学 循環器腎臓内科)
1. ACPの取り組みと意思決定のあり方
演者：福永 敬依(諏訪中央病院)
 2. 在宅心不全患者への意思決定支援への取り組み－医療ソーシャルワーカーの視点から－
演者：齋藤 慶子(ゆみのハートクリニック)
 3. 臨床倫理コンサルテーションチームの活動を通して患者・家族のより良い意思決定を考える
演者：伊藤 清恵(公益社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院)
 4. 循環器領域で経験する倫理的ジレンマ・ジレンマの解消のためにできること－
演者：仲村 直子(神戸市立医療センター中央市民病院)
 5. 京都心不全ネットワークで取り組む ACP, 意思決定支援
演者：藤原 博美(京都第二赤十字病院)

35. チーム医療セッション 教育講演

1) 在宅診療と心臓リハビリテーションについて 〈日本語〉
(3月11日(金) 16:00~17:30)

- 座長：弓野 大(医療法人社団ゆみの)
田嶋 明彦(医療法人社団高志会)
1. 在宅診療と心臓リハビリテーション Overview
演者：鈴木 豪(ゆみのハートクリニック三鷹)
 2. 病診連携と退院支援
演者：安達 瑠衣(榊原記念病院)
 3. 在宅生活する心不全患者を支える訪問看護
演者：佐々木早苗(なな－る訪問看護ステーション)
 4. 心不全患者の訪問リハビリテーション
演者：井谷 祐介(のぞみハートクリニック)
 5. 地域心臓リハビリテーションのこれから
演者：齋藤 正和(順天堂大学 保健医療学部)

2) Covid-19におけるチーム医療スタッフでの対応 〈日本語〉
(3月12日(土) 13:30~15:00)

- 座長：長田 誠(群馬パース大学 保健科学部 検査技術学科)
坂本 肇(順天堂大学 保健医療学部 診療放射線学科)
1. 新型コロナウイルスの検査・診断ならびに治療における医療系大学の役割
演者：木村 博一(群馬パース大学大学院 保健科学研究科)
 2. チーム一丸となって難局を乗り越えよう－診療放射線技師の立場から－
演者：一ノ瀬良二(小倉記念病院 放射線技師部)
 3. COVID-19診療における臨床工学技士の役割
演者：相嶋 一登(横浜市立市民病院 臨床工学部)
 4. Covid-19における救急・急性期病院における対応と課題－看護師・看護管理者の立場から
演者：田村富美子(学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院 看護部 ICU)

- 3) どう指導する？禁煙指導の今とこれから 〈日本語〉
(3月12日(土) 16:00~17:30)
座長：梅津 努(筑波大学医学医療エリア支援室/坂根 M クリニック)
真下 泰(JCHO 札幌北辰病院 ME 部)
1. 最近の喫煙・禁煙トピックス
演者：大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
 2. 福島県県南保健福祉事務所における禁煙・受動喫煙防止啓発活動
演者：菅野 恵理(福島県県南保健福祉事務所)
 3. SNS における禁煙啓発活動の可能性
演者：福田 芽森(慶應義塾大学 内科学)
- 4) デジタルを活用した循環器医療とヘルスケア：質を保証できるか 〈日本語〉
(3月13日(日) 08:00~09:30)
座長：鍵山 暢之(順天堂大学 デジタルヘルス遠隔医療研究開発講座)
吉田 俊子(聖路加国際大学)
1. ビックデータとヘルスケア
演者：加藤 浩晃(デジタルハリウッド大学大学院)
 2. AI とヘルスケア
演者：鍵山 暢之(順天堂大学 循環器内科)
 3. 遠隔デバイス管理
演者：西井 伸洋(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 先端循環器治療学講座)
 4. 遠隔心臓リハビリテーション
演者：高橋 哲也(順天堂大学 保健医療学部)
 5. 循環器分野における遠隔医療・心臓デバイスにおける看護
演者：池亀 俊美(榊原記念病院 看護部)
- 5) 基礎から学ぶ心膜疾患 〈日本語〉
(3月13日(日) 10:30~12:00)
座長：上嶋 徳久(心臓血管研究所)
小谷 敦志(近畿大学奈良病院 臨床検査部)
1. 心膜・心嚢腔の解剖と生理学
演者：岩野 弘幸(市立函館病院 循環器内科)
 2. 心タンポナーデの病態と評価法
演者：中島 英樹(筑波大学附属病院 検査部)
 3. 収縮性心膜炎の病態・血行動態
演者：大原 貴裕(東北医科薬科大学 地域医療学/総合診療科)
 4. 収縮性心膜炎のエコー診断
演者：古島 早苗(長崎大学病院 超音波センター)
- 36. 会長特別企画シンポジウム**
- 1) 三尖弁の形態から考える三尖弁閉鎖不全症の至適治療 〈日本語〉
Optimal treatment for tricuspid regurgitation based on the morphology of the tricuspid valve
(3月12日(土) 10:30~12:00)
座長：江石 清行(長崎大学病院 心臓血管外科)
大門 雅夫(東京大学医学部附属病院)
1. Prognosis of Tricuspid Regurgitation and Timing of Surgery
演者：三宅 誠(天理よろづ相談所病院 循環器内科)
 2. Three-Dimensional Echocardiography Assessment of Tricuspid Valve for Determining the Optimal Surgical Strategy
演者：杜 徳尚(岡山大学 循環器内科学)
 3. What is the optimal surgery for severe functional tricuspid regurgitation due to leaflet tethering?
演者：三浦 崇(長崎大学大学院医歯薬総合研究科 心臓血管外科学)

4. 3D Imaging and Anatomical Analysis of Tricuspid Regurgitation for New Transcatheter Tricuspid Devices – The Etiology and Mechanism of TR Revisited

演者：宇都宮裕人(広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学)

2) 透析患者の重症僧帽弁閉鎖不全症に挑む－手術，経カテーテル治療の有用性と限界について

〈日本語〉

Challenges for management of severe mitral regurgitation in patients on dialysis – Efficacy and limitations of surgical and transcatheter treatment –

(3月12日(土) 08:00~09:30)

オープニング

座長：松本 崇(湘南鎌倉総合病院 循環器科)

クロージング

座長：碓氷 章彦(名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学)

1. Importance and Difficulty in the Management of Valvular Heart Disease in Patients Undergoing Dialysis

演者：倉沢 史門(名古屋大学大学院医学系研究科 臨床研究教育学)

2. Morphological and functional features of mitral valve in chronic dialysis patients

演者：磯谷 彰宏(小倉記念病院 循環器内科)

3. Mitral valve surgery for hemodialysis patients

演者：加藤 互(日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 心臓血管外科)

4. Efficacy and Limitation of MitraClip Therapy for Mitral Regurgitation in Hemodialysis patients

演者：久保 俊介(倉敷中央病院 循環器内科)

3) 心筋疾患への新たなアプローチ－基礎から，臨床から

〈英語〉

New approaches to myocardial disease from basic and clinical research

(3月12日(土) 13:30~15:00)

座長：的場 聖明(京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学)

Gary D. Lopaschuk(Faculty of Medicine & Dentistry, University of Alberta)

1. Cardiac Energy Metabolism in Heart Failure

演者：Gary D. Lopaschuk(Faculty of Medicine & Dentistry, University of Alberta)

2. Horizontal mitochondrial transfer for understanding of pathophysiology and development of therapeutic modalities

演者：五條 理志(京都府立医科大学 人工臓器・心臓移植再生医学)

3. Cardioprotective Effects of Natriuretic Peptides as Autocrine Factors

演者：徳留 健(国立循環器病研究センター研究所 生化学部)

4. Mitochondrial Medicine

演者：阿部 高明(東北大学 医学系研究科/i医工学研究科)

5. Genetic Diagnosis of Mitochondrial Cardiomyopathy and Therapeutic Approach to Mitochondrial Disease

演者：岡崎 康司(順天堂大学・理研 難治性疾患診断治療学・生命医科学研究センター)

4) JCS-JJC 創生10周年記念シンポジウム

〈日本語〉

JCS-JJC 10th Anniversary

(3月12日(土) 16:00~17:30)

座長：坂東 泰子(名古屋大学 循環器内科)

東條美奈子(北里大学)

1. Gender Equality in JCS~from JJC to JCS-JJC for the generations to come~

演者：瀧原 圭子(大阪大学キャンパスライフ健康支援センター)

2. J-WINC 立ち上げと女性医師の展望

演者：塚原 玲子(総合東京病院 循環器内科)

ラウンドディスカッション

演者：本江 純子(菊名記念病院)

樗木 晶子(福岡歯科大学医科歯科総合病院健診センター・福岡看護大学)

富岡 智子(みやぎ県南中核病院)

3. Let's Ask JJC Pioneers to Consider How We Got Here, How We Are Going Now and How We Will Go in the Future

演者：神谷千津子(国立循環器病研究センター 産婦人科部)

5) 循環器疾患とPolypharmacy

〈英語〉

Polypharmacy in the management of cardiovascular diseases

(3月13日(日) 15:30~17:00)

座長：山下 武志(心臓血管研究所)

江頭 正人(東京大学 医学教育学)

1. Association between number of medications and clinical outcomes among elderly patients with non-valvular atrial fibrillation in a cardiovascular hospital

演者：有田 卓人(心臓血管研究所附属病院 循環器内科)

2. Effect of polypharmacy on long-term mortality after percutaneous coronary intervention

演者：山本 航(京都大学 循環器内科)

3. Polypharmacy in Heart Failure Management

演者：猪又 孝元(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)

4. Multidisciplinary approach for medication review to older in-patients with polypharmacy

演者：溝神 文博(国立長寿医療研究センター 薬剤部)

5. Polypharmacy in Long-term Care Facilities

演者：浜田 将太(医療経済研究機構)

37. 日本心臓財団シンポジウム

〈日本語〉

Diversity & Inclusion—若者からの未来への提言

(3月13日(日) 8:00~9:30)

座長：小室 一成(東京大学 循環器内科)

石田 万里(広島大学大学院医系科学研究科 心臓血管生理医学)

1. 留学生からの提言

演者：Purevsuren Munkhtuul(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

2. 女性医師からの提言

演者：千村 美里(大阪大学医学系研究科 循環器内科学)

3. 若手医師からの提言

演者：神馬 崇宏(東京大学医学部附属病院 循環器内科)

4. 起業した医師からの提言

演者：谷口 達典(株式会社リモハブ)

5. へき地医療経験者からの提言

演者：橋本 直土(山形県立中央病院 循環器内科)

38. 佐藤賞記念講演 オンデマンド

〈英語〉

Cardiovascular Homeostasis by Organ Communication Driven by Nerve-immune Cell Network

座長：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

演者：藤生 克仁(東京大学医学部附属病院 循環器内科)

39. 委員会セッション

1) ガイドライン部会

ガイドラインに学ぶ①②

2) 学術集会運営委員会

YIA 審査講演会(Basic research 部)

- 3) 学術集会運営委員会
YIA 審査講演会(Clinical research 部)
- 4) 渉外委員会(国際)
What we learn from 2021 ESC heart failure guidelines－Case-based discussion by JIYC－
- 5) 渉外委員会(国際)
International YIA (Basic Research)
- 6) 渉外委員会(国際)
International YIA (Clinical Research)
- 7) 渉外委員会(国際)
国際留学生 YIA 最終講演会
- 8) チーム医療部会制度委員会
心不全療養指導士特別講演
- 9) チーム医療部会制度委員会
心不全療養指導士セッション
- 10) 学術集会プログラム部会
第12回コメディカル賞審査講演会-1 看護・薬剤・リハ部門
- 11) 学術集会プログラム部会
第12回コメディカル賞審査講演会-2 検査・治療部門
- 12) ダイバーシティ推進委員会
医師の働き方改革－2024年度制度施行に向けて
- 13) ダイバーシティ推進委員会 U-40 部会
循環器医×〇〇から生まれる新しい価値を考える－循環器医としての「かけ算」の生き方－
- 14) 渉外委員会(国際), 学術委員会
海外留学ネットワーキングセミナー(海外留学生セミナー含む)
- 15) 渉外委員会(国際)
国際名誉会員セッション
- 16) プログラム部会
症例から学ぶガイドラインセミナー1～5
- 17) 基本法・5ヵ年計画検討委員会
日本循環器学会・日本脳卒中学会ジョイントシンポジウム
脳卒中と循環器病克服第一次5ヵ年計画の成果
- 18) 基本法・5ヵ年計画検討委員会
都道府県循環器病対策推進計画への期待

19) 基本法・5ヵ年計画検討委員会

症例から学ぶ日欧米の循環器ガイドライン

～In accordance with and/or beyond guidelines～ Lessons from clinical cases in accordance with and/or beyond guidelines

20) 基本法・5ヵ年計画検討委員会

基本法・5ヵ年計画検討委員会セッション

脳卒中と循環器病克服第二次5ヵ年計画の進捗状況

21) 集中救急医療部会 オンデマンド

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

院外心停止と心原性ショックに関する最新の話題

22) 禁煙推進部会 オンデマンド

第20回禁煙推進セミナー

with コロナ時代の禁煙

23) 心臓移植委員会 オンデマンド

心臓移植内科医の育成

心臓移植内科医は究極の心不全専門医

24) ガイドライン部会 オンデマンド

「診療の質の評価企画」報告会

25) 編集委員会 オンデマンド

Circulation Journal Award Session

26) 学術委員会 オンデマンド

2020年度医師臨床研究助成報告会

27) 学術委員会 オンデマンド

2020年度メディカルスタッフ(医師を除く医療専門職)研究助成報告会

28) 学術委員会 オンデマンド

留学支援助成報告会

29) 編集委員会 オンデマンド

CJ/EHJ Joint Session

40. 一般演題(Oral, ModeratedPosterSession, PosterSession)

41. 症例報告(Oral, Poster)

42. 共催セミナー

ランチョンセミナー

LS01 AF 治療? HF 治療? 実際に悩んだ症例に, エキスパートが描く治療戦略

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 筒井 裕之(九州大学大学院医学研究院 循環器内科学)

演者: 奥村 謙(済生会熊本病院 循環器内科)

猪又 孝元(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)

高麗 謙吾(小倉記念病院 循環器内科)

共催: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

LS02 経口 GLP-1 受容体作動薬による 2 型糖尿病治療と心血管リスク管理

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

演者: 室原 豊明(名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学 循環器内科学)

共催: ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 開発本部 メディカル アフェアーズ
部/MSD 株式会社

LS03 Lifetime management—AS の長期にわたる治療戦略

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 白井 伸一(小倉記念病院 循環器内科)

演者: 八戸 大輔(札幌心臓血管クリニック 循環器内科/SHD センター)

土井信一郎(順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科)

共催: 日本メドトロニック株式会社

LS04 日本人の心不全治療を考える

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 野出 孝一(佐賀大学医学部)

1. 心不全への早期介入を考える

演者: 桑原宏一郎(信州大学医学部 循環器内科)

2. 新規心不全治療薬をどのように選択するか?

演者: 大西 勝也(大西内科ハートクリニック)

共催: ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル本部/大塚製薬株式会社
メディカル・アフェアーズ部

LS05 微小循環障害とどう向き合うか

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 安藤 献児(小倉記念病院)

中川 義久(滋賀医科大学)

1. 心血管疾患に潜む冠微小循環

演者: 辻田 賢一(熊本大学病院)

2. 今後の CMD 診断の重要性と展望について

演者: 上妻 謙(帝京大学医学部附属病院)

共催: アボットメディカルジャパン合同会社

LS06 高血圧性 HFpEF のマネージメント—便秘治療も含めて—

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 荻尾 七臣(自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門)

演者: 山本英一郎(熊本大学病院 循環器内科)

共催: ヴィアトリス製薬株式会社

LS07 AFIRE 研究: サブ解析と Less is More レジメン

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

演者: 安田 聡(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野)

共催: バイエル薬品株式会社

LS08 CKD 診療の未来予想図〜フォシーガへの期待〜

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 平田 健一(神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

演者: 深水 圭(久留米大学医学部内科学講座 腎臓内科部門)

共催: アストラゼネカ株式会社/小野薬品工業株式会社

LS09 呼吸器内科の立場からみる肺高血圧症

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 杉村宏一郎(国際医療福祉大学成田病院 循環器内科)

演者: 杉浦 寿彦(千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学)

共催: 持田製薬株式会社

LS10 With コロナ時代の心血管イベント抑制を目指した高血圧治療継続の重要性

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)

演者: 楠山 貴教(社会医療法人三栄会ツカザキ病院 循環器内科/先端画像・低侵襲治療センター)

共催: 武田薬品工業株式会社

LS11 高齢心不全の終末期を診る

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器センター 循環器内科)

演者: 加藤真帆人(医療法人社団潮友会うしお病院 循環器内科)

共催: あゆみ製薬株式会社

LS12 Non-Invasive Cardiac Imaging の最新トピックス

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 泉 知里(国立研究開発法人国立循環器病研究センター病院 心臓血管内科部門 心不全科)

栗田 隆志(近畿大学病院 心臓血管センター)

1. 右心系評価における心エコー図の真髄

演者: 大西 哲存(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)

2. 左室だけじゃない, 右室も心房も評価できる MRI の魅力

演者: 真鍋 徳子(自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科)

共催: キヤノンメディカルシステムズ株式会社

LS13 心筋症, 心臓弁膜症から識る希少疾患

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 家田 真樹(筑波大学 医学医療系 循環器内科)

1. ムコ多糖症: 循環器内科が診るべき治療可能な希少疾患~診断から治療まで~

演者: 山川 裕之(慶應義塾大学医学部 循環器内科/予防医療センター)

2. T1 mapping を用いたファブリー病の診断と治療

演者: 木田 圭亮(聖マリアンナ医科大学 薬理学)

共催: サノフィ株式会社

LS14 高齢者心房細動白書~ELDERCARE-AF が何をもたらすか?~

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 廣島 謙一(小倉記念病院 循環器内科)

演者: 山下 武志(公益財団法人心臓血管研究所)

共催: 第一三共株式会社

LS15 コロナ時代の不整脈診療に心電図を活かす!

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長: 森田 宏(岡山大学)

演者: 高橋 尚彦(大分大学)

共催: フクダ電子株式会社

LS16 侵襲“ゼロ”の心臓検査：A New Digital Standard

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長：小室 一成(東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻器官病態内科学講座
循環器内科学)

伊苺 裕二(東海大学医学部 内科学系循環器内科学)

1. The Big Change：心臓診療のグローバルレボリューション

演者：阿古 潤哉(北里大学医学部 循環器内科学)

2. Leading the Way：世界に先がけた CCS 診療の実践

演者：中澤 学(近畿大学医学部 循環器内科学)

共催：ハートフロー・ジャパン合同会社

LS17 がん関連静脈血栓塞栓症の抗凝固療法

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長：赤澤 宏(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

1. 日本人におけるがん関連静脈血栓塞栓症において留意すべきこと(仮)

演者：荻野 堯(横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター)

2. がん関連静脈血栓塞栓症における抗凝固療法の世界的潮流を理解する(仮)

演者：志賀 太郎(がん研有明病院 腫瘍循環器・循環器内科)

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／ファイザー株式会社

LS18 高 TG 血症は循環器内科医の治療標的となるのか？

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長：日比 潔(横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター)

1. 心血管イベント抑制を意識した、早期 SPPARM α 導入のメリット

演者：清末 有宏(森山記念病院 循環器内科)

2. 凝固線溶系から見る高中性脂肪血症治療 ～fact を見極める～

演者：坂本 知浩(済生会熊本病院心臓血管センター 循環器内科)

共催：興和株式会社

LS19 ～心腎連関を考える～

(3月11日(金) 12:30~13:20)

座長：中村 一文(岡山大学学術研究院医歯薬学域 循環器内科学)

内田 治仁(岡山大学学術研究院医歯薬学域 CKD・CVD 地域連携包括医療
学講座)

1. 心腎連関における腎性貧血治療について～腎臓専門医の立場から～

演者：内田 治仁(岡山大学学術研究院医歯薬学域 CKD・CVD 地域連携包括医療
学講座)

2. 変貌する腎性貧血治療 ～循環器内科医の立場から～

演者：中村 一文(岡山大学学術研究院医歯薬学域 循環器内科学)

共催：協和キリン株式会社

LS20 循環器症状に隠れた希少疾患：遺伝性血管性浮腫

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長：坂田 泰史(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

演者：家子 正裕(岩手県立中部病院 血液内科)

共催：武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス

LS21 弁膜症チームで考えるこれからの AS 治療の最適化

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長：林田健太郎(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

1. 内科医から見た AS 治療の至適タイミング

演者：出雲 昌樹(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)

2. 外科医から見た TAVI 治療の進化—外科手術が可能な患者から慢性透析患者まで—

演者：鳥飼 慶(獨協医科大学埼玉医療センター 心臓血管外科)

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

LS22 抗凝固療法の歩み ～ARISTOTLE 発表後の10年を振り返る～

(3月12日(土) 12:25～13:15)

座長：山下 武志(公益財団法人心臓血管研究所)

演者：是恒 之宏(ダイハツ工業保健センター／大阪医療センター)

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／ファイザー株式会社

LS23 早く知りたい！がん患者に DOAC 使うのか、使わないのか？

(3月12日(土) 12:25～13:15)

座長：奥村 恭男(日本大学医学部 内科学系 循環器内科学分野)

演者：庄司 正昭(国立がん研究センター中央病院 総合内科・循環器内科)

共催：バイエル薬品株式会社

LS24 血管と睡眠の観点から糖尿病治療を考える

(3月12日(土) 12:25～13:15)

座長：安齊 俊久(北海道大学大学院 医学研究院 循環病態内科学)

1. 睡眠時無呼吸を合併した2型糖尿病の心血管リスクを再考する

演者：葛西 隆敏(順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学)

2. 日常診療にも活用できる、血管内皮機能と夜間頻尿の意外な関係

演者：東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研究所)

共催：興和株式会社

LS25 循環器医からみた糖尿病治療

(3月12日(土) 12:25～13:15)

座長：大石 充(鹿児島大学大学院 心臓血管・高血圧内科)

演者：桑原宏一郎(信州大学医学部 循環器内科学教室)

共催：大日本住友製薬株式会社

LS26 EMPEROR-Reduced Trial and Use of Empagliflozin in Treatment of Heart Failure

(3月12日(土) 12:25～13:15)

座長：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

演者：Andrew JS Coats (Univ of Warwick, UK and Monash University UK and President of the Heart Failure Association)

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社／日本イーライリリー株式会社

LS27 これからの心不全うっ血治療を考える—トルバプタンのエビデンス—

(3月12日(土) 12:25～13:15)

座長：小室 一成(東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

1. 急性期の早期うっ血改善の重要性

演者：佐藤 直樹(かわぐち心臓呼吸器病院)

2. 心腎連関を踏まえた慢性期のうっ血治療を考える

演者：絹川弘一郎(富山大学 学術研究部医学系内科学(第二))

共催：大塚製薬株式会社

LS28 これからの心不全治療標的とベリシグアト

(3月12日(土) 12:25～13:15)

座長：斎藤 能彦(奈良県立医科大学 循環器内科学教室)

演者：猪又 孝元(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)

共催：バイエル薬品株式会社

LS29 長期予後を見据えた PAH 治療のアセスメント

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長: 福田 恵一(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

演者: 大郷 剛(国立循環器病研究センター 肺高血圧症先端医学研究部/心臓血管内科部門 肺循環科)

共催: ヤンセンファーマ株式会社/日本新薬株式会社

LS30 変遷する生活様式, 延伸する平均寿命をふまえた糖尿病治療

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長: 野出 孝一(佐賀大学医学部 内科学講座)

演者: 西村 理明(東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

共催: アステラス製薬株式会社

LS31 明日からの治療につながる心筋画像診断

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長: 北岡 裕章(高知大学医学部 老年病・循環器内科学)

1. CT による心筋性状評価の付加価値

演者: 尾田 済太郎(熊本大学病院 画像診断・治療科)

2. MR だけじゃない—CT による心筋評価

演者: 高岡 浩之(千葉大学医学部附属病院 循環器内科)

共催: ザイオソフト株式会社/アミン株式会社

LS32 循環器×認知症×漢方

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長: 南野 哲男(香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学)

1. 循環器疾患と認知症

演者: 猪原 匡史(国立循環器病研究センター 脳神経内科)

2. 認知症高齢者の治療とケア—漢方薬の有用性—

演者: 岡原 一徳(医療法人慶明会けいめい記念病院 脳神経外科)

共催: 株式会社ツムラ

LS33 未定

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長: 澤 芳樹(大阪大学)

演者: 戸田 宏一(大阪大学)

奥村 貴裕(名古屋大学)

共催: 日本アビオメッド株式会社

LS34 循内合同カンファレンス: 心房細動患者における抗凝固療法を虚血・不整脈医師はどう診るか

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長: 新家 俊郎(昭和大学病院)

栗田 隆志(近畿大学病院)

1. PCI 患者の抗凝固療法をめぐる課題と展望

演者: 原 英彦(東邦大学医療センター大橋病院)

2. アブレーション患者の抗凝固療法をめぐる課題と展望

演者: 近藤 祐介(千葉大学医学部附属病院)

3. PCI 患者における最適な左心耳閉鎖(LAAC)のタイミングとは

演者: 渡邊 雄介(帝京大学医学部附属病院)

4. アブレーション患者における最適な左心耳閉鎖(LAAC)のタイミングとは

演者: 山崎 浩(筑波大学)

共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

LS35 脳心連関を考える：プラスグレルの新展開

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長：伊莉 裕二(東海大学医学部 内科学系循環器内科学)

1. 心臓領域からの VIEW

演者：森野 禎浩(岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)

2. 脳領域からの VIEW

演者：伊藤 義彰(大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経内科学)

共催：第一三共株式会社

LS36 動脈硬化と crystal-related arterial injury

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長：上妻 謙(帝京大学医学部附属病院 循環器内科)

1. 心血管疾患の残余リスクにおける炎症の重要性～コレステロール結晶の関連～

演者：阿古 潤哉(北里大学医学部 循環器内科学)

2. 冠動脈の結晶と血管炎症～画像研究による新知見～

演者：安田 聡(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

共催：持田製薬株式会社/株式会社富士薬品

LS37 抗凝固療法の最前線

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長：奥村 謙(済生会熊本病院 心臓血管センター 不整脈先端治療部門)

1. エビデンスで読み解く“直接トロンビン阻害剤”の特徴

演者：高橋 尚彦(大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座)

2. 脳を護る～特異的中和剤の特徴と意義～

演者：矢坂 正弘(国立病院機構九州医療センター 脳血管・神経内科 臨床研究推進部)

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

LS38 CCS 診療に虚血評価をどう活かすか

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長：石井 秀樹(群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座)

1. CCS 診療における機能的な虚血評価の現状

演者：加藤 重彦(山形大学 第一内科)

2. CCS 経過観察における最適な虚血評価モダリティとは？

演者：横井 宏佳(福岡山王病院)

共催：富士フイルム富山化学株式会社

LS39 HINODE から見えてくる本邦のデバイス適応～JCS ガイドラインはかわりうるのか？～

(3月12日(土) 12:25~13:15)

座長：室原 豊明(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

演者：青沼 和隆(筑波大学医学医療系 循環器内科学)

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社/日本ライフライン株式会社

LS40 大動脈弁狭窄症の診療マネジメント～紹介元医師の知りたいこと 1問1答～

(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長：森野 禎浩(岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野)

1. 紹介元施設での AS 診療マネジメント

演者：西岡 健司(広島市立広島市民病院 循環器内科)

2. AS 診療における紹介医のギモン

演者：大野 洋平(東海大学医学部 内科学系 循環器内科学)

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

LS41 急性期心不全治療戦略 循環器内科医の目線で見るとMCS使用時のiNOの役割
(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長: 澤 芳樹(大阪警察病院)
演者: 築瀬 正伸(藤田医科大学医学部 循環器内科)
共催: マリンクロット ファーマ株式会社

LS42 PCI after TAVI

(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長: 三角 和雄(千葉西総合病院)

1. 未定

演者: 全 完(京都府立医科大学附属病院)

2. 未定

演者: 桃原 哲也(社会医療法人財団石心会川崎幸病院)

共催: 日本メドトロニック株式会社

LS43 心不全治療におけるSGLT2阻害薬の役割

(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長: 絹川弘一郎(富山大学 学術研究部 医学系内科学(第二))

演者: 坂田 泰史(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社

LS44 ATTRv アミロイドーシスを見逃さない~他科連携を通じた早期診断への期待~

(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長: 安田 聡(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

演者: 久保 亨(高知大学医学部 老年病・循環器内科学)

共催: Alnylam Japan 株式会社

LS45 高血圧治療の現状とこれからについて考える

(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長: 平田 健一(神戸大学大学院医学研究科 内科学講座・循環器内科学分野)

1. 心腎連関と高血圧治療

演者: 伊藤 貞嘉(公立刈田総合病院)

2. 高血圧パラドックス克服に向けた挑戦

演者: 楽木 宏実(大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学)

共催: ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル本部/大塚製薬株式会社 メディカル・アフケアーズ部

LS46 新たな冷凍アブレーションシステム'POLARx'初期導入施設での使用経験

(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長: 山内 康熙(横浜市立みなと赤十字病院 循環器内科)

演者: 高月 誠司(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

LS47 患者さんに寄り添う糖尿病治療強化 ~配合錠がクリニカルイナーシャ克服のナッジとなることを期待する~

(3月13日(日) 12:15~13:05)

座長: 三浦伸一郎(福岡大学医学部 心臓・血管内科学)

演者: 田中 正巳(東京女子医科大学附属足立医療センター 内科)

共催: MSD 株式会社

- LS48 循環器包括管理としての心アミロイドーシス診療～ATTR-CM 日本版 Red flag を含めて～
(3月13日(日) 12:15～13:05)
座長: 辻田 賢一(熊本大学病院(国立大学法人熊本大学病院) 循環器内科)
演者: 猪又 孝元(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)
共催: ファイザー株式会社
- LS49 動脈硬化の新知見と新規腎性貧血治療薬への期待
(3月13日(日) 12:15～13:05)
座長: 前村 浩二(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)
演者: 佐田 政隆(徳島大学大学院医歯薬学研究部 循環器内科学分野)
共催: 田辺三菱製薬株式会社
- LS50 心腎予後を見据えた心不全の治療戦略
(3月13日(日) 12:15～13:05)
座長: 伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)
演者: 山口 修(愛媛大学大学院医学系研究科 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)
共催: アストラゼネカ株式会社/小野薬品工業株式会社
- LS51 CTEPH 治療の実際～BPA と肺血管拡張薬の役割～
(3月13日(日) 12:15～13:05)
座長: 福本 義弘(久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門)
演者: 川上 崇史(慶應義塾大学医学部 循環器内科)
共催: 日本新薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社
- LS52 脂質異常症を伴う血管疾患の残余リスク対策を考える～EPA を臨床で活かす～
(3月13日(日) 12:15～13:05)
座長: 安齊 俊久(北海道大学大学院医学研究院 循環病態内科学)
1. 予後を改善する脂質異常症治療 ～脂肪酸の立ち位置とは～
演者: 岩田 洋(順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科)
2. 残余リスク管理への期待 ～EPA 製剤を中心に～
演者: 中川 義久(滋賀医科大学 循環器内科)
共催: 持田製薬株式会社
- LS53 心不全の新たな治療法と BNP 検査
(3月13日(日) 12:15～13:05)
座長: 榊田 出(武田病院健診センター)
演者: 桑原宏一郎(信州大学医学部 循環器内科)
共催: 塩野義製薬株式会社/東ソー株式会社/株式会社LSIメディエンス/アボットジャパン合同会社/シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社/積水メディカル株式会社/富士レボio株式会社
- LS54 心不全治療の変遷～高カリウム血症の話題も含めて～
(3月13日(日) 12:15～13:05)
座長: 田村 功一(横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学)
演者: 阿古 潤哉(北里大学医学部 循環器内科学)
共催: アストラゼネカ株式会社

ファイアサイドセミナー

FS01 Ultimate DES ～Ultimaster Nagomi の真実～

(3月11日(金) 17:45～18:35)

座長：森野 禎浩(学校法人岩手医科大学岩手医科大学附属病院)
上妻 謙(学校法人帝京大学帝京大学医学部附属病院)
演者：村松 崇(学校法人藤田学園藤田医科大学病院)
小川 崇之(学校法人慈恵大学東京慈恵会医科大学附属病院)
共催：テルモ株式会社

FS02 深掘り：心不全薬物治療のエビデンス

(3月11日(金) 17:45～18:35)

座長：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)
演者：筒井 裕之(九州大学大学院医学研究院 循環器内科学)
共催：ヴィアトリス製薬株式会社

FS03 肺高血圧症診療のアップデートとリオシグアトの役割－8年間の集積データから－

(3月11日(金) 17:45～19:05)

座長：杉村宏一郎(国際医療福祉大学医学部 循環器内科学／国際医療福祉大学成田病院 循環器内科)
1. PAH 治療の新たな選択肢～REPLACE 試験を紐解く～
演者：伊波 巧(杏林大学医学部循環器内科学)
2. CTEPH 診療の Next Stage
演者：大郷 剛(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科／肺高血圧症先端医学研究部)
共催：バイエル薬品株式会社

FS04 重症心不全治療の最前線：Device therapy and more.

(3月11日(金) 17:45～19:15)

座長：副島 京子(杏林大学医学部 第二内科学)
1. 心不全に対する包括的・効率的アプローチ：CRT 活用と至適薬物療法
演者：中井 俊子(日本大学医学部 内科学系循環器内科学分野)
2. ハートチームで考える、心不全患者への MR 治療オプション
演者：平岡 有努(心臓病センター榊原病院 心臓血管外科)
3. 機械的補助循環装着患者における重症心室不整脈アブレーション
演者：野上 昭彦(筑波大学医学医療系 循環器内科)
4. LVAD Destination Therapy を考慮すべき症例像とは？
演者：岩花 東吾(千葉大学医学部附属病院)
共催：アボットメディカルジャパン合同会社

FS05 100万例のクライオアブレーションが果たしてきた役割と、よりよい治療成績を目指した新たな手法

(3月11日(金) 17:45～18:35)

座長：徳田 道史(東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター)
1. Long-term outcome of Cryoballoon PVI: Lessons from a 5-year follow up
演者：Andreas Metzner(Medical Center Hamburg-Eppendorf)
2. Earliest pulmonary vein potential-guided Cryoballoon ablation for durable PV Isolation
演者：水谷 吉晶(市立四日市病院)
共催：日本メドトロニック株式会社

FS06 抗血栓薬服用患者への消化器ガイドラインに準じた内科診療

(3月11日(金) 17:45～18:35)

座長：安田 聡(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野)

演者：塩谷 昭子(川崎医科大学 消化管内科学)

共催：アストラゼネカ株式会社

FS07 心臓突然死一次予防～臨床シナリオを具体化する～

(3月11日(金) 17:45～18:35)

座長：猪又 孝元(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)

1. AMI 後の SCD 一次予防について

演者：日置 紘文(帝京大学医学部附属病院 循環器内科)

2. 不整脈専門医が考える SCD 一次予防

演者：岩崎 雄樹(日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

共催：旭化成ゾールメディカル株式会社

FS08 未定

(3月11日(金) 17:45～18:35)

座長：宮崎 晋介(東京医科歯科大学病院 循環器内科)

演者：松永 泰治(大阪労災病院)

山下賢之介(仙台厚生病院)

Raphael Martins(Univ Rennes)

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

FS09 腎症合併糖尿病治療の未来予想図

(3月12日(土) 17:45～18:35)

座長：室原 豊明(名古屋大学 循環器内科)

演者：深水 圭(久留米大学医学部 腎臓内科)

共催：バイエル薬品株式会社

FS10 未定

(3月12日(土) 17:45～19:15)

【パート1】

座長：未定

演者：中田 淳(日本医科大学)

コメンテーター：久保 俊介(倉敷中央病院)

【パート2】

座長：戸田 宏一(大阪大学)

演者：河村 拓史(大阪大学)

コメンテーター：市原 有起(東京女子医科大学)

【パート3】

座長：絹川弘一郎(富山大学)

演者：池田 祐毅(北里大学)

コメンテーター：朔 啓太(国立循環器病研究センター)

共催：日本アビオメッド株式会社

FS11 今、高血圧治療戦略を考える

(3月12日(土) 17:45～18:35)

座長：大石 充(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学)

1. 20分でわかる、イベント抑制を目指した血圧マネジメント

演者：山口 徹雄(国家公務員共済組合連合会虎の門病院 循環器センター 内科)

2. 循環器内科医を目指す「良い血圧で健やか100年人生」～まだまだこれから～

演者：岸 拓弥(国際医療福祉大学大学院医学研究科 循環器内科部門)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル本部／大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

FS12 心房細動と睡眠呼吸障害

(3月12日(土) 17:45~18:35)

座長: 萩原 誠久(東京女子医科大学 循環器内科学)

1. 睡眠呼吸障害における心房細動発症機序から心房細動アブレーション後の包括的治療の重要性を再考する

演者: 岩崎 雄樹(日本医科大学 循環器内科学)

2. 心房細動患者における睡眠時無呼吸の診断と治療

演者: 葛西 隆敏(順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学/順天堂大学医学部附属順天堂医院 睡眠・呼吸障害センター)

共催: 帝人ファーマ株式会社

FS13 新! 3D ホログラム状 VR 立体表示画像ワークステーションの活用方法

(3月12日(土) 17:45~18:35)

演者: Dutcher Jacob R.(CentraCare Hospital)

ディスカッサント: 手取屋岳夫(上尾中央総合病院)

林田健太郎(慶應義塾大学)

共催: センチュリーメディカル株式会社

FS14 冠循環分野への AI 活用の最前線

(3月12日(土) 17:45~19:15)

座長: 前村 浩二(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

1. AI 時代の循環器内科診療

演者: 鍵山 暢之(順天堂大学 デジタルヘルス遠隔医療研究開発講座/循環器内科/データサイエンスコース)

2. AI で広がる心エコー・X 線診断の可能性

演者: 楠瀬 賢也(徳島大学病院 循環器内科)

3. 血管内イメージングの Deep Learning による冠動脈プラーク診断と急性冠症候群の発症予測

演者: 上村 史朗(川崎医科大学 循環器内科)

共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

FS15 肺高血圧症診療における現状と未来展望を考える

(3月12日(土) 17:45~18:35)

座長: 平田 健一(神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

1. 肺高血圧症診療の現在地と未来展望~国内外レジストリーにみる知見

演者: 田村 雄一(国際医療福祉大学医学部 循環器内科学/国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター)

2. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症診療の最新知見 ~CTEPH AC Registry より~

演者: 阿部弘太郎(九州大学病院 循環器内科)

共催: ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

FS16 Cardio-Renal Anemia Syndrome(CRAS)心腎貧血症候群を再考する

(3月12日(土) 17:45~18:35)

座長: 石井 秀樹(群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 循環器内科学)

演者: 阿部 雅紀(日本大学医学部内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野)

共催: バイエル薬品株式会社

FS17 リスクとベネフィットを考慮した高齢者心房細動の治療戦略 ~ビソプロロール貼付剤とアミオダロンをどう使うか~

(3月12日(土) 17:45~19:15)

座長: 山下 武志(心臓血管研究所)

1. 老年薬学的見地で見えた心房細動治療

- 演者：小島 太郎(東京大学大学院医学系研究科 加齢医学講座老化制御学)
2. 高齢心房細動患者の薬物治療—安全性を重視したリズム・レートコントロールの実際—
- 演者：高橋 尚彦(大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座)
- 共催：トーアエイヨー株式会社

FS18 高安動脈動脈炎診療 Up to date

(3月11日(金) 17:45~18:35)

- 座長：中岡 良和(国立循環器研究センター研究所 血管生理学部)
- 前嶋 康浩(東京医科歯科大学大学院循環制御内科学)
1. 高安動脈炎の発症メカニズムについての新たな知見
- 演者：前嶋 康浩(東京医科歯科大学大学院循環制御内科学)
2. 高安動脈炎に対する治療の最新情報 ~いかに画像検査を治療に生かすか?~
- 演者：中岡 良和(国立循環器研究センター研究所 血管生理学部)
- 共催：中外製薬株式会社

スポンサードシンポジウム

SSY01 RFの温故知新—安全かつ有効な通電を目指して—

(3月11日(金) 13:30~15:00)

- 座長：合屋 雅彦(東京医科歯科大学病院 循環器内科)
1. Biophysics から紐解く有効かつ安全な通電—温度 Feedback 向上により何がかわるのか?—
- 演者：奥村 恭男(日本大学医学部系内科学系循環器内科分野)
2. QDOT MICRO を用いたアブレーションの Evidence と可能性
- 演者：滝川 正晃(東京医科歯科大学病院 循環器内科)
- 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

SSY02 ACS 二次予防における積極的脂質低下療法の意義

(3月11日(金) 13:30~15:00)

- 座長：小林 欣夫(千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学)
- 天野 哲也(愛知医科大学 循環器内科)
1. ACS の現状と問題点~Interventionist の役割とは~
- 演者：伊莉 裕二(東海大学医学部 内科学系循環器内科学)
2. 循環器病対策推進基本計画における熊本県の展開について~脂質管理を踏まえて~
- 演者：辻田 賢一(熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学)
3. 冠動脈疾患二次予防：実地診療における脂質管理の取り組み
- 演者：上村 史朗(川崎医科大学 循環器内科学)
- 共催：アムジェン株式会社/アステラス製薬株式会社

SSY03 心不全の病態と SGLT2 阻害薬の作用機序について

(3月11日(金) 16:00~17:30)

- 座長：的場 聖明(京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科学)
1. 慢性心不全治療は新たな時代へ ~心臓エネルギー代謝へ与える SGLT2 阻害薬の影響を考える~
- 演者：倉林 正彦(群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 循環器内科学)
2. 心不全治療の新展開 ~SGLT2 阻害薬の意義~
- 演者：桑原宏一郎(信州大学医学部 循環器内科学教室)
- 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社

SSY04 循環器病対策の基本となる高血圧デジタル療法とは

(3月11日(金) 16:00~17:30)

- 座長：楽木 宏実(大阪大学大学院医学系研究科 内科学講座(老年・総合内科学))

1. テクノロジーと臨床の融合を踏まえたデジタル循環器学とは
演者：野村 章洋(金沢大学附属病院先端医療開発センター／金沢大学附属病院
循環器内科)
2. 高血圧治療用アプリの開発経緯
演者：谷川 朋幸(株式会社 CureApp／聖路加国際病院)
3. デジタル療法のエビデンスから見た高血圧・循環器診療の未来
演者：荻尾 七臣(自治医科大学 内科学講座循環器内科学部門)
共催：株式会社 CureApp

SSY05 ON DECK CIRCLE ～Vulnerable Plaque The New Chapter～

(3月12日(土) 8:00～9:30)

座長：上田 恭敬(国立病院機構大阪医療センター)
横井 宏佳(福岡山王病院)
演者：前原 晶子(Cardiovascular Research Foundation／Columbia University
Medical Center)
Ron Waksman(MedStar Washington Hospital Center)
Stephen Nicholls(Monash Heart／Victorian Heart Institute)
ディスカッサント：高木 厚(埼玉県済生会川口総合病院)
土肥 智貴(順天堂大学医学部)
大塚 文之(国立循環器病研究センター)
共催：ニプロ株式会社

SSY06 高血圧治療における MRB の臨床活用

(3月12日(土) 10:30～12:00)

座長：楽木 宏実(大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学)
伊莉 裕二(東海大学医学部内科学系循環器内科学)
演者：岩花 東吾(千葉大学医学部附属病院 循環器内科)
桑原宏一郎(信州大学医学部 循環器内科学教室)
甲斐 久史(久留米大学医療センター 循環器内科)
共催：第一三共株式会社

SSY07

(3月12日(土) 10:30～12:00)

【Session1】 予後改善を目指した心不全治療におけるカリウム管理の考え方

座長：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)
演者：末永 祐哉(順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座)

【Session2】 高カリウム血症改善剤ロケルマを 5W1H で考える

司会：木田 圭亮(聖マリアンナ医科大学 薬理学)

ディスカッサント：坂本 隆史(九州大学病院 循環器内科)
波多野 将(東京大学医学部附属病院 高度心不全治療センター)
末永 祐哉(順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座)
夜久 英憲(三菱京都病院 心臓内科／京都大学 循環器内科学)

スペシャルアドバイザー：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学)

共催：アストラゼネカ株式会社

SSY08 リードレスペースメーカーの今を知る +BA82

(3月12日(土) 16:00～17:30)

座長：清水 渉(日本医科大学付属病院)

1. 本邦におけるリードレスペースメーカーの現状

演者：副島 京子(杏林大学医学部付属病院)

2. Micra™ AV の概要と実際

演者：嘉澤脩一郎(東京医科大学八王子医療センター)

3. 当院における Micra™ AV 症例経験

演者：岡村 昌宏(鳥取大学医学部附属病院)

共催：日本メドトロニック株式会社

SSY09 Complex Coronary Intervention ～LMT /多枝病変の血行再建術法の選択基準～

(3月12日(土) 16:00～17:30)

座長：上妻 謙(帝京大学医学部附属病院)

安藤 献児(小倉記念病院)

1. 症例提示 1

演者：川嶋 秀幸(帝京大学医学部附属病院)

2. 症例提示 2

演者：高木 健督(国立循環器病研究センター)

3. 血行再建術 Decision making の最前線～世界のトレンドとエビデンス～

演者：小沼 芳信(National University of Ireland)

4. いわゆる日本形 PCI 追求の歴史と今後

演者：木村 剛(京都大学医学部附属病院)

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

SSY10 急性心不全診断治療の基本を考える～急性心不全初期対応から急性期対応のフローチャートを踏まえて～

(3月13日(日) 10:30～12:00)

座長：柴田 龍宏(久留米大学)

鍵山 暢之(順天堂大学)

1. トリアージ10分まで

演者：佐藤 宏行(手稲溪仁会病院)

2. 低灌流を呈する心不全への対応

演者：澤村 昭典(一宮市立市民病院)

3. 次の60分以内 ～初期治療は手数で勝負！～

演者：松本 新吾(東邦大学医学部内科学講座 循環器内科学分野)

4. その次の60分以内

演者：石原 里美(奈良県立医科大学)

コメンテーター：北井 豪(国立循環器病研究センター)

末永 祐哉(順天堂大学)

共催：大塚製薬株式会社

モーニングセミナー

MOS01 重症心不全治療の現状と展望 ～多能性幹細胞への期待～

(3月12日(土) 7:10～7:50)

座長：小野 稔(東京大学大学院医学系研究科 心臓外科学)

演者：升本 英利(理化学研究所生命機能科学研究センター／京都大学医学部附属病院)

共催：iHeart Japan 株式会社

43. 市民公開講座 オンデマンド

テーマ：第86回日本循環器学会学術集会 市民公開講座

「散歩で防ぐ心臓病」

プログラム：

総合司会：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学 教授)

1. 散歩は心臓になぜ良いか？

岡 岳文(津山中央病院 循環器内科)

2. 歩き方のコツ教えます。

神谷健太郎(北里大学 リハビリテーション科)

3. 笑い与健康～落語一席

春風亭昇吉

協賛：第一三共株式会社

44. 第20回心肺蘇生法市民公開講座

【第1部】 公開講座「心臓発作の症状と危険なサインを見逃すな」

座長：齋藤 博則(岡山赤十字病院 医療社会事業部)

演者：草野 研吾(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)

【第2部】 心肺蘇生法講習

コースコーディネーター：齋藤 博則(岡山赤十字病院 医療社会事業部)

事前参加登録のお知らせ

第86回学術集会では、参加登録、教育セッションの事前参加登録を行っております。
完全Web開催への変更に伴い、事前参加登録期間を2月28日（月）17：00まで延長いたします。
第86回学術集会ホームページ「事前参加登録」ページからご登録ください。
<http://www.congre.co.jp/jcs2022/>
なお、教育セッションのみの事前参加登録はできません。

・受付期間

参加登録 ▶ 2021年 **12月3日** [金] 10：00～ 2022年 **2月28日** [月] 17:00まで

教育セッション ▶ 2021年 **12月3日** [金] 10：00～ 2022年 **2月28日** [月] 17:00まで

* 参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

・参加登録費

参加区分	参加費（事前）	参加費（当日）	必要な提示物
日本循環器学会正会員	18,000円	22,000円	—
日本循環器学会準会員	6,000円	8,000円	—
非会員	35,000円	40,000円	—
非会員(コメディカル)	7,000円	9,000円	所定の証明書
研修医(前期)	当日登録のみ	無料	所定の証明書
大学院生 (日本人医師を除く)		無料	学生証
学部学生 (医学部・薬学部・工学部等含む)		無料	学生証
在日留学生		6,000円	所定の証明書
海外参加者 (日本からの留学生は除く)	35,000円 (団体10名につき、1名無料)	40,000円	—

※ 参加区分「日本循環器学会正会員」の参加費 18,000 円（当日 22,000 円）、「日本循環器学会準会員」の参加費 6,000 円（当日 8,000 円）に消費税はかかりません。（不課税）

※ プログラム集の事前配布はございません。プログラムの情報は、ホームページをご確認ください。

✦ コメディカルの登録

- ・ コメディカルの方は所定の証明書の提出が必要です。
登録確認画面、もしくは第86回学術集会ホームページよりダウンロードしてください。

✦ 研修医（前期）、留学生の登録

- ・ 事前参加登録は「日本循環器学会正会員・準会員」、「非会員医師および医療関係者」、のみを対象とさせていただきます。
研修医(前期)、大学院生、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に登録を行ってください。
 - ・ 研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
- ※証明書の提出がない場合は「非会員」当日参加費40,000円をお支払いいただきますので、予めご留意ください。
証明書は第86回学術集会ホームページよりダウンロードしてください。

✦ 教育セッション

- ・ 参加費は 3,000 円です。
- ・ お申し込み後の返金はありませんので、登録の際はご注意ください。
- ・ 教育セッションの内容については[第86回学術集会ホームページ](#)をご参照ください。

✦ 専門医研修単位登録

- ・ 専門医研修単位登録については、詳細が決まり次第、ご案内いたします。

事前参加登録時の注意点

- 事前参加登録完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべて E-mail で行います。
必ず連絡先として使用される E-mail アドレスをご入力ください。
- 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は自己都合による返金はいたしませんので、二重登録にご注意ください。**
- 国内参加者の団体登録は受付いたしません。

◆事前参加登録に関するお問い合わせ先

第86回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

E-mail : jcsapsc2022reg@congre.co.jp

TEL : 06-6229-3456

※新型コロナウイルス感染症の感染防止徹底のため、参加登録事務局ではテレワークを実施しております。
お手数ではございますが、E-mail にてお問合せいただきますようお願いいたします。

◆銀行振込の場合の注意事項

- 事前参加登録は入金を確認をもちまして完了となります。
- 入金確認には 1 週間程度お時間をいただいております。
振込手数料はご参加者様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- 振込人名が参加者様と異なる名称になる場合は、事前参加登録画面「振込人名」欄にご入力いただくか、参加登録事務局へ E-mail にてご連絡ください。
- お振込の際は、振込人名にご参加者様の氏名をご記入ください。
- 所属機関名のみでのお振込や複数名の参加費一括お振込の場合は、1. 参加者氏名 2. 振込依頼人名 3. 振込予定日 4. 金額を、参加登録事務局へ E-mail にてご連絡ください。
- 銀行振込の場合の参加登録期間は 2022 年 2 月 22 日（火）17:00 まで、最終振込期限は 2022 年 2 月 28 日（月）17:00 までとなります。

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項

1) プレナリーセッション

- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え、現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。
- 総合討論は行わない。

2) シンポジウム

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 各自の最先端の研究について発表し、自由な討論を行う。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。

3) 一般演題

- 発表者は原則として、応募時に選択した日本語または英語で行う(同時通訳なし)。
- 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。
 - ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
 - ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
 - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

学術集会問い合わせ先のご案内

第86回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www.congre.co.jp/jcs2022/> を開設しております。学術集会プログラムの確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

1. 採否通知

2021年11月30日(火)から、採択された演題の登録番号、採択演題名、筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しておりますので、各自ご確認ください。

2. 国内演者の資格

演題応募の時点で、筆頭著書および共著者は本学会の正会員または準会員であり、かつ2021年度会費納入者であることが必要です(※ただし、学部学生、修士、初期研修医、外国人留学生はこの限りではない)。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2021年度会費(正会員：15,000円、準会員：8,000円)のお振込みをもって完了します。

ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームをご利用ください。

(一社)日本循環器学会事務局
〒100-0011東京都千代田区内神田1丁目18番13号
内神田中央ビル6F
TEL：03-6775-9112 FAX：03-6775-9115
E-mail：soumu@j-circ.or.jp

※新型コロナウイルス感染症の感染防止徹底のため、テレワークを実施しております。
お手数ではございますが、当面の間、E-mailにてお問合せいただきますようお願いいたします。

3. 演題取り下げについて

演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2022/1/11)をもちまして受付を終了いたしました。以後(2022/1/12～)については、発表業績として取り扱うとし、取り消しは致しかねます。

4. その他

第86回学術集会のプログラム・運営などに関するお問い合わせは、運営事務局までご連絡ください。

第86回日本循環器学会学術集会 運営事務局
(株式会社コングレ)
TEL：06-6229-3456
FAX：06-6229-2556
E-mail：jcs2022@congre.co.jp

※新型コロナウイルス感染症の感染防止徹底のため、テレワークを実施しております。
お手数ではございますが、当面の間、E-mailにてお問合せいただきますようお願いいたします。

第87回日本循環器学会学術集会 (JCS2023)

会 期：2023年 3月10日(金)～12日(日)

会 場：福岡国際会議場，福岡サンパレス，マリンメッセ福岡，福岡国際センター

会 長：筒井 裕之(九州大学大学院医学研究院 循環器内科学)

テーマ：「New Challenge with Next Generation」

美甘レクチャー：Douglas L. Mann (Cardiovascular Division, Washington University School of Medicine, Missouri, USA)

真下記念講演：中村 祐輔(がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター)

特別講演：ロバート キャンベル(日本文学研究者，早稲田大学特命教授)

脳卒中と循環器病克服第一次5ヵ年計画振り返り 厚生労働省へ報告

本会が日本脳卒中学会と取り組んでまいりました，脳卒中と循環器病克服 第一次5ヵ年計画について，2020年度迄の活動総括を厚生労働省健康局がん・疾病対策課に報告し，今後の循環器病対策について意見交換を致しました．本活動総括は当会ホームページにて公開をしております．是非ご覧ください．



左より：

前村浩二理事，平田健一代表理事，厚生労働省健康局がん・疾病対策課長 中谷祐貴子先生，
日本脳卒中学会 理事長 小笠原邦昭先生，日本脳卒中学会 理事 富永悌二先生

●E-book での会告閲覧の方は [こちらから](#)

●冊子体での会告閲覧の方は [こちらから](#)



循環器疾患診療実態調査(JROAD)産学連携研究公募要領

日本循環器学会 IT/Database 部会による事業活動の一つとして、JROAD 産学連携研究データ利用研究の公募を行います。



(研究の趣旨)

研究利用細則第9条3項に定める JROAD データの利用目的は以下の項目の目的にかなうテーマとします。

- 日本の循環器病疾患医療の質の向上に資する研究

なお、この JROAD 本体、JROAD-DPC で活用できるデータについては、別紙2、3、4で必ず確認をしてください。

(研究期間)

承認後2年間とします(研究利用細則第10条3項)。

期限内に終了しない場合には、延長申請を行うこととします。

(応募資格)

研究利用細則第10条1に定めるデータ利用申請者の資格に従い、日本循環器学会員でかつ学会入会後3年を経過し、会費を完納している者。

(応募期間)

随時、毎月末日迄。

(応募方法)

所定の申請書(様式17、18-1、18-2、19、別紙1を当学会ホームページよりダウンロード)に記入し、作成した申請書の原本1部と共同研究契約書写しを日本循環器学会事務局宛てに郵送。

～提出書類～

- 様式17号「循環器疾患診療実態調査(JROAD)産学連携研究データ利用申請書」
- 様式18-1号「JROAD 産学連携研究利用データ管理に関する誓約書(研究者用)」
- 様式18-2号「JROAD 産学連携研究利用データ管理に関する誓約書(共同研究企業用)」
- 様式19号「JROAD データを用いた医療の質の向上に資する産学連携研究セキュリティ計画書(国循以外でデータ利用する場合)」
- 別紙1「データ利用申請者のチェック項目」
- 共同研究契約書(写し)

応募書類は本選考以外には使用しません。なお、申請書類は返却しませんので、予めご了承ください。

その他、本部会が必要に応じて求める質問、説明等に適切に対応してください。

申請者は、誓約書を提出する際、必ず「循環器疾患診療実態調査(The Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases: JROAD)データの管理と利用に関する細則」を確認してください。

申請にあたっては、利用できるデータ内容を別紙2、3、4で必ず確認してください。

(選 考)

当会 JROAD 研究利用審査検討会において審議します。

データ利用が国循以外の場合は、様式10「セキュリティ計画書」を順守していることを確認します。また、サイトビジットを行い、その結果、データ利用が国立循環器病研究センター内となる場合もございます。

(選考期日)

申請書受付後、JROAD 研究利用審査検討会、IT/Database 部会にて決定します。

(選考結果通知)

JROAD 研究利用審査検討会、IT/Database 部会終了後に、採否を申請者に書面で通知します。採否の理由に

関してのお問い合わせには応じかねますのでご了承下さい。

なお、虚偽の申請が判明した場合、採用の取り消しを求める場合があります。

(費用負担)

JROAD(The Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases)研究利用費用規定に基づき、以下の通りとします。

データ名	(税込)/年間
循環器疾患診療実態調査(JROAD)と各施設の循環器医療に関する DPC 情報(JROAD-DPC)	5,500,000円

(報告の義務)

研究終了後、速やかに様式20「産学連携研究 研究終了報告書」を作成し、下記事務局へ提出してください。

(問い合わせ及び申請書類の提出先事務局)

〒100-0047

東京都千代田区内神田1-18-13 内神田中央ビル6F

一般社団法人 日本循環器学会事務局 IT/Database 部会担当宛

E-mail : itdatabase@j-circ.or.jp

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2022年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査(旧制度)について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること。
 - 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること。
 - 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医/総合内科専門医/外科学会認定登録医/外科専門医/小児科専門医、いずれかの資格を取得していること。
 - 3) 本学会正会員であり、通算して3年以上の正会員歴を有すること(※1)。
 - 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2)。6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設または研修関連施設で研修していること(※3)。
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得年度の4月から、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設または研修関連施設で研修していること(※3, ※4)。
 - 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること。また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める。※ACLS等コース中止に伴う措置として「受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること」を「受験年度の9月30日現在有効な認定を受けていること」といたします。なお、申請の際、ACLS等の認定期間の登録は仮でご入力下さい。
2. 審査料(※5)および年会費を2022年6月末までに完納していること。
3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること。
4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること。
 - ※1 2022年4月1日現在3年目で可。2021年度以降の入会者は受験できません。
 - ※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む。
 - ※3 研修関連施設での研修も研修施設と同等の扱いにします。(従来は研修関連施設での研修は1/2換算としていました)
 - ※4 循環器研修を基本領域資格取得年の4月から開始可能とします。(従来は基本領域資格取得後、筆記試験前日までに満3年の研修が必要でした)
 - ※5 5月中旬に振込を依頼しますのでお手続きください。
振込は会員ポータルサイトにログインいただき、クレジットカード、コンビニ、ペイジーの方法のいずれかにてご対応ください。

III. 申請方法

以下の書類を郵送してください。①は会員ポータルサイトにて作成し、印刷して郵送してください。②～⑥は専門医申請用PDF作成システムにて作成した申請用PDFを会員ポータルサイトにアップロード及び印刷して郵送してください。なお、⑥は郵送する際、必要事項の記載が必要です。⑦はWEB上よりダウンロードして必要事項を記載し、押印の上、郵送してください。⑧⑨はコピーを郵送してください。

書類作成にあたり、当会HPの「診療実績表評価基準」「よくあるご質問」「申請書作成の手引き」等を必ず確認してください。

※症例や引用論文は原則として10年以内のものとしします。

※手術症例は開胸・開腹を伴うものとしします。

※提出書類で個人が特定できる情報(氏名、ID、住所、生年月日の日にち)には必ずマスキングをして下さい。マスキングされていない(視認できる)場合には、それだけで不合格になることがあります。

(①～⑨まで全ての書類を同封してお送りください)

※郵送先は事務局ではございませんのでご注意ください.

郵送先：〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-4-2

株式会社センキョウ 専門医申請受付係 行

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見, (D)外科手術記録, (E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 所属履歴
- ⑥ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑦ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑧ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑨ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」, また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

Ⅳ. 筆記試験不合格者の優遇措置について

2019年度試験より, 2018年度以降の書類審査に合格し筆記試験で不合格となった受験申請者は, 翌年度以降2年間は診療実績表審査を免除する特別措置を適用致しました.

- 今年度試験での対象

2019年度, 2021年度の筆記試験不合格者

- 優遇措置内容

1. 有効期間

筆記試験不合格となった翌年度以降の2年間(2020年度筆記試験は中止のため, 2020年度は除く)

2. 受験資格

通常の受験資格(上記Ⅱ. 受験資格)と同様です.

3. 申請書類

「診療実績表(A)～(E)」と「研修(研修関連)施設在籍証明書」の提出が免除されます. 以下の書類を申請書類提出期間中(下記Ⅵ.日程参照)に郵送してください.

※郵送先は事務局ではございませんのでご注意ください.

郵送先：〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-4-2

株式会社センキョウ 専門医申請受付係 行

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書(会員ポータルサイトにて作成してください.)
- ② 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ③ 基本領域の資格証書のコピー
- ④ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」, また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

V. 日 程

日 程	内 容
1月31日～3月31日 16:00まで	受験申請・申請書類作成期間(※1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4月1日～4月8日 消印有効	申請書類提出期日(※2)
5月中旬	審査料振込依頼(※3)
5月～7月中旬	申請書類審査期間
7月下旬	書類審査結果通知(※4)
10月予定	筆記試験施行(※5)
1月上旬	可否通知

- ※1 受験者が会員ポータルサイト、申請書類作成システムを介して受験申請・申請書類を作成する期間。データはこちらで保管しておりませんので、必要に応じてご自身で記録をお取りください。
- ※2 受験者が申請書類を送付する期間。
この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません。
提出された書類は返却いたしませんので、必ず控えをとってお送りください。
(書類審査不合格の場合は、「研修カリキュラム達成度評価表」のみ返却致します。)
- ※3 事務局から審査料の振込依頼をします。審査料は20,000円です。
1度支払われた審査料は、いかなる理由であっても返金しません。
- ※4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
- ※5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

VI. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内致します。
- 認定料は30,000円です。
- 認定日は、2023年4月1日となります。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

2022年度 循環器専門医資格認定更新

【重要】お手続きのご案内

自動的には更新されません。各期限までに必ずご対応ください。

専門医更新申請の手引き(本会 HP 内)：

トップページ → 専門医ページ内、循環器専門医制度「専門医資格認定更新」
→ ・2022年度循環器専門医資格認定更新について

Step① 「専門医資格申請情報」の作成 (申請番号 SAI-〇〇〇〇を作成)

期限：2021年11月24日

会員ポータルサイトにアクセスし、「専門医資格申請情報」から更新手続きを行ってください。
会員ポータルサイトのログインパスワードはご自身で発行頂いたものです。
お忘れの場合は、ログイン画面の **パスワードをお忘れですか?** をクリックしてください。

Step② 年会費(15,000円/年)のお支払い

期限：2022年3月15日入金まで

会員ポータルサイトの「請求収納情報」をご確認ください。
2021年度までの会費が未納の場合は、未納分の年会費をお振込みください。

Step③ 単位の取得

期限：2022年3月31日

期限までに更新に必要な単位を取得ください。現在の取得単位は会員ポータルサイトでご確認いただけます。※2022年3月開催の本会学術集会は、今回更新の単位に含まれます。

Step④ 「専門医資格申請情報」の申請 (「専門医資格更新申請」ボタンの押下)

①～③を完了し次第お手続きください。

会員ポータルサイトにアクセスし、Step①で保存した「専門医資格申請情報」の申請作業をしてください。

Step⑤ 更新料(30,000円)のお支払い

この手続きは④を完了している必要があります。

会員ポータルサイトの「請求収納情報」をご確認の上、更新料をお振込ください。
クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、郵便振替(受付時期によって発送時期は異なります)を選択。

Step⑥ 更新手続きの完了

更新料をお振り込みいただきましたら更新手続きは完了です。

- 更新後の認定期間は2022年4月1日～2027年3月31日です。
- 証書発送は、上記の更新条件を充足した方から3月中旬以降順次発送致します。

会員ポータルサイトからのお手続きが難しい場合のみ

こちらの申請書でお手続きください。(インターネット環境がない等)

更新の場合は基本領域資格証書(コピー)も併せてお送りください。

FAX : 03-6775-9115

一般社団法人 日本循環器学会
専門医制度委員会 殿

日本循環器学会認定循環器専門医資格 認定更新申請書

☐ 更新申請します。

喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自らが禁煙し且つ禁煙の啓発に努めます。
認定期間内に認定更新に必要な下記条件を充足し、認定更新を希望します。

- ① 「更新」の意思表示
- ② 基本領域資格を取得していること
- ③ 更新に必要な単位の取得
- ④ 更新年度までの年会費の納入
- ⑤ 認定更新料の納入

☐ 辞退申請します。

年 月 日

氏名 : 会員番号 :

ご住所 : 〒

TEL :

【お問合せ先】

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1 丁目18-13
内神田中央ビル 6 階

FAX : 03-6775-9115 / MAIL : senmoni@j-circ.or.jp

一般社団法人 日本循環器学会 事務局

循環器専門医認定更新
所 定 単 位 表

一般社団法人 日本循環器学会

以下の方法にて5年間に**必修研修単位を含む50単位**を取得することにより、循環器専門医の認定更新を行う。

★印については必修研修とし、認定期間内に30単位を必ず取得のこと。★内での組み合わせは自由。

☆印については必修研修とし、認定期間内に最低1回(2単位)は受講すること。

登録方法	対象者	必修	単位加算対象	単位数	
WEB単位登録 配信用視聴 視聴	参加者	★	日本循環器学会 学術集会※1	10	A 補足参照
		★	〃 教育セッション	5	
		☆	〃 医療安全・倫理に関する講演会※2	2	
		★	日本循環器学会 地方会	5	
		★	〃 地方会教育セッション	3	
			〃 基礎研究フォーラム(BCVR)	3	
事務局登録	筆頭著者		「Circ J」掲載論文(CL・EX・RC・ICMのみ)	10	
			「Circ R」掲載論文(CL・EX・RC・ICM・BR・PPのみ)	10	
	参画者		本会が推奨する臨床研究プロジェクト※3	2～4	
			本会が実施するプログラム	◎	
	自己研修		本会が実施する教育プログラム CD-ROM/DVD/ビデオ※4	3	
			本会が実施する教育研修e-ラーニング※5	1	
自己申告	参加者		循環器関連学会 年次学術集会 【別表Ⅰ】	3	B 補足参照
			関連学会 年次学術集会 【別表Ⅱ】	1	
			日本医学会総会	5	
			WCC・AHA・ACC・APSC・ESC	2	
			その他の海外循環器関連学会集会 【別表Ⅲ】	1	
	筆頭著者		本会指定の循環器関連学会学術誌 掲載論文(英文) 【別表Ⅳ】	5	
			〃 (和文) 【別表Ⅳ】	3	
			本会指定以外の循環器関連学術誌 掲載論文(英文) 【別表Ⅴ】	3	
			〃 (和文) 【別表Ⅴ】	1	
	留学者		留学(連続して10ヶ月以上の場合のみ)	1×月数	C 補足参照

《 単位登録方法について 》

専門医カード: 会期中各単位登録受付時間内に、各単位登録受付で本人が専門医カード(QRコード)を提示する。

カード忘れの場合、会員番号・生年月日・氏名で対応可能。

単位登録票: 学会当日会場において、単位登録票に記入し提出する。

WEB配信視聴: WEB配信で開催の場合は、WEB配信の視聴で、別添に示す各所定の条件を満たすことにより単位を取得する。

事務局登録: 上記対象者は自動的に単位が加算される。

自己申告: 単位不足の場合、自己申告期間(認定5年目)に所定の方法で不足単位分を申告する。

但し、留学・研究プロジェクトについては『認定更新に関する規程』参照。

※1 第84回、第85回学術集会は15単位を認める。

※2 医療安全・医療倫理に関する研修については、ホームページ上での視聴研修あるいは地方会でのDVDセッション・医療安全倫理に関する講演会でも可。ただし、同じ講演内容については、重複して単位は加算されない。

※3 詳細については「大規模臨床試験プロジェクト」単位付与規程に基づき専門医制度委員会で決定する。

※4 発売から約2年間のみが単位付与対象となる。各視聴教材に同封の単位申請ハガキに記載されている単位申請有効期限を確認すること。

※5 視聴と設問正解を以て単位付与とする。

ただし、認定期間5年間で最大15単位。同じ内容については、重複して単位は加算されない。

◎印の単位数は委員会判断とする。

登録方法 補足

カテゴリー A	登録方法
学術集会 (含、教育セッション、医療安全)	<現地開催> 専門医カード・単位登録票 <WEB開催> WEB配信視聴 ・会期内に、学術集会の全セッションを対象に視聴ログ(視聴研修時間不問)、教育セッション・医療安全倫理は対象セッションの視聴ログ(教育セッション 累計45分以上、医療安全倫理 累計60分以上)が確認できることを認定条件とする。 ・会期後単位登録完了の際に、学会登録メールアドレスへメール配信する。 ・学術集会会長、座長演者の個別対応は無し。(いずれのセッションにおいても座長または演者としての参加のみで研修単位は認定されない) ・単位認定対象は会期中のみ(3日間程度)とする。 <現地とWebのハイブリッド開催> いずれも、それぞれの規定に則る。
地方会 (含、教育セッション、医療安全)	<現地開催> 専門医カード・単位登録票 <WEB開催> WEB配信視聴 ・会期内に、地方会の全セッションを対象に視聴ログ(視聴研修時間不問)、教育セッション・医療安全倫理は対象セッションの視聴ログ(教育セッション45分以上、医療安全倫理60分以上・累計)が確認できることを認定条件とする。 ・会期後単位登録完了の際に、学会登録メールアドレスへメール配信する。 ・地方会会長、座長演者の個別対応は原則無し。(いずれのセッションにおいても座長または演者としての参加のみで研修単位は認定されない) 但し、開催が1日間かつライブ配信のみの場合は、会長、座長演者、アワードセッションの審査員長・審査員・発表者は当日の出席を確認し、地方会単位を認める。教育セッション・医療安全の座長演者はそれぞれ登壇した教育セッション・医療安全の単位も認める。 ・単位認定対象は会期中のみ(1～2日間程度)とする。 ※システム整備等のため2021年度中までは準備期間として2022年度春の地方会から適用する。 <現地とWebのハイブリッド開催> いずれも、それぞれの規定に則る。 <中止> 直近の認定更新予定対象者に限り、1年度中1回分の参加について自己申告で単位を認める。 ※<現地開催>～<中止>いずれの場合も、参加研修できる地方会に制限なし(地方をまたいだ参加研修を認める)。
B C V R	<現地開催> 専門医カード・単位登録票 <WEB開催> WEB配信視聴 ・会期内に、BCVRの全セッションを対象に視聴ログ(視聴研修時間不問)が確認できることを認定条件とする。 ・会期後単位登録完了の際に、学会登録メールアドレスへメール配信する。 ・BCVR会長、座長演者の個別対応は無し。(いずれのセッションにおいても座長または演者としての参加のみで研修単位は認定されない) ・単位認定対象は会期中のみ(2日間程度)とする。 <現地とWebのハイブリッド開催> いずれも、それぞれの規定に則る。
カテゴリー B	登録方法(自己申告)
循環器関連学会/関連学会年次学術集会 日本医学総会 WCC/AHA/ACC/APSC/ESC その他海外循環器関連学術集会	<現地開催> 認定5年目の更新申請時に、参加研修証明書類(原則ネームカードのコピー)の提出を要する。 <Web開催> 同上。なお、参加研修証明書類は各主催が発行する証明書類を可とする。 <現地とWebのハイブリッド開催> いずれも、それぞれの規定に則る。 <中止> 措置なし
カテゴリー C	登録方法(自己申告)
留学	【対象:留学期間が連続して10ヶ月以上の場合】 ・1ヶ月を1単位(単位分類:その他)として換算 ・10ヶ月以上の留学でも、取得頂ける単位は現在の認定期間内の留学期間のみが対象。 ・申請書類 『帰国届』、『留学期間研修単位申請書』 『留学の事実を証明する有効な書類』:留学先発行の在籍証明書や修了証(コピー)など。氏名、留学期間、証明書が記載され、留学実績を証明できるもの。※証明書類上に発行年月日が必要。発行年月日以前が留学期間実績となる。※滞在許可書類・入学許可書類・申請者の受入書類等は無効。 ・帰国後、上記申請書類を日本循環器学会事務局へ提出する。 ※国内にいつつWebでの留学は単位対象として認められない。
留学中のWCC/AHA/ACC/APSC/ESC	<現地開催> 1年度一回参加分のみ必修15単位を認める。 留学期間研修単位申請書類と同時にしくは、提出後に参加研修証明書類(原則ネームカードのコピー)の提出を要する。 <Web開催> 同上。なお、参加研修証明書類は各主催が発行する証明書類を可とする。 <現地とWebのハイブリッド開催> いずれも、それぞれの規定に則る。 <中止> 措置なし

循環器専門医認定更新
所定単位表 別表

別表Ⅰ：循環器関連学会 年次学術集会（3単位）

日本心臓病学会
日本脈管学会
日本高血圧学会
日本心臓血管外科学会
日本不整脈心電学会
日本小児循環器学会
日本動脈硬化学会
日本胸部外科学会
日本冠疾患学会
日本心不全学会
日本心血管インターベンション治療学会
日本循環器病予防学会(旧:日本循環器管理研究協議会)
日本心臓リハビリテーション学会
日本成人先天性心疾患学会（第17回以降3単位・第16回は1単位・第15回以前は単位加算無し）

別表Ⅱ：関連学会 年次学術集会（1単位）

日本内科学会
日本外科学会
日本小児科学会
日本腎臓学会
日本老年医学会
日本生体医工学会
日本超音波医学会
日本核医学会
日本医学放射線学会
日本循環制御医学会
日本心臓核医学会
日本生理学会
日本臨床生理学会
日本集中治療医学会
日本睡眠学会（第35回以降1単位・第34回以前は単位加算無し）
日本心エコー図学会（第26回以降1単位・第25回以前は単位加算無し）
日本心脈管作動物質学会（第44回以降1単位・第43回以前は単位加算無し）
日本心血管脳卒中学会（第2回以降1単位・第1回以前は単位加算無し）
日本下肢救済・足病学会（第7回以降1単位・第6回以前は単位加算無し）
日本血栓止血学会(第39回以降1単位・第38回以前は単位加算無し)
日本移植学会(第54回以降1単位・第53回以前は単位加算無し)
日本リンパ浮腫学会(第3回以降1単位・第2回以前は単位加算無し)
日本血管内治療学会(第27回以降1単位・第26回以前は単位加算無し)

別表Ⅲ：その他の海外循環器関連学会集会（1単位）
（ネームカードのコピーを提出し委員会において審査する）

American College of Angiology
 American Public Health Association / World Federation of Public Health Associations
 Annual Meeting of American College of Physicians
 ASEAN Congress of Cardiology
 Asia Pacific Congress on Diseases of the Chest
 Asian Pacific Symposium on Cardiac Rehabilitation
 Biophysical Society(Annual Meeting)
 Congress of the European Society for Surgical Research
 Congress of the European Society of Cardiology
 International Symposium on Atherosclerosis
 International Symposium on Cardiovascular Pharmacotherapy
 International Symposium on Cerebral Blood Flow & Metabolism
 International Symposium on Heart Failure-Mechanisms and Management
 North American Society of Pacing and Electrophysiology
 Scientific Meeting of the International Society of Hypertension
 Society of Nuclear Medicine (Northeast Regional Meeting)
 The American Association for Thoracic Surgery
 The American Society of Hypertension (Scientific Meeting)
 The European Association of Cardiothoracic Surgery
 The International Society for Cardiovascular Surgery
 The Society of Nuclear Medicine (Annual Meeting)
 World Congress International College of Angiology
 World Congress ISHR
 World Congress of Cardiac Rehabilitation
 World Congress of the IUA
 World Congress on Intensive and Critical Care Medicine
 World Stroke Congress (= World Congress of Stroke)
 World Symposium on Cardiac Pacing and Electrophysiology

別表Ⅳ：本会指定の循環器関連学会学術誌（英文:5単位、和文:3単位）

学会名	雑誌名
日本心臓病学会	Journal of Cardiology
日本脈管学会	脈管学
日本高血圧学会	Hypertension Research
日本心臓血管外科学会	日本心臓血管外科学会雑誌
日本不整脈心電学会 (日本不整脈学会・日本心電学会)	Journal of Arrhythmia 心電図
日本小児循環器学会	日本小児循環器学会雑誌
日本動脈硬化学会	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis
日本胸部外科学会	General Thoracic and Cardiovascular Surgery
日本冠疾患学会	Journal of The Japanese Coronary Association
日本心不全学会	Journal of Cardiac Failure
日本心血管インターベンション治療学会	Cardiovascular Intervention and Therapeutics(英文) 日本心血管インターベンション治療学会誌(和文)
日本循環器病予防学会 (旧:日本循環器管理研究協議会)	日本循環器病予防学会誌
日本心臓リハビリテーション学会	心臓リハビリテーション
日本成人先天性心疾患学会	Journal of Adult Congenital Heart Disease
日本心臓財団 日本循環器学会	心臓

別表Ⅴ： 本会指定以外の循環器関連学術誌（英文：3単位、和文：1単位）

(1) 国外英文誌

《 循環器誌 》

American Heart Journal
 American Journal of Cardiology
 American Journal of Hypertension
 Annals of Thoracic Surgery
 Atherosclerosis
 Arteriosclerosis Thrombosis and Vascular Biology(ATVB)
 Asian Cardiovascular & Thoracic Annals
 Cardiovascular Research
 Chest
 Circulation
 Circulation Research
 European Heart Journal
 European Journal of Cardiothoracic Surgery
 European Journal of Heart Failure
 Heart(旧: British Heart Journal)
 Heart Rhythm(旧: PACE)
 Hypertension
 International Journal of Cardiology
 Journal of American College of Cardiology
 Journal of the American Society of Hypertension
 Journal of Cardiac Failure
 Journal of Cardiovascular Pharmacology
 Journal of Clinical Hypertension
 Journal of Hypertension
 Journal of Molecular and Cellular Cardiology
 Journal of Nuclear Cardiology
 Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery
 Kidney International
 Nature Clinical Cardiology
 Stroke
 Thrombosis and Haemostasis

《 一般臨床誌 》

Annals of Internal Medicine
 Journal of American Medical Association
 Journal of Clinical Investigation
 Lancet
 New England Journal of Medicine

(2) 国内英文誌

《 循環器誌 》

Heart and Vessels
 International Heart Journal (旧: Japanese Heart Journal)

《 一般臨床誌 》

Annals of Nuclear Medicine
 Internal Medicine
 Journal of Medical Ultrasonics

… 以上、上記については表題とサマリーのコピーのみ提出し、委員会で審査
 (主に循環器との関係について)する。

上記以外の循環器関連学術誌

査読制度のある学術誌に掲載された研究論文であること。

(1) 臨床誌及び基礎系雑誌

別刷を提出し、委員会で審査する。

(2) 和文誌

日本循環器学会関連学会機関誌については、表題とサマリーのコピーのみで審査する。
 その他の雑誌については、別刷を提出し、委員会で審査する。

第86回日本循環器学会学術集会 循環器専門医研修単位

2022年3月11日(金)～13日(日)に開催される本会学術集会への参加研修は循環器専門医の研修単位対象です。
第86回日本循環器学会学術集会の専門医研修単位認定方法は次の通りです。
単位対象により、それぞれ認定条件が異なりますので必ず事前にご確認ください。

参加方法		学術集会	教育セッション	医療安全・倫理に関する講演会
Web 参加	単位数・区分	15単位・区分：必修	5単位・区分：必修	2単位・区分：医療安全
	認定条件	累計120分以上の視聴研修ログが確認できること。 ※視聴研修対象には「教育セッション」「医療安全・倫理に関する講演会」も含まれます。	「教育セッションⅠ～Ⅲ」で累計45分以上の視聴研修ログが確認できること。	「医療安全・倫理に関する講演会」で累計60分以上の視聴研修ログが確認できること。
	認定方法	Web 配信サイトの視聴研修ログをもとに単位認定されます。 ※視聴方法および各認定条件を予め必ずご確認ください。 ※視聴研修ログはWeb 配信サイトの TOP ページ「視聴履歴・予約一覧」に記録されます。 申請のお手続きは不要です。		
	認定対象期間	2022年3月11日(金)～13日(日)の3日間		
	注意事項	※必ずご自身の参加者アカウントでご視聴ください。 ※上記以外に視聴された場合は、単位認定の対象にはなりませんので、ご注意ください。 ※ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となります。予めご了承ください。	※必ずご自身の参加者アカウントでご視聴ください。 ※上記以外に視聴された場合は、単位認定の対象にはなりませんので、ご注意ください。 ※類似セッションにご注意ください。 ※ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となります。予めご了承ください。	

Web 参加単位認定例

視聴研修時間の確認は次のように行ってください。

- ・学術集会15単位：累計120分以上か
- ・教育セッション5単位：「教育セッションⅠ～Ⅲ」は累計45分以上か
- ・医療安全2単位：「医療安全・倫理に関する講演会」は累計60分以上か

例)	視聴研修ログ	認定される研修単位
累計120分	内教育セッション45分、医療安全・倫理に関する講演会60分、その他15分	学術集会15単位、教育セッション5単位、医療安全2単位
累計160分	内教育セッション60分、医療安全・倫理に関する講演会45分、その他55分	学術集会15単位、教育セッション5単位
累計120分	内教育セッション20分、医療安全・倫理に関する講演会40分、その他60分	学術集会15単位
累計110分	内教育セッション50分、医療安全・倫理に関する講演会60分	教育セッション5単位、医療安全2単位
累計100分	内教育セッション30分、医療安全・倫理に関する講演会60分、その他10分	医療安全2単位
累計90分	内教育セッション20分、医療安全・倫理に関する講演会20分、その他50分	認定無し

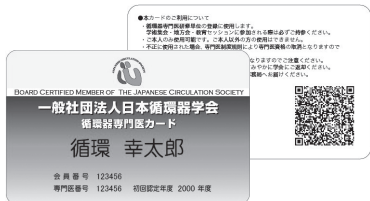
会員ポータルサイトへの単位反映は視聴研修データの取得・精査後に、確認・登録のため1か月程度お日にちを頂戴しております。

「循環器専門医カード」再発行のご案内

(専門医の先生へ)

日本循環器学会主催学術集会、地方会には、専門医カードをお持ちください。
専門医カードをお持ち頂くと研修単位登録受付での登録がスムーズです。

紛失等された場合は、下記「循環器専門医カード再発行申請書」をFAX、
郵便、E-mailで、日本循環器学会事務局へご提出ください。



カード再発行の流れ

1. 下記「再発行申請書」に必要事項を記入後、FAX、郵便、E-mail等で事務局へご提出ください。
2. 再発行料(3,300円(税込))の請求書をお届けします。郵便局からお振込ください。
改姓の場合は無料です。申請書内「事務局への連絡事項欄」に改姓のため等理由をご記載ください。
3. 再発行料のご入金を確認後、専門医カードをお届け致します。

発行時期 ※申請書の提出日によって、専門医カードの発行時期が異なります。

申請書提出メ切	専門医カード発行時期
12月末	2月下旬
3月末	5月上旬
7月末	9月上旬

ご提出・お問い合わせ：一般社団法人 日本循環器学会 事務局 専門医担当
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-13 内神田中央ビル 6 階
FAX: 03-6775-9115 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

FAX: 03-6775-9115
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

(一社)日本循環器学会専門医制度委員会 循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会
代表理事 殿

標記のカードを紛失致しましたので、下記のとおり再発行を申請致します。

なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：	会員番号(6桁)：
生年月日：(西暦) 19 年 月 日	
事務局への連絡事項：	

※手続きには再発行料(¥3,300(税込))が必要です。申請書到着後、請求書を送付致します。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます。

※万一、請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは、刊行物と同じ送本先へ送付致します。

事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

会費未納による会員資格の喪失について(重要)

2020年度・2021年度の年会費が未納の方は、定款施行細則第9条により2022年3月31日をもって会員資格が喪失(退会)となります。また、専門医資格をお持ちの方は会員資格の喪失に伴い、専門医資格も喪失となります。

2年度分の年会費が未納の方にはメールでご連絡しております。内容をご確認いただき、速やかに会費をお支払いいただきますようお願い申し上げます。

〈払込票をお持ちの方〉

コンビニエンスストア、郵便局、ゆうちょ銀行にてお支払いください。

〈払込票をお持ちでない方〉

2019年4月より会員ポータルサイトで年会費納入状況のご確認ならびにお支払い手続きを行うことが可能となりました。払込票をお持ちでない方は会員ポータルサイトからお手続きいただきますようお願いいたします。学会ホームページにお支払い手続きのマニュアルを掲載しておりますので、そちらに記載の手順にてお支払いいただけます。

※2022年度(2022年4月1日)以降に年会費のお支払いをされた場合、2022年度再入会(2020年度・2021年度の在籍なし)となりますため、会員資格継続希望の方は必ず2021年度内(2022年3月31日まで)にお支払い手続きを完了いただく必要がございます。

【参考】

(定款施行細則第9条)

会費を2年を超えて滞納したときは、滞納が生じた年度から正会員または準会員の資格を喪失する。

(循環器専門医制度規則第9条)

循環器専門医は、次の事由によりその資格を喪失する。

- (1) 専門医としての資格を辞退したとき
- (2) 会員としての資格を喪失したとき
- (3) 認定更新を受けないとき

ご不明な点や年会費納入に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

一般社団法人日本循環器学会 事務局

E-mail : jcs-portal@j-circ.or.jp Fax : 03-6775-9115

地方会・関連学会・研究会情報

【お願い】 各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

日本循環器学会地方会情報

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い各地方会の開催予定が、変更となる場合がございます。今後の予定はホームページ、ニュースメール等でご案内いたしますのであわせてご覧ください。

第127回北海道地方会

会 期：2022年6月25日(土)
会 場：北海道大学学術交流会館
会 長：東 信良(旭川医科大学 外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野)

第174回東北地方会

会 期：2022年6月4日(土)
会 場：秋田市にぎわい交流館 AU
会 長：渡邊博之(秋田大学 循環器内科学講座)

第263回関東甲信越地方会

会 期：2022年2月26日(土)
会 場：WEB 開催予定
会 長：諸井雅男(東邦大学 内科学講座 循環器内科学分野(大橋))

第264回関東甲信越地方会

会 期：2022年6月4日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京
会 長：村松俊裕
(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)

第159回東海地方会

会 期：2022年6月4日(土)
会 場：三重県医師会館
会 長：土肥 薫(三重大学 循環器・腎臓内科学)

第160回東海・第145回北陸合同地方会

会 期：2022年10月15日(土)～16日(日)
会 場：金沢勤労者プラザ
会 長：高村雅之(金沢大学 医薬保健研究域医学系 循環器内科学分野)

第144回北陸地方会

会 期：2022年6月25日(土)
会 場：金沢大学医薬保健研究域医学類
会 長：荒木 勉(石川県済生会金沢病院)

第133回近畿地方会

会 期：2022年6月18日(土)
会 場：千里ライフサイエンスセンター(豊中市)
会 長：城谷 学(近畿大学奈良病院)

第134回近畿地方会

会 期：2022年12月10日(土)
会 場：大阪国際会議場
会 長：泉 知里(国立循環器病研究センター)

第120回中国・四国合同地方会

会 期：2022年5月28日(土)～29日(日)
会 場：広島国際会議場
会 長：高橋信也(広島大学 外科学(心臓血管外科))

第132回九州地方会

会 期：2022年6月25日(土)
会 場：WEB 開催
会 長：宮本伸二(大分大学 心臓血管外科)

海外学会情報

ESC2022-Onsite & Online

会 期：2022年8月26日(金)～29日(月)
会 場：バルセロナ, スペイン
U R L : <https://www.escardio.org/Congresses-&-Events/ESC-Congress>

AHA2022

会 期：2022年11月5日(土)～7日(月)
会 場：シカゴ, イリノイ州
U R L : 未定

その他の学会開催情報

近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2022

会 期：2022年4月14日(木)～16日(土)
 開催形式：ハイブリッド開催(予定)
 (詳細はホームページをご確認ください)
 会 場：メルパルク京都
 当番世話人：岡村篤徳(桜橋渡辺病院)
 問合先：〒440-0886 愛知県豊橋市東小原町48番地
 セントラルレジデンス201
 KCJL事務局
 Tel. 0532-57-1278 Fax. 0532-52-2883
 E-mail: kcjl@kcjl.gr.jp
 URL: <https://www.kcjl.gr.jp/2022>

第22回 CTO Club

会 期：2022年6月17日(金)～18日(土)
 開催形式：ハイブリッド開催(予定)
 (詳細はホームページをご確認ください)
 当番世話人：矢嶋純二(心臓血管研究所付属病院)
 問合先：CTO Club 事務取扱
 〒440-0886 愛知県豊橋市東小原町48番地
 セントラルレジデンス201
 Tel. 0532-21-5731 Fax. 0532-52-2883
 E-mail: cto@uproses.co.jp
 URL: <https://cct.gr.jp/ctoclub/>

研 究 助 成

公益財団法人 福田記念医療技術振興財団

第33回(2022年度)研究助成等募集のお知らせ

(公財)福田記念医療技術振興財団では、ME を利用した医療技術に関する研究助成を行っております。

4月1日より、次のとおり募集を行います。

公募事業：

①研究助成

- (1)個人研究1件100万円を限度に、8件
- (2)共同研究1件300万円を限度に、7件

②国際交流助成

- (1)研究留学1件200万円を限度に、6件
- (2)国際会議出席1件 30万円を限度に、4件
- (3)海外からの研究者招聘
1件100万円を限度に、4件

③論文表彰(副賞50万円)2件

応募締切日(当日の消印まで有効)

①については、2022年4月24日

②については、

前期分2022年4月24日(出発が2022年7月1日から2023年2月28日まで)

後期分2022年12月31日(出発が2023年3月1日から2023年6月30日まで)

③については、2022年12月31日

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付してください。

問合先：〒113-8570 東京都文京区湯島2丁目31番20号
 フクダ電子(株)春木町ビル内
 公益財団法人 福田記念医療技術振興財団事務局

Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268

<http://www.fukudakinen.or.jp/>

助成条件及び助成件数は変更となる場合があります。

詳細については、2022年4月1日の財団ホームペー

ジにおいて確認ください。

ACLS 講習会情報

●ACLS プロバイダーコース案内

受講料 (初回受講) 34,000円

受講料 (更新受講) 19,000円

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者)。なお、臨床経験を有している方が望ましい内容が多く含まれていますので、医療従事者をめざしている学生(医学生、看護学生、薬学部学生など)の受講は原則として認めておりません。

受講申込方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締めきりは延長される場合がございますので、ホームページにてご確認ください。

※2018年11月申込より、ACLS プロバイダー更新は、BLS プロバイダーの有効期限を問わない(有効期限が経過していても良い)といたしました。

申込ページ：http://www.j-circ.jp/jcs_acls/list/course_search.asp



JCS-ITC2022/03/19-20 中国支部岡山赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日程：2022年3月19日(土)・20日(日)の2日間

会場：岡山赤十字病院/センター棟4階研修室

コースディレクター：吉川慶三(倉敷リバーサイド病院)

2022年3月7日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会中国支部事務局(山口大学大学院 医学系研究科 器官病態内科学内)
大坪順子

Phone: 080-2933-8695/Fax: 0836-22-2246

E-mail: nichijun@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2022/03/26-27 近畿支部国立循環器病研究センター AHA ACLS プロバイダーコース

日程：2022年3月26日(土)・27日(日)の2日間

会場：国立循環器病研究センター/研究棟2階トレーニングセンター

コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2022年2月27日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部 福田一之助・北井 恵

Phone: 06-6941-5622/Fax: 06-6941-5625

E-mail: jcsitc-kinki@adfukuda.jp

JCS-ITC2022/03/26-27 四国支部坂出市立病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日程：2022年3月26日(土)・27日(日)の2日間

会場：坂出市立病院/2階 講堂

コースディレクター：吉川 圭(坂出市立病院)

2022年3月14日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：坂出市立病院 吉川 圭

Phone: 070-5516-8708/Fax: 0877-46-2377

E-mail: kei@kayy.sakura.ne.jp

●ACLS EP プロバイダー資格コース案内

コースの特徴：成人の心停止に対する二次救命処置を ACLS プロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLS プロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

本コースを受講していただくことで、同時に ACLS プロバイダー資格を更新することができます。

受講料：19,000円

受講要件：有効期限内の ACLS プロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

BLS プロバイダーカード-インストラクターカードの有効期限は問わない

追補 1) 上記カード提示ができない場合は、受講当日であってもコースの受講をお断りすることがございますのでご注意ください。またカードを紛失している場合などは事前に各コースの責任者(コースディレクター)にご連絡ください。なお、受講希望者多数の場合には施設の重複を避けるなど、地域性も考慮して選考させていただきます。

対象者：原則として医療従事者：医師、救急集中治療の経験のある看護師など

追補 1) ACLS プロバイダーとして実際の臨床経験を積んだ方で、心電図や病態の把握ができることが必要になります。

※受講申込については、当会ホームページ「BLS/ACLS 講習会情報」ページよりオンラインフォームにてお申し込みください。

2021年度日本循環器学会コメディカルセミナー(Web) 開催のお知らせ

チーム医療制度委員会主催の2021年度コメディカルセミナーにつきまして、下記の内容で開催致します。
心不全療養指導士の方は、10単位の取得が可能ですので、ぜひご参加ください。また、会員以外の方も受講可能となっておりますので、同じ職場の方や知り合いにもお声がけをお願い致します。

Live 配信日時：2022年2月27日(日) 10:00～16:30

受講料：正会員/準会員：4,000円、一般：7,000円

※Live 配信+オンデマンド配信による Web セミナーです。どちらの参加でも単位の取得が可能です。

※チャット形式による質疑応答が可能です。

※オンデマンド配信期間は3月1日12:00～3月31日24:00となります。

プログラム

Part 1 早期発見と初期対応

座長：安齊 俊久(北海道大学)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| • 心電図検査で見逃さないための注目ポイント | 演者：岩崎 雄樹(日本医科大学) |
| • 心エコー検査で見逃さないための注目ポイント | 演者：小保方 優(群馬大学) |
| • 心不全を発症させないための注目ポイント | 演者：後岡広太郎(東北大学) |

特別企画

座長：眞茅みゆき(北里大学)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| • フレイルが循環器疾患の治療成績に与える影響 | 演者：衣笠 良治(鳥取大学) |
|-------------------------|----------------|

Part 2 治療方針のために

座長：山本 一博(鳥取大学)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| • 心不全患者の栄養障害 | 演者：絹川真太郎(九州大学) |
| • 心リハ中の急変回避のためのヒント | 演者：船崎 俊一(川口総合病院) |
| • 心不全患者の緩和ケア | 演者：大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター) |

申し込み：学会 Web サイト内のセミナーページより申し込み可能となります。

(<https://www.j-circ.or.jp/seminar/2021-jcs-medicalprofessional-seminar/>)

第85回



日本循環器学会学術集会 DVD-ROM発売!!

パシフィコ横浜での講演記録

会期：2021年3月26～28日

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

DVD 購入者は

WEBでも

これ一枚で **71セッション 340延べ座長・演者、**

80時間収録!

ご視聴いただけます!

価格 5,300円
(送料、税込)

好評
発売中



<収録内容>

Opening Ceremony	1セッション	特別企画：医療と健康の MIRAI 1～6	6セッション
美甘レクチャー（日本心臓財団美甘基金）	1セッション	国際名誉会員講演 1～3	3セッション
真下記念講演	1セッション	特別講演 1～15	15セッション
WCC Special Lecture	1セッション	プレナリーセッション 1～15	15セッション
会長講演	1セッション	シンポジウム 1～25	25セッション
代表理事講演	1セッション	授賞式・閉会式	1セッション

※本 DVD-ROM は DVD-Video プレイヤーでは再生できません。
セキュリティの観点よりインターネット接続状態の PC でご視聴が可能となります。

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVD に収録されている座長・演者名（ご所属）及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人 日本循環器学会
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-13 内神田中央ビル 6F

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F

日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」 から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

学術集会 DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2022年

月

日

フリガナ お名前	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い (要 E-mail アドレス)
ご住所(ご送付先) 〒	☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先 TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@
お申込み DVD-ROM(☒ を入れて下さい)	
☐ 「第85回 日本循環器学会学術集会 DVD-ROM」	価格 5,300円 (送料、税込)
☐ 「第49回 循環器教育セッション DVD-ROM」	価格 5,300円 (送料、税込)
☐ 「第84回 日本循環器学会学術集会 DVD-ROM」	価格 5,300円 (送料、税込)
☐ 「第48回 循環器教育セッション DVD-ROM」	価格 5,300円 (送料、税込)

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

事務局からのお知らせ

〈会員ポータルサイトについて〉

皆様の登録情報や年会費お支払い状況、学会集会・地方会などの日程・専門医の取得単位数の確認などを行うことができます。また、ご住所などの変更・留学/帰国申請・専門医自己申告単位の申請等も行えます。

会員ポータルサイトへは、ホームページ <https://www.j-circ.or.jp/> → 会員ポータルサイト からアクセスいただけます。

登録にはメールアドレスが必要となり、会員番号・設定頂いたパスワードでログインしてご利用いただけます。

なお、会員ポータルサイトは利用いただけるブラウザ(インターネット接続ソフト)が限られております。ご了承ください。

PC・Mac：Microsoft Edge, Google Chrome, Firefox, Apple Safari
(Internet Explorer は対応していません)

モバイル：Android5以降 Chrome Android スマートフォン・タブレット
iOS11.3以降 Apple Safari iPhone, iPad 等

メールアドレス登録がお済みでない方は、メールアドレス：jcs-portal@j-circ.or.jp よりご連絡をお願いいたします。追ってパスワード設定のメールをお送りいたします。

〈メールアドレス/勤務先(所属医療機関)/ご自宅住所等の届出について〉

学会からのお知らせ・年会費請求書などを確実にお手元にお届けできるよう、随時、メールアドレス/勤務先(所属医療機関)/ご自宅住所等の届出をお願いしております。

会員ポータルサイト(ホームページ <https://www.j-circ.or.jp/> → 会員ポータルサイト)からの変更をお勧めしておりますが、最終ページの「登録事項変更届」もご利用いただけます。

学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで積極的に発信してまいりますので、Eメールアドレスの登録を是非お願いいたします。

〈会員限定ホームページにつきまして〉

会員限定ホームページは、会員ポータルサイトの開設に伴い統合されております。会員ポータルサイトにログインしご利用ください。

従いまして、UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)の新規ID取得申請は終了いたしました。引き続きUMIN IDはご利用いただけますが、ご利用方法につきましては直接UMINセンターにお願いいたします。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡ください。

(一社)日本循環器学会

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-13 内神田中央ビル 6F

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代表(下記のどの担当か不明の場合)	admin@j-circ.or.jp	03-6775-9111
登録事項変更・入会・退会等	jcs-portal@j-circ.or.jp	
Circulation Journal	cj@j-circ.or.jp	03-6775-9113
Circulation Reports	cr@j-circ.or.jp	
地方会	chihokai@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連(AHA 心肺蘇生法講習)	itc@j-circ.or.jp	03-6775-9114
IT/Database(JROAD 他)関連	itdatabase@j-circ.or.jp	03-6775-9113
ダイバーシティ	divercity@j-circ.or.jp	03-6775-9111
会員ポータルサイト	jcs-portal@j-circ.or.jp	
ガイドライン関連	jcsGL@j-circ.or.jp	03-6775-9113
学術集会	meeting@j-circ.or.jp	03-6775-9112
各請求書・年会費等	keiri@j-circ.or.jp	03-6775-9113
予防関連	j-yobou@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	03-6775-9114
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	
国際交流	international@j-circ.or.jp	03-6775-9112
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-6775-9115

ホームページ URL

<https://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人日本循環器学会

登録事項変更届

[会員ポータルサイトからのお届けをお勧めしております]

TEL : 03-6775-9111

FAX : 03-6775-9115

E-mail : jcs-portal@j-circ.or.jp

Web : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号：	【6桁】	生年月日（西暦）：	年	月	日
フリガナ：					
会員氏名：					
(旧氏名：)					
所属医療機関・勤務先：					
名 称					
部・科					
役 職					
所在地 〒					
代 表 TEL					
内線					
直 通 TEL					
FAX					
旧勤務先名称：					
自 宅： 〒					
TEL					
FAX					
旧自宅住所：					
所属支部：					
※所属支部は勤務先または自宅の所在地から選択いただけます。記載がない場合は勤務先所在地にて登録いたします。					
E-mail：					
変更希望日：			年	月	日
郵便物送付先：			☐ 勤務先 ☐ 自宅		
会告有償冊子送付（年額 1,000 円）：					
☐ 希望する ☐ 希望しない					
退 会 届（退会希望者のみ記入）※年会費の未納分がある場合、退会日は納入があった年度の末日となります。					
年 月 日をもって退会します。（退会事由：					
【重要】会員資格喪失に伴う専門医資格喪失について： ☐ 同意する ※専門医の方はチェック必須					
会員資格喪失に伴う心不全療養指導士資格喪失について： ☐ 同意する ※指導士の方はチェック必須					
事務局への通信欄：					

※ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

※メールにおける情報発信を積極的に行ってまいります。メールアドレスの変更・登録を是非お願いいたします。